

〔共同研究〕

『仙芥集』翻刻④

中世東国仏教研究会

はじめに

『仙芥集』は、中世鎌倉の地で精力的な受法活動を行った真言僧定仙（一二三三～一三〇二）の受法記録を集成したものである。その写本は管見の限り国宝称名寺聖教（神奈川県立金沢文庫管理）にのみ伝存しており、目録上で全三十二部（二三函――一―一―三三）という大部のテキスト群である。当研究会ではその写本を底本として翻刻を行っている。

一昨年度までの中間報告で二三函――一―一―九までの翻刻を終えており、昨年度および本年度ではその続きである一〇―二〇までの十一冊分の翻刻を完了した。

本年度の研究會参加メンバーは、大八木隆祥（代表）、山口史恭、中保之、坂本眞觀、牛久智充、新井弘賢、青木亮敬、野々部利生である。

最後に、保管資料である国宝称名寺聖教『仙芥集』の翻刻・掲載をご許可くださいました神奈川県立金沢文庫ご当局、ならびに多々ご助言を賜りました同文庫前学芸課長西岡芳文氏に感謝申し上げます。

解題

今回翻刻したテキストは二三函一一〇～一二〇の十一本である。その書誌データ（『称名寺聖教目録』による）と共に内容を概説する。

① 二三函一一〇

〔外題〕 仙芥集 〔角書〕（表紙右上） 廿三帖内（表紙中央） 三宝院／意教上人／御口傳等

〔本文残存状態〕 完全 〔装丁〕 綴葉 〔紙数〕 九紙一八丁 〔料紙〕 楮紙

〔法量〕 一四・六／二二・二 〔行格〕 一〇行／二三行 〔手沢者名〕（表紙左下） 釵阿（梵字）

〔保存状態〕 修理済 〔識語〕 なし

三宝院流の意教上人頼賢（一一九六～一二七四）の口伝を記したものである。頼賢は成賢の資であり、後にその法脈は意教流と称されるようになる。内容は多岐にわたっている。今見出しを挙げれば次の通りである。

字輪観三種事、本尊加持三处事、字輪観梵字誰所説事、散念誦時必誦仏眼真言事、

振鈴以後通諸尊結誦、本尊印言事、□成就二種事、□教上人伝法秘密乃至□□印事、

伝法灌頂有二種事、二根交合成大仏事、□供養法次第事、灌頂以後不受事等見事、

現智身見智身印言時移□□事、十八道以前授尊法様、歡喜天印事、胎藏界遍智院事、

灌頂時移阿闍梨位事、拍掌ノ両界中ニ有処数事、加持句真言功能事

識語が無いため伝授に係る状況は不明であるが、「有人云上人仰云」という記述がたびたびあり、定仙が

頼賢より直接受法したのではなく頼賢の伝を伝える人師より受法したものと考えられる。定仙は頼賢の弟子、願行上人憲静（?—一二九五）から受法していたことが一三函一—一八の奥書により明らかであるので、憲静より受けたものである可能性がある。なお本冊は上部に欠損があり判読不能な字が多々ある。このため内容を明確に把握することは甚だ困難である。

② 一三函一—一一

〔外題〕 仙芥集 〔角書〕（表紙中央） 三寶院／親玄僧正等／御口傳へん 〔本文残存状態〕 完全

〔装丁〕 綴葉 〔紙数〕 二〇紙四〇丁 〔料紙〕 楮紙 〔法量〕 一四・六／二一・三

〔行格〕 九行／二行 〔手沢者名〕（表紙左下） 釧阿（梵字） 〔保存状態〕 修理済

〔識語〕 此口傳等者皆當流明德口傳也、一事無誤、仍為後代口実先師仙公和尚所記録也、不可他見者也、予抄書彼草中、為當流之親決、嘉元第三千十二月廿八日記之、智照（云々）

本冊は道教方の親玄（一二四九—一三三二）を始め、了一上人公然（生没不詳）、意教上人頼賢の資願行房憲静、憲深方の覚雅（生没不詳）等、三寶院流諸師の口伝を記したものである。その内容は三寶院流の聖教・重宝等を収めたとされる「台皮籠」^{ダイノカワゴ}の由来や収納品について、また唯授一人大事や宗大事等いわば法流の奥義にあたる印信類についての口伝である。

なお、奥書には「先師仙公和尚所記録也」とあり、また「予抄書彼草中、為當流之親決、嘉元第三千十二月廿八日記之、智照」とあることから、定仙の弟子である智照（生没不詳）が定仙の受法記録からテーマに沿って諸師の口伝を抄出し嘉元三年（一二〇五）に記したものであることがわかる。また、

『仙芥集』というテキスト群自体が、智照によって名付けられ集成されたものである可能性もここで指摘しておきたい。

③ 一三函 一—一二

〔外題〕 仙芥集 〔角書〕（表紙中央） 三宝院／親玄僧正／御口傳△△ 〔本文残存状態〕 完全
〔装丁〕 綴葉 〔紙数〕 一六紙三二丁 〔料紙〕 楮紙 〔法量〕 一四・五／二一・三
〔行格〕 九行／一一行 〔手沢者名〕（表紙右下） 鈿阿（梵字） 〔保存状態〕 修理済
〔識語〕（三十一丁表） 永仁五年九月二十二日記之、定仙

表紙の記述からわかる通り本冊も親玄を始め三宝院流諸師の口伝を記したものである。三宝院の名の由来や、諸尊法、後七日や大元法・八千枚護摩等の大法・秘法類の聖教の伝来や内容についての口決、また前冊同様「台皮籠」についても記されている。識語は三十一丁表に「永仁五年（二二九七）九月二十二日記之、定仙」とある。

④ 一三函 一—一三

〔外題〕 仙芥集 〔角書〕（表紙中央） 後七日雜日記／付勸修寺日記／抄之 （表紙中央右） 四卷内
〔本文残存状態〕 完全 〔装丁〕 綴葉 〔紙数〕 一一紙三二丁 〔料紙〕 楮紙
〔法量〕 一四・六／二三・〇 〔行格〕 八行／一三行 〔手沢者名〕（表紙右下） 鈿阿（梵字）
〔保存状態〕 修理済 〔識語〕 正應五年三月廿六日書了、以了上人口傳記之、定濟僧正參後七日事、三ヶ

度年三度伴僧也、仍委存子細御入、然間以彼口傳記之也云々、定仙滿六十

本冊は勸修寺流の後七日御修法の日記について、了一上人公然の口伝を記したものである。公然に受法したのがいつのことかは不明であるが、奥書によれば正応五年（二九二）に記したものであることがわかる。表紙には「四巻内」とあるが、これは後七日御修法について記したものの四巻の内の一つであると思われる。

⑤ 一三函一——一四

〔外題〕仙芥集 〔角書〕（表紙中央）後七日／西酉／并師傳（表紙右下）四巻内（表紙右）兩日記注文
 〔本文残存状態〕完全 〔装丁〕綴葉 〔紙数〕八紙一六丁 〔料紙〕楮紙
 〔法量〕一四・四／二一・三 〔行格〕九／一二行 〔手沢者名〕（表紙右下）釵阿（梵字）
 〔保存状態〕修理済 〔識語〕（二丁裏）正應五年四月五日記之了、定仙（六丁裏）正應五年四月五日記之了、定仙（奥）正應五年三月卅日記之了、定仙滿六十云々

前冊同様、後七日御修法についての口伝を記したものである。表紙に「四巻内」とあることから、本冊が前冊と一具のものであることがわかる。本冊は醍醐の伝を記したもので、「了一上人云」と頻繁に記されていることから、これも了一上人公然の口伝を記したものである。識語は三箇所に見られいずれも記述した日がしるされているが、前二つは同じ日付であり、最後の日付は前二つを遡るものとなっている。これは定仙自身が記録したものを後に智照が編集する際に意図的に前後を入れ替えたものと考えられる。

⑥ 一三函一——一五

〔外題〕 仙芥集 〔角書〕（表紙中央）後七日私抄／付西西勸修寺記之／太元法少々記之（初在之）（表紙中央） 四卷之内 〔本文残存状態〕 完全 〔書写者〕 釧阿（筆跡推定） 〔装丁〕 綴葉（一綴、横半帳）
〔紙数〕 一一紙・三二丁 〔料紙〕 楮紙 〔法量〕 一四・六／三二・九 〔行格〕 九／三行
〔加點等〕 合点・訓点あり 〔保存状態〕 修理済 〔識語〕（二才） 正応五年二月廿五日記之 定仙

これも前々冊・前冊同様、後七日御修法についての口伝を記したものである。また表紙に「四卷之内」とあることから、本冊が前々冊・前冊と一具のものであることがわかる。本冊は後七日御修法について醍醐と勸修寺の伝を記したものであるが、二丁表の識語には筆記年月日が記されているのみで誰の伝を記したものは不明である。ただしこの識語の後は本文中に「了一上人云」「了一上人説」「了一上人云」といった記述が頻出し、全体として了一上人公然の口伝を記したものである可能性が高い。

⑦ 一三函一——一六

〔外題〕 仙芥集（勸修寺）五秘密 〔角書〕（表紙裏）五秘密法私抄（表紙中央）五秘密（表紙左外題下）五之内 〔本文残存状態〕 完全 〔書写者〕 釧阿 〔装丁〕 綴葉（一綴、横半帳） 〔紙数〕 六紙・二二丁
〔料紙〕 楮紙 〔法量〕 一四・六／三二・二 〔行格〕 一一／二行
〔手沢者名〕 釧阿（梵字）（表紙右下） 〔加點等〕 合点・訓点 〔保存状態〕 修理済

識語が無いため筆記に係る状況は不明である。勸修寺流相伝のある五秘密法次第について、同流の諸尊法集や他流の諸尊法集収載の五秘密法次第との比較・検討が行われている。本文中にも特に誰の伝かは記されていない。定仙自身が授法の次第について研究したものか。

ちなみに表紙外題下に「勸修寺／五之内」とあるように、本冊は勸修寺流諸尊法に関する五冊一具の内の一冊である。他の四冊については、一三函一―一七「太元明王」、一三函一―一八「求聞持法口傳」、一三函一―一九「金剛夜叉／烏芻沙摩（以下略）」の三冊が該当するが、もう一冊は不明である。

⑧ 一三函一―一七

〔外題〕 □□□ (仙芥集) 〔勸修寺〕 〔角書〕 (表紙中央) 太元明王／諸尊法／□ (十) 七卷抄記之 (表紙左外題下) 五之内 (表紙裏) 太元明王〈勸修寺付諸尊法并十七卷抄記之〉 〔本文残存状態〕 完全
〔書写者〕 釵阿 〔装丁〕 綴葉 (二綴、横半帳) 〔紙数〕 八紙一六丁 〔料紙〕 楮紙
〔法量〕 一四・七／二一・八 〔行格〕 一一／一三行 〔手沢者名〕 釵阿 (梵字) (表紙右下)
〔加點等〕 合点・訓点あり、増挿図あり 〔保存状態〕 修理済

本冊も識語が無いため筆記に係る状況は不明である。勸修寺流諸尊法について記した五冊の内の一つ。同流相伝の太元法についての口決が記された貴重な書であるが、上辺から左辺にかけては本文に及ぶ欠損があり判読不能である。

本文中「私云」という記述が頻出するが、これは定仙の見解を記したものであろうか。なお「定仙云」という記述も一箇所ある。

勸修寺流の太元法の口決ではあるが「太政法印云」として醍醐寺座主・地藏院親玄（一二四九—一三三二）の伝も記されている。

⑨ 一三函一—一八

〔外題〕 仙芥集（勸修寺） 〔角書〕（表紙中央） 求聞持法口傳（表紙左外題下） 五之内
〔本文残存状態〕 完全 〔書写者〕 釧阿 〔装丁〕 綴葉（二綴・横半帳） 〔紙数〕 一〇紙二〇丁
〔料紙〕 楮紙 〔法量〕 一四・六／二二・一 〔行格〕 一一／一三行
〔手沢者名〕 釧阿（梵字）（表紙右下） 〔加點等〕 合点・訓点あり、挿図あり
〔保存状態〕 修理済 〔識語〕（二四オ） 正応二年十二月比於願行上人奉受之畢 定仙（二五オ） 正応二年十二月十八日記之 定仙

勸修寺流諸尊法について記した五冊の内の一つで、同流相伝の求聞持法の口伝を記したものの。識語によれば正応二年（一二八九）十二月に願行上人憲静から受法したものである。願行上人は意教流の祖である意教上人頼賢の弟子で、自らも意教流願行方の祖として有名であるが、実はいくつもの法流を相承しており、その中には阿性上人覚宗から相承した勸修寺流榮然方もある。よって本冊に記された口伝も勸修寺流榮然方のものと考えられる。

⑩ 一三函一—一九

〔外題〕 仙芥集（勸修寺） 〔角書〕（表紙中央） 金剛夜叉／烏芻沙摩／正観音／七星如意輪／不空絹索／

白衣／二臂如意輪／耶輸多羅法／准胝（表紙左外題下）五之内　〔本文残存状態〕完全

〔書写者〕 釵阿　〔装丁〕 綴葉（二綴、横半帳）　〔紙数〕 九紙一八丁　〔料紙〕 楮紙

〔法量〕 一四・六／二二・四　〔行格〕 一一／一三行　〔手沢者名〕 釵阿（梵字）（表紙右下）

〔加點等〕 合点・訓点あり　〔保存状態〕 修理済

識語が無いため筆記に係る状況は不明である。勸修寺流諸尊法について記した五冊の内の一つ。同流相伝の金剛夜叉法・烏芻沙摩法・正観音法・七星如意輪法・不空羅索法・白衣法・二臂如意輪法・耶輸多羅法・准胝法についての口決が記されている。

本文を見ても誰の伝を記したものか判然としないが、「私云」という記述が頻出する。定仙が受法した勸修寺流諸方の伝をまとめたものか。

⑪ 一三函一―二〇

〔外題〕 仙芥集　後七日記　〔角書〕（表紙中央）後七日記（勸修寺／付此筆者宝慶記之）（表紙中央下）四卷

抄　〔本文残存状態〕完全　〔書写者〕 釵阿（筆跡推定）　〔装丁〕 綴葉（二綴、横半帳）

〔紙数〕 八紙一六丁　〔料紙〕 楮紙　〔法量〕 一四・七／二二・八　〔行格〕 一一／一五行

〔加點等〕 合点・訓点あり　〔保存状態〕 修理済

〔識語〕（二三才）正応五年四月廿二日奉対了上人記之也定仙満六十（奥）同廿四日了上人説記之了定仙御判

本冊は勸修寺流の後七日御修法の日記（記録）についての口決を記したものであり、「四巻抄」とあることから、一三函一——一三「後七日雜日記 付勸修寺日記抄之」、同一四「後七日醍醐並師伝 両日記注文」、同一五「後七日私抄 付醍醐勸修寺記之／太元法少々記之」とともに後七日御修法に関する一具の書であったと考えられる。巻中識語に「奉対了上人記之也」、奥書に「以了上人説記之了」とあるので本冊も他の三本と同様了一上人公然の口伝を記したものである。この四本を識語に記された受法・筆記年月日によって時系列順に並べれば以下の通りである。

正応五年（一二九二）

- | | |
|--------|----------------------------|
| 二月二十五日 | 一五「後七日私抄 付醍醐勸修寺記之／太元法少々記之」 |
| 三月二十六日 | 一三「後七日雜日記 付勸修寺日記抄之」 |
| 三月三十日 | 一四「後七日醍醐並師伝 両日記注文」奥書 |
| 四月五日 | 一四「後七日醍醐並師伝 両日記注文」巻中識語 |
| 四月二十二日 | 二〇「後七日記 勸修寺／付此筆者宝慶記之」 |

【参考文献】

『称名寺聖教目録』全三巻、文化庁文化財部美術学芸課（二〇〇六年）

『仙芥集』翻刻

〔凡例〕

- 一、原則として新字に統一して翻刻する。
- 一、合字は新字による一般的表記に改める。漢数字の略字についても同様である。
- 一、繰り返し記号について、漢字は「々」、仮名は「〃」に統一する。
- 一、梵字はローマナイズして記す。
- 一、脱字の挿入箇所に記載された小さい丸は○で表記する。その傍に記載されている挿入する文字については、○の下の（ ）中に記す。
- 一、文字の接続を示す「―」は略す。
- 一、送り仮名に用いる略字・合字は読み通りの表記に改める。（例）シテ、トモ、コト
- 一、声点は、声点が付く文字の後に四声名を（ ）で括る。濁音の場合は四声名の後に「濁」と記す。例…
平声の場合↓（平）、上声の濁音の場合↓（上濁）
- 一、欠損等により判読できない文字は、想定される字数分□を代入する。

①【十三箇一——〇】

〔表紙〕

ken a (鈔阿)

意教上人

三宝院

御口伝等

□芥集

〔表紙裏〕

(空白)

〔本文〕

三宝院意教上人口伝等

√字輪觀三種事

√本尊加持三處事未有之

√字輪觀梵字誰所說事

有人私料簡也

√散念誦時必誦仏眼真言事

√振鈴以後通諸尊結誦

□尊印言事

□成就二種事

□教上人伝法秘密乃至

□□印事

√伝法灌頂有二種事

√二根交合成大仏事

√□供養法次第事

□頂以後不受事等見事

√□智身見智身印言時移

□□事

√十八道以前授尊法樣

√歡喜天印事

√胎藏界遍智院事

√灌頂時移阿闍梨位事

「一才」

拍掌ノ両界中ニ有処数事

√加持句真言功能事難云

√字輪觀事

有人云伝聞有平円豎

円団円ノ三ノ義ニ平円者

鏡ヲノケサマニヲケルカ如ク

平ニ觀月輪ニ也初心

授之豎円者タテサマニ

□月輪ニ也如懸鏡ニ胸

□タテサマニ觀之ニ也初心授之

団円者玉ヲケルカ如ク

胸間タニマロニ觀月輪ニ也

√付置字ニ有觀心随方ノ

ニ義ニ觀心者何レノ方ヘモ向

以向方ヲニ為東方トニ中ニa

□東方ニvan字其後ハ

□置ク字ニ也東方ニ始テ修

□□ニ義也發心修行

菩提涅槃義也

一ウ

随方者先付増益ニ向ハ

東ニ中ニa字前ヘヲキ

van字右ニran字如此順ニ

メクル也次付調伏ニ向ハ

南ニ中ニa字右ニvan字

其後ハ順ニヲク也次付

敬愛ニ向ハ西ニ中ニa字

後van字左ニran字其ノ

後順也次付息災向ハ

北ニ中ニa字右ニvan字

後ran字其後順ニメクル也

□ハ必東ニ始メ北ニヲウヘキ

□如此亦必順ニメクルヘキ

□付団円ニ布字スル時□

□ハ順ニテ而中也余字

チトツハ心臍ニサカリテ可住ニ也ト云

字□□梵字誰所說耶

尋□字輪ノ時ハ心月輪ノ上ノ

□ハ大日所說ノ陀羅尼

二ウ

二オ

三オ

□將本有天然ノ自性

□羅尼歟有人云此ハ

不受師伝「真実ニハ不知之」

也雖爾「私ニ一義ヲ推テ申サハ

梵字ヲハ一ニハ梵王所説ト云也

梵王ハ受仏所説一云

二ニハ釈迦所説三ニハ大日

所説釈迦自不説之「大

日ノ説ヲ聞説之「然間大日

所説也「実ニハ大日モ自不

説之「三世常住ノ字説ト

也ト悉曇ニ申也若爾ハ本

有ノ字ヲ觀スレトモ而大日

所説ノ梵字ナルヘシ五ニハ不

離一也唯一体故ニ云

□云実此義貴云

□念誦時必誦仏眼真言事

□人云上人仰云鵠鳥

入水ニ害ス一切魚鮮ヲ一

三ウ

□角入水ニ返助之云

□金輪行者一切ノ法ノ

□□□□□鵠鳥一誦

仏眼真言「不被取之」

如犀角「然間法ノ功能

□□取ラレシカ為ニ誦仏眼

□□誦ハ金輪ヲ「我身金輪ノ

行者タル由也ト云

又云仏眼ノ法ノ散念誦ニハ

別ニ不誦仏眼真言一也

此法為仏眼「故ニハツレサル

也ト云

有人云上人ノ仰トテ人ノ申サレ

シハ母ニ物ヲアツケタルハ不シテ

失一子息ニ与フ仏眼ニア

ツラヘタテマツルハ不シテ失一行

者ニ与ル也至菩提「不失之」

誦金輪者我身為ル金

輪行者「故ニ我法ヲ金輪ニ

四オ

四ウ

ハツレサル也_{ト云} 私云兩義

何_{レモ}可背歟 勸修寺_{ニハ}別

□口伝_{一云}

□人云字輪觀ノ後_ニ大日

加持此時結誦次仏眼

加持_{シテ}ヤカテ散念誦_{スル}也

□勸修寺_{ニハ}散念誦

□結誦仏眼印言_一次

結誦大日印言_一此時尽

契印等_一也 次本尊結_テ

□其後誦仏眼大日

□尊ノ真言_一也

振鈴以後通諸尊法三十

七尊印言_一有_ニ義_{付十八道等諸尊法}

一用羯磨会印言_一用三

摩耶会印言_一三結三摩

耶会印誦羯磨会言也

此外有秘極結五古印

誦ユキ經ノ序品ノ三十七尊ノ

五才

一字ノ真言_一也 又五古印_ニ

以三十七尊真言_一布字_{スル}事

アリ 別日記在之

妙成就有二事

√有人云二階堂說云妙拳

土印ハ三部妙成就、ユキ

經ノ序品ノ五古印_ニ誦ハ_{vam}

□五部ノ妙成就也_{ト云}

□教上人伝法秘密灌

頂授有入人事

私云□伝法灌頂

五古印五字明 塔印_開

歸命 _{見大僧正御房} _{印信如此云} _{vam} 其

□秘密灌頂 塔印_開

□智五 a 其後歷

□序越前国最後授

第三重 塔印_開 a 等

私云法印御房御流_ニ少_モ不違_云

伝法灌頂有二事

六才

五ウ

有人云上人仰云元泉石山^二

奉受^一秘密灌頂以此^一

為甚秘伝法灌頂^一寬弘^二

所受灌頂以此為淺略

伝法灌頂寬弘^ノ所授印

明^モ本有醍醐雖爾[□]作

法者寬弘^ノ流也石山^ノ内

供所^ヲハ授^一當時^ハ称秘密

灌頂^云

√二根交合成大仏事々

□□云理趣経得^{エテ}自性清

□段文^一也觀音也不^二大

日現觀音^一也五古印^ヲ□

メテ蓮花^ノ形^二結^ヲ也明^ア

vi ra hūn khaṇḍ hriḥ^イ

血脈

○寬位^{了心定仙}兵部卿法印 惠靜

有人云上人之仰^{ニハ}人^ニ為^{ニハ}不

□^{シメ}惡見^一印^ノトキ文也^{ト云}

六ウ[』]

√供養法作次第事
道場觀事

hriḥ 字蓮花種子、ab字

樓閣種子 a 字月輪種子也

召請事

通用^{ニハ}用大鉤召印言^一別^{シテ}

用^{ニハ}三部^一金界^ノ内三部^ノ印

言也仏部^{ニハ}結仏部^ノ印^一誦

仏部^ノ真言^一加噫醯噫呬^ノ

句^一也

蓮花部印言加句同爾也

金剛部印言加句同爾也

部主事

□□トカイテ下^ニ何^ノ尊^{トモ}不[□]

□□散念誦下^ノ念誦中^ニ

□主^{ツラチタリ}列見之^一上^ノ部主^ヲ此尊^ト

得意^一也^{甚深口伝}

七オ[』]

□有甚深不可思議

義^一口伝在別

√供養法作次第事

道場觀事

hriḥ 字蓮花種子、ab字

樓閣種子 a 字月輪種子也

召請事

通用^{ニハ}用大鉤召印言^一別^{シテ}

用^{ニハ}三部^一金界^ノ内三部^ノ印

言也仏部^{ニハ}結仏部^ノ印^一誦

仏部^ノ真言^一加噫醯噫呬^ノ

句^一也

蓮花部印言加句同爾也

金剛部印言加句同爾也

部主事

□□トカイテ下^ニ何^ノ尊^{トモ}不[□]

□□散念誦下^ノ念誦中^ニ

□主^{ツラチタリ}列見之^一上^ノ部主^ヲ此尊^ト

得意^一也^{甚深口伝}

七ウ[』]

√撥遣事

通用^{ニハ} om ハサヲホキシヤホ

ク句也用^テ金剛部言^一加

撥遣別^テ用^{ニハ}三部^一仏部^{ニハ}

□爾(平濁)ナウシキヤホキシヤ

□□ト誦^テ花^ヲ中指ハサンテ

投之^一也蓮花部^{ニハ} om ハン

トマノ句加撥遣句^一投花

金剛部^{ニハ} om ハサヲノ句^ニ加句

如前羯磨部宝部撰

上三部^一也^云護摩之^ノ時^ハ

三部ノ印^ヲ各用也以十八

道為本次第^ト一作之^一也^{ト云}

一々^ニ上人ノ仰也^{ト云}

√伝法灌頂後見不受事爾事

有人云上人仰云伝法灌頂秘

密灌頂阿闍梨位^ヲ受後

我身為大阿闍梨^一見^テ儀軌

本經等^{ヲモ}一印明等^ヲ可結誦

八才

不審ノ処^ヲ可問^一也^{ト云}仍他

□□来奉尋^一時^モ如此答^テ

□□ウ也我^カ門弟等^ハ事□

□□口伝等カワル故^ニ一々□

□^{シム}之^一分明^ニ見[□]雖不伝授^一

不可有越三昧耶罪也^{ト云}

√現智身見智身時秘口伝

上人仰云現智身時前觀

本尊^一見智身印○(明加事)以二頭指^一

□之^一也本尊入我身^一遍

□□我身^ニ也^{ト云}

□□自行時必結之^一□人

□時^ハ不^ス教之^一^云

√十八道後授法事

要尊少々授之^一何^{トモ}不^不扞

秘印等ノアルヲハ不授^一也

上人ノ御樣也

√歡喜天印事

付薄双紙^一朱付三処アリ

九才

与鹿文^ツ□也但鹿文チト

九ウ

不審アルヲハ分明ニシラシメン

タメニ朱^{ニテ}注之^一也初二^ハ付

朱^一第三^ハ不付朱^一依鹿文

用□伝也上人仰云女天

者懸袈裟為權天也^{ト云}

√胎藏界遍智院事

有人云胎藏界、中台^ハ八葉

□其次^ニ一切仏心虚空眼明

□□切菩薩、此三^ハ仏眼也^是ヲ

□遍智院^一一切諸尊母□

女形仏也

トカノヲノ上人ノ時現^シ給^{ヘル}仏眼^モ

□□仏也□定□意教上人ノ

仰□此等ノ女形男形等^ハ非^ス常^ニ

男女二根^一也且為表定恵^一現

男女形質^一也^{ト云}

√□尊加持事

□三処^一一入我々入前二入

我々入正念誦^ト後也三字

輪觀後胎藏三処一入我

々入前二入我々入後三正

念誦字輪觀後^云

√駄都次第^モ三処也灌頂

時授阿闍梨位印言^一

金界深也^云

√拍掌事

金剛界拍掌五度也

一初^メ甲冑結冑時一度舞

儀在之

二金剛拍時舞儀無之

三前供養時四智讚^ニ一度

此ノ四智讚^ニ如成一文^ヲ分^テ一々^ニ

アテ^ル印^ト言^ト誦^テ結誦

□□也広沢^{ニハ}不爾^一^云

□云勸修寺^モ文^ヲ置^テ唯

口伝用金剛掌□^一也

四後鈴^{類次第}在之^{式略之}

十ウ

次^ニ四智讚拍掌^{舞儀在之}

□□界後甲冑結^ノ胄^ノ

次^ニ拍掌舞儀在之^一

胎藏界拍掌一度也本

□□次不動尊□□□

□□中間振鈴也

其時四智讚在之^一其時

拍掌唯一度^云舞儀在之^一

√加持句事

儀軌中云說救世加持^一令^{メテ}

法眼道^ヲ遍^セ一切処久住^{セシム}

天台次第^{ニモ}引此文^一也

√五相成身如来身会事

有人云五相成身^ハ釈迦成道

儀式也守護經、撰真^言

經、金剛頂經等如此^一如来

身会亦釈迦也釈迦相好也

仍五相成身^ト如来身会^{トハ}

同^シ物也^{ト云}私云広

十一才

沢以 on 字^一供香花等^ニ

□院如何、有人等云

□□院爾也各々皆□

又大事ノ香ノ香花供

養ノ印^ニ以 on 字^一供^{スル}徳^ヲ

□^{タリト云}引^テ□^{ルニ}爾也^云

√胎藏印□不審

無量声仏頂印^一虚合

二風絞^マ火背^云火字

□也可大字^一大日經□□

□□^ヲ二風絞空背^一文法全^ハ

依大日經作儀軌^一延命院

依法全胎軌^一作胎藏次第^一

也亦胎軌^{ニモ}火字^{ナリ}即其^モ損

タル也儀軌^ハ仏說儀軌^{金輪軌也}

菩薩軌人師軌三ノ儀軌也

青龍軌人師軌也依大日

經^一依之^一然間本經^ハ空字

也明知青龍軌可大字^一後

十二才

十二ウ

損^テ火ノ字也 火背^{ニハマ} 絞^ウ義無之

唯著^{ケム}也 又非商佉印^一

方々ヒカ事也 次ノ於火中

節^一此火^ハ如^シ本經^一 仍

意教上人尤爾^{トテ} 少々本^ヲ

ナヲシタリ 又如前商佉相^一

□此文儀軌ノマ^ハニカキウ

□也儀軌^{ニハ}商佉印在如

□身会^一々々々々儀軌^{□□}

□故儀軌指^ス初^ヲ也 延命

□次第^ハ違^テ儀軌^ニ取^テ如

来身会[□]置[□]下[□]也 然間今

如儀軌力キウツ□□次第前^ニ

無商佉印^一也 仍前後^ハト

□カクモアレ如商佉印^一可

□^一絞大背^ニ者以^二中^一

□□大上^一也 空捻於火中

節^一者^二空ノサキ^ニ火ノ中^ニ節^ニ

アタル也 サテ商佉印^{ニハ}ル

十三才

也 次ノ口伝^{ニハ}阿伽印^{ト文}

仍用口伝^一付阿伽印^一 也不

用商佉印^云

經說並儀軌^ハ用商佉印^一口

伝^ハ用阿伽^一也^云

√作礼方便印事

偈^ハ金合次至真言处^一先^ハ

如鹿文^一次^ニ出異本^{一云}

印相左拳安腰^一舒右掌

按地^一付之^一有不審^一此^ハ作

礼ノ印^{ナリ}可金剛持遍礼印^一

仍真言^モ少々^ハ異^{ナレトモ}多分^ハ

偏礼^マ真言也 広沢ノ胎ノ次

□大師ノhūm 字次第^{ニハ}九

□便印無^シ不空夢^ニ□

□喜多院御室^一非^ス次第[□]

持遍礼ノ印也 手形ノ次第

爾也 今延命院許用触

地印^一如何答□此不審^一

十三ウ

十四才

披青龍軌^一作礼方便真

□印持地印^ト又不出印

□灑淨ノ下ノ持地真言下^二

□□印^ト文亦不出印相^一

地藏院ノ持地菩薩ノ下無持地ノ

注^一又印無^シ披大師 hūm 字

次第^一灑淨ノ次ノ持地ノ下注^{シテ}

云惠舒^テ按地^一延命院大

政○(綱^歟)依^{トモ}青龍軌^二無^{ラハ}印相^一

用 hūm 字次第等^二歟仍依

hūm 字次第^一灑淨ノ次ノ持地^{二ハ}

用触地印^一也地藏院ノ持地ノ印^{二ハ}

hūm 字次第^{二ハ}金剛部印^ト文

仍延命院ノ次第^{二ハ}依 hūm 字

次第^二持地菩薩ノ印^{ニモ}用 hūm

字次第^一也然^二作礼方便ノ印ノ

処^ニ青龍ノ儀軌^ニ持地^ト文

仍灑淨ノ次ノ持地ノ印 hūm 字ノ

次第用触地印^一故^二作礼

方便ノ持地^{タル}触地ノ印^ト得意^一

□□誤歟 青龍ノ軌持地^ト

□□指^{ナル}地藏院ノ持地印ノ

□□サテコソ礼ノ義^{ニハ}アタレト

□醍醐ノ頸次第^{二ハ}依金剛持

遍礼ノ印^ニ也又頸次第^{二ハ}

灑淨ノ次[□]持地^{ニモ}用金剛

持遍礼印也私云明 hūm

字ノ頸次第出触地印^一出

金剛持遍礼ノ印^一難得意^云

□部字輪觀

□□先阿 sa va ^ト読^テ次

ka kha ga 等ノ字^ヲトムベシ

第一 a sa va ^ト引声之引声誦^ヲ

次^ニ可読 ka kha ga gha 等^一

第三 an san van ^ト読^テ kam kham

gam gham 等ノ字^ヲトムベシ

第四 ah sah vah ^ト読^テ次可

読 ka kha ga gha 等ノ字^ヲ唯

十五才

十五ウ

四度也雖可_ト住十二度_一
醍醐_ニ略_テ用四度_一也勸修

寺_ハ不爾_一用十二_ト也醍醐モ

可十二度_{ナル}_一雖爾_一略_テ如此

四度_ニツムル也_云仍_テ頸次

第○(三) a sa va トカイテ出 ka

ka 等_一也得意_一可見_一也_云

忿怒拳事

□□_{ニハ}以頭指_一押大指甲_一

□降三世印、サヤムニテ

□不被結_一也天台_ノ依_ニ末

釈云忿怒拳_ト者牙印

□_云然間常喜院印

□_ニ出_{□ニ}忿怒拳_ヲ用_テ天

台_ノ人_ノ言_一用牙印_一也爾_{レハ}

□_ク義アヒカナウト_云

(空白)

一校了

十六ウ

②【十三函一一一】

〔表紙〕

ken a (釵阿)

親玄僧正等

三宝院

御口伝_一

仙芥集

十六オ

〔表紙裏〕

(空白)

〔本文〕

台皮籠事

大政僧正御房台皮

籠日記定仙^ニ令見之^一
給也

台皮籠事

二合ノ目錄二卷也

一合孔雀經法代々日記

合具書^一三十余卷也

是範俊等相伝也

仁王經法代々次第

具書等合三十

余卷也亦是範俊

等相伝也

後七日請雨經代々

具書等三十余卷

以之也兩大法秘法

具書皆三十余卷

如法尊勝如法愛染^ハ

定海作也

(空白)

一合ノ目錄^{ニハ}

一才

大師御筆北野天神御筆

天神所持ノ大般若行基

自筆、金聖天銀、聖天

義範、雲加持ノ五古

御舍利等是等ノ大事ノ

日記也此^ヲ名^ス重宝、

皮籠^ト

又大事ノ書等在此中^一

仁海已下日記等在之

良雅ノ皮籠ノ中ノ書

等在此中^{ニ云}大元

許也其外無之

以此等秘書等^一勝覺

与定海^一々々讓元海^一

仍惣日記在之後

日印之者是也為

後代^一清書本^ニ

元海記之^一草案本^{ニハ}

無之

一ウ

二才

台皮籠事

勝覺僧正ノ皮籠ハ二合

何レノ門徒ニ有ラ耶

覺雅法印云中書ノ本

二合清書ノ本ニ合在

之勝賢マテハ並ヘテ伝之

勝賢以中書ノ本一讓

実繼法印一実繼ノ聖

教ハ憲深僧正伝之

憲深聖教与実深

々々聖教覺雅伝之

然間其ノ中書ノ二合ハ

在リ覺雅カ許ニ

勝賢僧正以清書本一

讓成賢僧正々々々々

与道教一々々讓親快

法印親快讓親玄

僧都一仍正本ハ在親

玄僧都許ニ也

二ウ

(一行空白)

了一上人云勝覺皮籠

二合ヲ居台ニ持住反

故云爾也其中聖教

不定也大要ノ物入之

諸ノ儀軌等也勝賢已

後ハ白表紙等モ入之也

妙抄玄秘抄薄双紙

大法秘法等皆入之也云

親玄云本二合也四

合ニ作之薄双紙等

入之角洞院遍知院

光宝等ノ記マテ入之也

又云勝覺不授理性

三密皮籠申台

皮籠二合是也一合ハ

重宝等入之一合ハ大

法秘法次第並具

書等入之一入アマリテ高キ

三ウ

三才

四才

也付弟^{ニモ}以此本^一不

授^一唯以別本^ヲ授之^一

具書等不授之^一唯

最後近付与之^一置^テ

不出移^一仍無二本^一嫡々

唯一人受之^ニ也直^ニ受

皮籠也皮籠大^{ナナル}

故^ニ成賢僧正時コトカケ

又物共^ヲ取出^テ我^カ薄

双紙等^ヲ副^テ二合^ニ入

之与本^ニ合^一具^{シテ}四

合也成賢与道教^ニ

々々^一与親快々々授親

玄^一皆最後也

√親快法印醍醐離寺

時四五日先立^テ醍醐^ハ

軍可有由聞^{ユル}間親

玄中納言阿闍梨慶^{ケイ}

伊上総法橋三人^{シテ}台

四ウ

皮籠^ニ合^一大法時ノ道

具^{大シテ護摩壇大壇^ニ具也タリノ修法少^ニ護摩^一一具也}

灌頂ノ時ノ道具代々ノウ

横皮等ノ物一々大事

聖教等皆シタ^リメテ

ヲタキノ修行^カ蔵^ヘアツ

ケタリヲタキニハ中ノ御

門大納言カヨウ宿所

等^{ヨリ}以其縁^一修行^カ

蔵^ヲ借^ル也一々^ニ取置

之^一桂^ヘ隨身ノ物ハ小台ノ

皮籠^{トテ}成賢僧正

小^キ皮籠^ニ合^ニ薄双

紙等入^テ隨身^{シテ}アルカシ

キ言^ト又少々聖教^{アリ}

此等^ヲ隨身^{シキ}親快入滅ノ

後土御門ノ大納言定

実^サ両方^ヲ聞^{ムトテ}無左右^一

親玄^{ニモ}不与親玄申^テ

五オ

五ウ

院宣^一右畢^ヌ 仍^一卷^モ

実証法印^{マヤ}ノ方^ハ不被^一

取^一後^ニ中ノ御門ノ大納言

具房^{トモ}親玄^ニ其教訓^ニ

依^テ聖教^ハ実証^{マヤ}ニカシテ

カ^ハセタリ桂^ハ被移^一時

聖教^ヲハシタ^リメテヲタキ

置^ニ建治二年五月

中旬^ニ移ル^テ後經十

日許^一死^ヌ五月二十六日

也又実証^{マヤ}ニハ二部有^ヲハ^一

部トラセタリ非本書也

√親快最後時^キ土御門大納

言定実^ニ聖教^ヲアツケ

ヲク親玄法印^ニトラセヨト

云^ニ台皮籠^ニ合其外^一合^{アリ}

√覺雅法印云親快法

印已前^ニ内々台皮

籠^ヲ与親玄僧都^一畢^ヌ

六才

内ノ物^ヲ皆与^テ皮籠^ニナニ

トモ無^キ書共^ヲ取入^テ

病所^ニ隨身^ス実証法^{マヤ}

印後論^{シテ}之^一申公家

御使^一開^テ之^分タントス開^テ見ル^ニ

都大事物無^シ真言^ノ

大事^ヲモ内々前^ニ授

親玄畢^云

了^一上人云実証親玄

僧都兩人共^ニ親快弟

子也大事^ト院家^トハ讓

親玄^一也^云

台皮籠数如何

√親玄仰云本^ニ合也

成賢僧正取分^{ケテ}之

作^リ出^スニ合薄双紙等

具^之已^合上

親快法印別^ニ四合作

出^ス私聖教等入^ノヲ^一

七才

七ウ

已上八合 親玄隨身^{シテ}

下向^{スト云} 親玄^ハ

親快法印ノ翠髮^{ヨリ}

弟子也 仍親快授

親玄^{ニ云} 親快小野

灌頂^{ヲハ} 按察法印^ニ受之^一

内々淨尊^{マヤ} 覽行^ノヲホ

ヘアリ故^ニ隨別人^一遂

之也^云

親快法印^ハ仁和寺ノ理

智院^{ニ住シテ} 遂灌頂道

教僧都病床^{ニシテ} 呼^テ之^一

授醍醐ノ唯授一人大

事^一 雖為他門已灌

頂^一 故也 道教僧都於^ハ

広沢^一 親快法印已

灌頂也 故^ニ最後^ニ以唯授

一人大事^一 親快法印^ニ授

也 自余授法等^ハ淨尊

八才

中納言律師ニ申付也

淨尊^ハ遍知院ノ弟子

也 醍醐ノミサ^キニ住也

延喜ノミサ^キニ醍醐^{ニ在リ}

台ノ皮籠ニ合白表紙等^モ

皆淨尊^ニ申付^テ 令伝

親快^一淨尊此時流布

白表紙等^一也 淨尊内々

乱行ノヲホヘアリ是故^ニ小

野灌頂^{ヲハ} 隨深賢法印^一

受之後亦隨憲深

僧正^一 遂灌頂^一 親快心

スコシキ不一^一准一人也 明

日可^{キニテ} 遂灌頂^{ニ往テ} 深賢法

印許隨憲深遂灌頂

由^ヲ申ス 氣色横^{シテ}

本意^{ナキ} 体見^{ヘタリ}

此等ノ故無冥加^一 早世^{スル云}

√按察法印無才覺耶

八ウ

九才

親快重^テ隨極樂房

僧正遂灌頂故了一房

云不爾有才覺一人也

親快心不落居一人也故

重遂之一也有才覺一

故秘藏記抄書記之

禪定殿下ノ御前ニシテ高

野ノ道範等參テ讀之

以其一為シテ本一記之也我

身ハ醍醐ニ持之一也^{ト云}

√成賢僧正初以大納言

僧都勝海^{久我通賢御息也}一為付弟一^早

世故ニ次以道教一為付弟^ト

勝海^ト唯授一人大事ハ授

不授不分明^{一云}

√道教所持白表紙ハ大

納言法印勝海自筆

書也勝海者唐橋ノ大

納言子息成賢灌頂ノ上

九ウ

足也早世故ニ彼自

筆ノ本ヲ道教ニ給ル也

此人可為補処一^{早世}

故以道教一為補処一

道教キラくシクテ

梵漢俱能書也サイ

ク也イカナル文^{ナレトモ}

料紙共ニ二日ニサハクリテ

進之以此等器量一為

補処^云

√覺雅法印云親快法

印伝法灌頂ヲ淨尊ニ

不^{シテ}受一深賢ニ受之一

仍淨尊委細ニ大事ヲ

不授^{一云}謗家ニハ如是

申也○(其後親快隨憲深一遂灌頂^歟)又実証^{マヤ}房我

コソト我慢^{スルハ}此義也^云

√了一上人云道教僧都

自於親快授唯授

十ウ

十オ

十一オ

一人大事其外受法

等申置淨尊律師

也雖然淨尊内々

有^{リシ}亂行覺^一仍伝法

灌頂ハ受憲深法印^一也

其後亦受憲深^一深

賢本意思之也仍

無冥加^一親快法印

早世^{ス云}

了[√]了一上人云成賢僧正

道教ニ与^{ヘテ}遺状ニ云

一期之間住持^シ諸院

並宗大事^一次可^シ讓

与通円法印^ニ若通

円有別子細者可為自^ノ

許^一然^ニ通円法印

物狂ニナル事^{アリ}道教

無力^ニ弟ノ親快法印^ノ

仁和寺ニアルヲヨヒヨセテ

十一ウ

讓諸院並大事^ヲ時定^{テイ}

通卿^{トウ}方便^{ニテ}分^{ケテ}令^ム讓

通円^ニ一定通卿者三条^ノ

坊門^ノ通方^{ミチカタ}弟也サカノ

法皇^ハ通方^ノムスメノ御服^{ウラ}

ウミマイラセラル仍通方

ヤシナヒマイラスル也然^ニ

通方死亡^ス是故^ニ弟^ノ

定通代^ヲトリヲコナウ面^ニ

アカキニキミヲ^シ仍異

名^ニアカヲ^{イト}イトノト云也

源氏也通円^ハ定通^ノ子

息也定濟僧正^ノ兄也

法皇^ノ御メノト^ノ教^ニ時^ノ花

ニテアケテト被申即

無^{シテ}力^ニ三宝遍知院

讓通円^一角^{マヅ}洞院西方

院並宗大事^ヲ讓^ル親

快^一如是分之既道教

十二オ

十二ウ

死去ス其後通円法

印ノ物狂過^{タリ}法一仍往^テ成

賢僧^{マシ}ノ遺狀一親快法

印通円^ヲ日中ニ追出

三寶院^ヲ一雖訴訟一不

叶^一然^ニ通円死^ヌ時弟ノ定

濟僧正^ニ兩院家^ヲユツル

此時定濟兄ノハチヲス^ハ

カシムカタメニ返^テ兩院^ヲ

ウハイトリテ知行^ノ之^ヲ申^テ

公家^ニ一トル故^ニ無力^一被

取了^ヌ醍醐ノ別々ニナル

次第如是^云

√親玄仰云親快住仁和

寺理智院ノ良遍ノ下^ニ一

伝法灌頂^ス通円物狂故

道教呼親快^一教物^一

中一年也雖可為具支作

法^一三十七^{ニシテ}死^ス覺洞院

十三才^一

遍知院三十三^{ニシテ}初授灌頂^一

仍雖授伝法印可大

事印可等^一不成具支

儀式^一然間深賢法印^ニ

申置也其書狀^{アリ}道教^ニ

雖授印可等^一不成具支

儀式^一仍貴辺^ニ申

置御也^{已上取意}

権大僧都道教

親玄仰云故深賢法印

以道教僧都遺言

親快^ニ可授具支灌頂^一

之由即最後之時書狀^ヲ

一通深賢法印ノ許へ

書^{ヲカル}即取出^テ被^ル見^一

之^一其狀貴下^ニ具支

灌頂可奉受由申置

ク也相接々等^云以遺

狀所受也全非私義也

十四才^一

嘉禎二年五月二十六日他

界二十四日書狀也

√三寶院ノ内ノ三寶ハ皆在

台皮籠中^一今三寶

院ハヌケカラニナレル也

親玄説也

了^一上人云理性三密ヤ

モスレハ定海^ラアナツル勝

覺此^ヲ見^テ後^ニアナツラセ

シトテ理性三密^ニ不

授処也^ト皮籠^ニ合^ニ

□^テ被置也

極樂房僧正受法事

覺雅法印云実深僧

正成賢僧正^ニ遂灌頂^一成

賢最後時実深立^ッ

枕辺^ニ御没後^ニ誰^ニカ可

問不審御耶申答

憲深律師^ニ問^{ヘト}云^云

十四ウ

仍没後^ニ重受^{シテ}受法也

覺雅憲深^ニ遂灌頂^ヲ最

後^ニ誰可尋不審御^ト

申問実深^ト云^云仍

没後^ニ重受^{シテ}受法也^云

成賢最後^ニ淨心法印○^一〔深賢法印〕

道教僧都等雖有^一以

実深^一憲深律師^ニ令

受法^一憲深行徳知法

故也^云

√了^一上人云極樂房僧正^ハ

石山ノ文泉房^ニ被同宿^一

石山^ニ被^レ住^一也仍勸修

寺聖教在^之

√憲深僧正^ハ実繼法印^ノ

イトコ也実繼無^{シテ}付法

仁^一死^ス仍聖教^ヲハメノト

取^リ置^テ与^子息^ノ憲深

僧正^ニ以此聖教^一成賢

十五ウ

十六オ

僧正^ニ奉受^一 雖爾^一唯

授一人^ニ大事全不授之^一

√親玄仰云^ハ實繼法印^ハ聖

教^ハ讓殿^ハ僧都良海^一

々々物狂^{ニシテ}死ス良海^ノメノ

ト憲深ノ母儀也此^ノ聖

教^ヲトリテヲキテ与子^ノ

極樂房僧正^一也以此聖

教受之^云

√親玄仰云^ハ此台皮籠^ハ

極樂房不越彼家云

書写本在之^一不爾

此等^{ヲハ}不与別^ノ書等也

本作法等^ハ同^{ナル}事^モアレ

トモ具書等^ハ全別也非

付法正頭^一者不授之^云

源氏^{一門四家ニ分タリ}

久我

土御門

三条坊門

唐橋

左大将通忠^{早世}

前大臣通基^{家嫡}

権大納言具房^{トモ}
^{妻兄也}

親玄

通忠父通光也^{太政大臣也}

成賢^{僧正}

道教^{大納言僧都}

親快法印 親玄法印

深賢^{法印}

中納言律師^{淨尊}

醍醐唯授一人^ニ大事不散事

成賢僧正唯授一人^ヲ大事所

望勝賢僧正^一時辞^{シテ}云

故成尊授義範々俊^二

人重我時授三人^一耶

乘繼法印御室兩人^ニ

既授畢^ヌ授汝^一三人也

不可叶^ニ雖爾兄^ノ静憲

法印丁寧^ニクトキテ

被申仍以実賢阿闍

十六ウ

十七才

十七ウ

十八才

梨夜^ル被召授之畢^ヌ

但授二人者義範々俊^モ

御室乘繼^モ唯義

範^ノ筋ノ大事也実^{ニハ}

非唯授一人大事^{ニハ}一^云

仍成賢一人外不授之^云

定仙問覺雅法印云厚

双紙外大事醍醐誰

人受之耶答云大

政法印与覺雅也^云

後奉問大政法印^一々々

仰云唯受一人大事^{ハヨモ}

ソナタヘハユキムハシ別^ノ

事ヲ思^{□ヘテ}被申歟^云

(一行空白)

醍醐唯授一人相承事

良雅 定海 元海

実運 勝賢 成賢

唐橋大納言雅親御息也

大納言僧都
道教

大納言法印
親快

親玄

兄也
号遍知院僧都

弟也
号覺潮院法印

(空白)

唯授一人受法儀式如何

意教上人云

答元別儀式先授小

野秘密灌頂^{一印二明也}

次授唯受^{マヤ}一人大事^一但^シ

前立^{タテ}奉受秘密灌頂

故^ニ今度ハ唯乍御病

床授此大事許御^シ也^云

為^{ナリ}令伝松橋不授余

人^一令[□]状^一云

唯授一人大事伝受次第如何

親玄仰云是号閉眼大事

閉眼外不授之亦平等^ニ

不讀之^一亦明僧等中^{ニハ}不

得之^一云

唯授一人大事^{ヲハ}人^ニ不可知

十九才^一

十八ウ^一

十九ウ^一

厚大事外ニ別無大事^一

云^テシラヌ体^{ニテ}有ル^{ヘキ}也^云

√了^一一上人間覺雅法印云

厚大事外又最極

大事有之耶法印

答云有也角^云 洞院僧

正受病患時病ハ是死ノ因

也^{トテ} 被授実繼法印^ニ

大事在^{リト}之^一云

但前大事^{ソト}ハ不得^一ア

ヤシク覺^云□キ^云

√意教上人云末代大阿闍

梨ハ非可授灌頂機雖然

与大日祖師成不二觀^一

勤行之時即大日祖師^ト

不二故授^ル灌頂^一不苦^一也

唯授一人明末以真言^一切

続事

義云五智真言^ヲ一度^ツ

誦読也 五智皆可^有

故^ニ此即兩部大日也 大日

雖兩部^一証ノ時^ハ一仏也^云

伝法祖師等次第^ニ相承

口伝之^一 唯列兩部阿闍

余秘之^一 不列之^一 以口伝^一

相承^{スト云} 列^{子ハ}人可知故^ニ

釈者略之

唯授一人大事在守護神事

醍醐ノ清瀧権現^ハ唐在ノ青

龍寺ノ鎮守也 恵果

和尚以此大事^一 奉授大師^一

御故^ニ権現約束大師^ヲ為

守此大事^一 共大師同船

渡日本^一 神且^ク筑紫^ニ

住^シ御^スアメシノ明神^ト申^ス

次大和国^ヘ移^リ御^ス知也^不

次^ニ上ノ醍醐^ノフモトニケヲ

ソクト云^ル処^ニ移御^ス次^ニ

二十才^一

二十一才^一

二十ウ^一

上ノ醍醐ヲノカサトミ
子^ニ住^シ御^ス其次^ニ當

時上ノ醍醐ノ西谷^ニ住^シ御^ス

也清瀧者青龍^ニ

水ヲソヘテヨム也守^リ

青龍法水^一御^ス故^ヘ也

已上故上人物語也唯

授一人大事相伝^{スル}時^ノ

一口伝也親玄^ハ此事

不存知也

清瀧御事

上ノ醍醐^ニ二社御^ス号兩所

権現^ト一社^ハ准提女形

一社^ハ如意輪僧形俱^ニ号

清瀧権現^一二社^ハ兄弟

儀也地体^ハ一社也一休

現兩社御^ス心地也

(二行空白)

醍醐諸院建立事

二十一ウ

遍知院義範建立^ス

三宝院勝覚建立^ス

彼時灌頂堂許立^之

定海元海実運

住之実運勝俱胝

院建立^之一勝賢

雖住三宝院角^(マ)洞

院建立^ス成賢本房

三宝院也遍知院^ヲハ

皆相承^{シテ}雖住^之一本房^ハ

三宝院也

三宝院公所故私聖

教等不納^之一云

遍知院^ハ義範建立

成賢執^{シテ}之住^ス此院^一

於此院^一南経蔵西経

蔵^{トテ}有二経蔵^一南経蔵^{ニハ}

繫八家ノ影^ヲ取置八家ノ

聖教^ヲ西経蔵^{ニハ}繫東

二十二ウ

二十二オ

二十三オ

寺八祖^一置台ノ皮籠

四合並^ニ案置重宝等

親快之時^ハ私皮籠四合

具之^ニ案置之也

(一行空白)

覺雅法印云故成賢僧正

持三ノ房^一不当ノ房^ハ三宝

院サウセチ等ノ事ヲサハクル

処故^ニ尋常房^ハ遍知院

サクラウエタリ石立^{タリ}ナン

トシテ西向^キ故^ニ貴^キ房^ハ報

恩院正月^ハ長齊^ニトチ

コモリテ被行故^ニ憲深^ハ報

恩院ヲユツリエタリ輔ノ律

師^{トス}サケモノマス一期

持仏堂^ニスメル人也以此故^一

成賢報恩院ヲユツル也

一期間所執境咒若僧唯

三人作欲事唯六度也^云

二十三ウ

実深僧正^ハサメウシノ別

当成賢^{ニモ}憲深^{ニモ}弟

子也極樂房^{ヲハ}憲深讓

実深^ニ一々々申付親快

覺雅^ハ実深ノ弟子也

サメウシヲ覺雅^ニユツル

仍極樂房^{ヲモ}覺雅知行^{スル}

也但親快法印ノ前^ニ被

住^一也即与親玄僧都^云

(一行空白)

醍醐地藏院々務相承

者深賢法印次侍從

律師成深^{セイ}次親快法印

次親玄僧都

宗大事

石山^{ニモ}自本^一有伝法灌頂^一

但無歸命句^{是秘藏習也}

亦有秘密灌頂^{其秘故号秘密}

此両様ノ灌頂^ハ自本^一石山^ニ

二十四オ

二十四ウ

有之^一元海初^メ習^テ此^レ兩

樣^ヲ唯^一儀[□]許^ヲ為^レ傳^カ

對^シ寬^空僧正受之^二明^一

常^ニ以有^ル歸^命句^一二印

二明為第一重^ト一以石山^ノ

一印二明^ヲ為^レ第二重^一事^ハ

以寬空^ノ儀[□]為^レ面^ト時^ノ

事也地体^ハ不可云第一重

第二重^ト一唯^レ傳^法秘密也

只者即云初重^ニ二重也

就石山習^ニ有^二重^一故可

云初重^ニ二重^{トモ}一此^ノ上^ニ

有大事明^一常^{ニハ}号^第

三重^ト一云^レ傳^法秘密^ト一^レ時

唯^レ秘密^ノ内^ノ明也秘密^ニ

有^二重^一也

傳^法二印二明^{常云初重}次

秘密一印二明^{常云第}

次秘密一印一明也^{常云第}

二十五才

√一尋云厚双紙中大事

最後閉眼為隨^一耶

親玄仰云厚双紙中

受重病^一後定海授

元海^{ニ云}是閉眼^ノ大事^ノ

為^{タリ}隨^一親玄仰云必不爾也

親快法印^ハ建治二年五

月二十六日他我身二十三^日

□向^テ其日受厚大事^一

次日二十四日授唯授一人大事^一

厚大事^ハ遍知院時^{マデハ}

不軌^一其後人知之又

軌授之^一

座主相承大事^ハ二十三^日

以前奉受之四月比也

醍醐^ニ被住^一時奉受也

一尋云醍醐^ハ三^ノ大事下^{ルト}

云如何親玄仰云

又不爾也

二十六才

一厚双紙中大事

勝覺受義範耶

親玄云口伝ノ日記中ニ義

範ニ受タル由見タリ

付灌頂第一唯授一人第二

厚也次座主相承大

事也座主相承大事ハ

不及厚唯三宝院許

習也付此一人外不教之

サル程ニ広ク名ヲモ知ル人無之

地体ヲホヘモヲトレリ日記モ

無也ト云五自ノ明ハ不及

五台ニ覽今一ニハ都

不及也云

√座主相承大事有二一ニハ

不開指頭一ニハ開指頭

以何為本ニ親玄仰云

我等相伝ハ不開指頭也

開ハ指頭ニ不存知之ニ云

二十六ウ

一塔印誦五字明ニ無末

hun字醍醐大事云人アリ

如何法印云醍醐相承

大事中無之他流事也

一有点ノ五大ハ松橋無点ハ

三宝院事如何

法印云未存知云

私云閉眼ニ受之仍委不

被存一歟

一三宝院座主相承大事

厚大事唯授一人

大事此外猶有別

灌頂ノ大事耶

親玄法印云不爾唯此

三大事也其外無之云

一二条双紙中定賢

法務流有一印三明

大事如何親玄ノ旧

日記中ニモ如此雖然我等

二十七才

二十七ウ

二十八才

不伝之_云

唯授切統事

一真言末ノ切統等兩印

大日也_ト承如何兩部ノ

種俱五智也胎藏理

中ニ有智義_一然間俱智

種子也_ト承如何

親玄法印云此等皆同也

一末ノ觀法唯在月輪ノ光

明カクヤクノ義ノミ_一唯有

明朗処無余物ノ義也此ノ

後捨明朗念_一唯歸無

想無念_一此等如何

親玄仰云皆同也但雖_モ

無_ト承_{コト}唯_一有明朗ノ文_ヲ義_ハ

皆同也

同人仰云親快法印最

後時_ハ此等ノ大事ヲ授

畢_テサノミ不審ナセソト

二十八ウ

手ヲフフレキ_云

親玄云角_{（ツヤ）}洞院遍知

院ノ真言ノ宗旨皆歸

此趣_ニ也角_{（ツヤ）}洞院ノ口伝_ヲ

成賢日記_{スル}中ニ云真言ノ

中ニ不依三宝不依加持

直住無想_ニ一唯在理_ニ

アルヘシト見_{タリト云}

皆今ノ重極也_{ト云}

√願行上人云故意教上人

阿性上人兵部卿法印

三人之真言無相法門

皆同也故安祥寺僧

正御房仰云兵部卿

法印_ハ無智ノ人_{ト思ヘハ}

事相_ヲヨク習_{タル}ヤウ云

法門_ヲヨク云也_{ト云}

願上人云真言宗旨ハ月

輪觀也結定印_一左右ノ

二十九オ

二十九ウ

手ノヲウノ内^ヲ月輪^ト

觀也左右ノワキヨリ

ヒチウテノ内也印ノ二

頭指ニ大指ノアヒモ月

輪也^云

了一上人云故上人説ハ不爾

我身ハ心皆月輪也其

後捨心歸無相^一

禪要云初有延促後^{ニハ}

不須延促唯見明朗

更無一物^文次キ不見

身与心同虛空相亦

不見空相等^文

唯授一人印信事

親玄仰云此ノ大事ノ印信ハ

角^{マヅ}洞院書^テ与成賢

々々授道教時別^ニ不書

之^一与角洞院書写

印信別紙ニ書^テ其

三十才

意趣授之也道教

授親快^{一時モ}爾也親快

授親玄時^モ爾也唯角^{マヅ}

洞院印信也別紙ニ書

旨趣副之許也^云

(空白)

此口伝等者皆当流明

徳口伝也一事無

誤仍為後代口実

先師仙公和尚所記

録也不可及他見者也

予抄出彼草中

為当流之親決

嘉元第三其十二月二十八日記之

智照^云

(以下空白)

三十一才

三十才

三十一才

③【十三函一一二】

〔表紙〕

ken a

親玄僧正

三寶院

御口伝_二

仙芥集

〔表紙裏〕

(空白)

〔本文〕

三寶院者有三宝

故名三寶院三

宝者一義範僧都ノ

雲加持ノ五古二以金

奉鑄聖天三義範

所持仏舍利三十二粒

副_{ヘテ}金銀真珠等被

安置是_{注也}即如意宝

珠也雖不合丸

宝珠也御遺告見二様_一

○(成賢此_{ニテ}住処也)

私鑄銀聖天副之_云

此院者勝覺始_テ所

建立之被案置三

宝_一近比鑄銀聖天

被副之_一成賢私鑄

之本_ノ三宝_モ有台

皮籠中_一銀聖○(天)_モ同

在之

三寶院三宝事

正応三年九月初四日

一才

一ウ

三宝院宝物等

評之

一 雲加持五古

(二行空白)

二 仏舍利三十二粒

(二行空白)

三 金歡喜天四寸也

(短辺2・長辺6cmの長方形)

一 二ハ一 権一 実権ハ着製袈

二 二ハ二 実俱不着製袈

三 二 権俱不着製袈

已上法印口伝今

金天ハ俱着袈袈也

三宝院ノ内三宝ハ皆在

台皮籠中一今三

宝院ハヌケカラニナレル也

受法事

了一上人奉尋故意

教上人云妙鈔ニハ猶

有大事 自白表紙

可重一何以当世妙

鈔ヲハ授与人白表紙ヲハ

秘之耶

故上人云尤有此不審

神妙ニ有御尋秘白

表紙事ハ故勝賢僧

正以此等名一奉授御

室一畢御室作次第一

遺醍醐一令見勝賢

僧正御僧正申是

被奉授トモ不覺モノ

ヲトテ殊勝ナル間ヤワラ

書留置三宝院

其由不申御室故ニ

密ニ授テ之一令書写之

不輒披露故ニ本モト

秘付タル也大事ノ勝

妙鈔非秘之妙鈔ハ雖

二ウ

三オ

有大事本_ト三宝

院_{ニテ}与人_一故_ニイタウ

不秘也_{ト云}

三ウ

一 小野六条醍醐ノ受

法ノ受疏中_ニ入_一之耶

親玄法印云不入_一之

但仁海副作ノ中人

之許也相承無受之

事也

一 昔石山ノ道場觀許_ヲ

受之無別文_{一云}

一 白表紙ノ野鈔秘鈔ノ

異名事

四オ

二(朱) 步擲明王読事

步擲明王_{ホテキ}ハ八天明王同也古_ハフチ

ヤクト読_{ヨミ}ケリ此ノ明王_ハ唐笠_ヲサ

シタル也

親玄法印云_(マ)角洞院

初_メ抄_シ集_テ被進御

四オ押紙

進御室_一其時御室

此名野抄_ト御_ス其後

御室再治_シ御_ス即名

秘鈔_ト其時角洞院

被見仍返_テ書留_ム

其時少々不書之仍

角洞院_(マ)ヨリ遍知院_{マテハ}

少々欠卷_ス後_ニ遍知

院申御室_ヘ書繼也_云

四ウ

一 白表紙受法次第事

了一上人云先觀音部

次五大尊次諸文殊

次釈迦弥陀等随望

尊漸々受之大法

秘法等_ハ輒不受之

随器授之_一也

薄双紙受法次第

亦爾也普通目錄

次第_ハ自上古在之

五オ

委目錄ハ極樂房

作之薄双紙次第

等ハ少々極樂房作

別之也

問秘鈔中如法愛染

如法尊勝在之耶

了上人云不爾秘鈔

御室御作也御室ハ不

作此等御十四卷ノ如法

愛染ハ実賢作之也

宝池院僧正説也

又定海作之自昔在

之如法愛染如法尊

勝醍醐用之_云

(空白)

大元法事

親玄仰云白河院於

諸流有御尋預立鈿

輪印事也勝覺_モ不

知之由答申

範俊知之答申

又申云良雅ニ悉授

之了良雅授定

海々々授元海如此

次第_{シテ}下ル也台皮

籠中具書極多也

又云範俊ニ有御尋習

之由申上サラム未

可勤行之由被仰下

所勞之即辞申_ニ處

教此法弟子有耶_ト

有御尋良雅ニ_ニ伝_テ

之云但未与具書

等_云仰云具書等_ヲ

与之良雅_ヲ可進_{ヘキ}

其時一々_ニ与之良雅_ヲ

進仍良雅行之

定海勝覺不習由

七才

六才
六ウ

五ウ

七ウ

申上^ラ処^ニ者本定

思^テ良雅^ニ習^ハ伝^フ之

具書等未^レ伝良雅

所^レ劳付^テ大事也

ハリマ房トカヤ申

彼法師^ヲ不便^ニ思^フ処^ニ

可^レ申付^一人無^シ仍^テ此

彼法師^ニ大元ノ法ノ具

書^ヲモタセテ定海ノモトヘ

遣^ス此法師^ヲ不便^ニ

アタリ給ヘト^云仍

領状申也 定海来^テ

不審ノ処決之然間

醍醐有此法彼法師

皮籠一合持^テ来^{ラシメ}

理性院ノ賢覚法眼

伝此法由申^ス定海

責云我勝覚^ニ不習

汝習誰^ニ耶 答云

八才

述ノ入寺ト云物^ニ習^{ト云}

浄秀入寺ト^テ在

醍醐次ノ者也此人

所望^ハ大元別当^ヲ

不叶 仍後^ニ三井寺

法師ニナル也龍ノヒホ（平濁）

シト云者アリ置^テ大

元壇^ニ行之浄秀

持之其^モ在^リ三井寺^ニ云

私問若伝大元法何

賢覚院御尋之

時不申伝之由耶

彼流人会云預立

釵輪法^ト有御尋仍

不知答申也サル

法無故印^ハ在^之云

是後人会只也実^{ニハ}

不伝之又云大元阿

闍梨即别当也東

八ウ

九才

寺ノ長者ヲ懸心人ハ

不勤行大元別当^一

又非大師将来法^二_云

又云台皮籠中大元

法具書二十卷許也

問良雅自竹人皮籠

二伝之在台皮籠

中耶

仰云大元法許二十卷

在台皮籠中^二其

外良雅ノ書トテ不見

一合分在之今一合

分不見^一也イツチヘ相

伝シタリトモ不聞也

大元法相伝

宗命^{大元別当}藏有琳經

經舜公然定仙

預立釵輪印相伝

事^{自理性院宗命}
次^{第下也}

九ウ」

口伝云第七八印肝心

印也内縛^{シテ}立^二二頭

指二小指而サキヲ

三角^ニツクル調伏ノ故也

問彼方振之者振字ハ

召字^{ナルヘシ}秘^ラ作^ル

振字^ニ以二天指^一三^ト召之^一

也怨家在^{リト}此印中^一

觀之也依此印言ノ力^一

必来印中^一也真言ハ

此書ノウラニカムナ付^{タリ}

可用之^一也ソハカノ上^ニ怨

家ノ性^ト名^{トラ}加^テ此^ヲ唱^{ヘテ}

其ノ次^ニ誦ソハカヲ^一也

三度召^テ之ヤカテ

以二大指覆之^一也

第七ノ印^ヲトイテヤ

カテ左^ヲハ怨家在^{リト}

觀シナカラアヲケテモ

十ウ」

十オ」

十一オ」

ツ也右^ラ作^ル釵印^ニ前
印^ヲ引ハナチナカラ
ヤカテ左右^ニ開^テ作
此印^一也預立者立^{ツル}右^ノ
釵印^一名也釵者即
右ノ釵印也輪者左ノ印
也左ノ輪^ノ中^ニ在^{リト}怨家^一
觀^{シテ}コノマワリヲ鎮^シマ
ワス也怨家^ヲニカサヌ
義也必殺^ス此義^ニ釵
印^ノサキヲ怨家^{ニアテ}
サル也父^カヲサナキ子^ヲ
シハル心地^{ニテ}マハリテ
鎮^シメクラス也住^{シテ}大慈
大悲^一調伏彼惡心也
此法調伏^ノ法^ノ故^ニ向南^一
也仍自南始之打^ト之
云也自中指打之一誦
一打^ス八反調之八反

十一ウ

打之此後結一切印^一
皆怨家在之觀^一
云事也左ノ八幅ノ輪^ノ上^ニ
置^テ怨家^一以右釵印^一
鎮^シ之メクラス也
安祥寺僧正兼惠
ナク^ハ此印ノ事^ヲ口
伝^{シテ}云輪^モ智也釵^モ智
也此空智ノ上^ニ置^テ怨
家ノ惡心領伏^{スル}之^一義
也^{ト云}怨家^ハ為^ニ朝
家每年^ニ行^{ニハ}之指何^{レヲ}
耶答云惣指奉
為國王^ノ一怨家惡靈邪
神等^トツカ子テ指之也
為別人行時取分^テ可
誦之^{ト云}
此法^ハ唯第七八ノ印秘
印秘口伝也^云

十二オ

十二ウ

付勸請句有子細

本尊大聖_{トテ}ウメキテ

サテト_ハムル也分明_ニ不

唱_一タ_ハウメキワタイテ

本尊ノ名_ヲ秘_{スル}也五

大尊_ヲタ_ハトナウル也

雖爾得心人_ハ其_モ分

明_ニ声明_ニセスマシテ余

秘法等_ハウメキワタス

許也分明_ニ声_ニ名_ニセ

サル也

本相承_ハ經寬阿闍梨_{醍醐}

重受_ハ兼惠僧正_{安祥寺}

若宮僧正御房仰云大

元法_ハ當時_{マテ}兼惠

僧正承之行之也

(二行空白)

付定印_一在三

一仏部定印_{法界定印}

十三才

二金剛部定印<sub>外縛合
二大指端</sub>

三蓮花部定妙觀

察智定印

此三部定印ノ中_{ニハ}以蓮

花部定印_ヲ通一切_一

用之也定中_{ニハ}動_{シテ}イ

タム故_ニ風指_ヲ以空指

押之_一也兼惠口伝也

小栗寺常曉大和ノ

アキシノニテ取闍伽

水_一時ウシロニヲソロシキ

形現_{シテ}水_ニ移_ル図之モテ

渡唐ノ時習此法時即

太元明王也_云

醍醐ノ釈迦院々務

三河僧都藏有_ハ理

性院ノ宗命ノ弟子也

相承之_一承久_{ニハ}別当

也仍承勅命_一調伏

十四才

関東^一雖然身体ハ陳^シ

開^テタスカル然而^{トモ}別当^ハ

メサル[〃]也其後寛

海法印兼惠僧正

相承兼惠入滅寛

伊法印当時相承

之勤^一也

覺雅法印云定海常^ニ

ワラウテ云賢覺法眼^ハ

辻入寺^一受太元法勝

覺不受法^云仍内々

理性院^{ヲハ}三宝院^ニ不許

之也^云

問三宝院^{アル}大元法何等

本耶答覺雅法

印云此即良雅与定

海^一々々已下伝之成

賢僧正製作即良雅

本也^云白表紙中有之^云

十四ウ

授薄双紙目錄様如何

先六観音五大尊

文殊等授^テ其後

普通ノ目錄^ヲ与^ル也

其後ヨク[〃]コンハウスル

時与委目錄也^云了上人説

每聖教可伝受耶

受白表紙余亦不然耶

了一上人云昔^ハ受石山

道場観許次随機

授大法秘法^一也今ノ受法^モ

先石山道場観^ヲ受^テ次

受薄双紙此許^{ニシテハ}事

ユカサル故^ニ白表紙玄

秘鈔等^ヲ一々^ニ受也我

身石山道場観薄

双紙妙鈔白表紙玄

秘鈔等^ト受^{之一}也^云

大法秘法等事

十五ウ

十五オ

十六オ

了一上人云伴僧十六人

十八人二十人ハ名大法一

問四ヶ大法者何耶

答醍醐日記云仁王

請雨孔雀守護

五ヶ秘法者同日記云

如法愛染 如法尊勝

転法輪 大元後七日

五大虚空藏法ハ雖

不入四ヶ大法中二大

法也伴僧ハ白表紙

八人云肝要鈔八人云

付修法有三重有ラハ伴僧
云修法也

六人八人ハ小御修法也

是小法也 小法ノ中二八人ハ

カイツクロウタル義也

中法十二人 大法如前

云小法中法名目無ケレトモ

対大法三人為也

十六ウ

伴僧六人八人アルハ云修法也

秘法ニナリヌレハ八人十人

十二人也

後七日護摩兩壇在之

増益調伏 五大尊供

十二天壇 聖天壇具之

伴僧十二人也 具大阿闍

梨十二人也 雖□法義一

在兩壇コマ 仍兼大

法云秘法也

大元 兩壇コマ 調伏

息災 如法愛染

兩壇コマ 調伏 敬愛也

金輪法ハ肝要抄

伴僧六人或八人白

表紙同爾也

普賢延命法 白表紙

伴僧二十人也大法孔雀經

法肝要抄 伴僧二十人

十七オ

十七ウ

大法 六字法肝要伴

僧六口請雨經法

白表紙中伴僧二十人大法

(空白)

蘇悉地事

醍醐ノ流ニモ有之故意

教上人ノ被放印信

中多在之了一房説也

我モ賜之畢ヌ初ニハ

不被与之云不二重極ノ

灌頂也

問蘇悉地厚双紙中ニ

高野旧風無之文

覺雅云勸修寺ニハ元海

不見小野六条難之

然ルニ般若寺ノ僧正是書之

仍非不見之也此蘇悉

地ハ宗叡將來也大師

不伝之相也仍如是書

十八才

云也六条ニハ伝宗エイノ

流書之也非当流一云

宗エイハ本ト山僧也

智証ニ受灌頂依山王ノ勸

入他門一汝他門ニウツレト云

仍移東寺覺雅説也

又仁海自筆ノ六条醍醐ノ

祖師代々相伝承ス覺

雅伝之焼失ニ失之也

其中ニ元海可相承之本

不見六条耶云

定仙私云蘇悉地宗エイ

將來ヲ小野六条書者

大ナル誤也六条ニ書妙拳

士手明ヲ畢テ惠大真

源聖觀淳元仁文既

自惠果大師受之御ス云

親玄云ソ悉ノ印明ハ拳

菩薩印明也他門印明也

十九才

仍醍醐^{ニハ}不授之^云

延命院石山印信^ニ伝

法灌頂時無歸命句是

秘藏^丁寧^ノ習也石山^{ニモ}

説本有伝法灌頂^ニ様^一

常^{ニハ}以有歸命句^一二印

二明為第一重^一以一印

二明為第二重^一甚秘故亦
号秘密灌頂

此兩様ノ灌頂ハ自本石山^ニ

有之元杲初^メ習此兩

様^ヲ唯庭儀許^ヲ為伝^力

対寛空僧正受之^ニ明也

地体不可云初重第二重^一

唯伝法秘密也人申付^テ

云初重二重^ト也付石山^ノ

習有二重^一故可^シ云初重

二重^{トモ}此^ノ上^ニ有大事明^一

常^{ニハ}号^ス第三重^ト云^フ伝

法秘密^ト時^ハ唯秘密^ノ内^ノ

十九ウ

明也秘密^ニ有二重^一也

伝法二印二明<sup>常号
初重</sup>

次秘密一印二明<sup>常号
第二重</sup>

次秘密一印一明也<sup>常号
第三重</sup>

駄都次第

注花藏世界者如何

親玄云唯花藏界^ノ

儀式^ヲ觀許也口伝^{アリト}

者後人隨之正本無

之又無別口伝^一藏

与頸不斷常住^文

親玄云藏者密藏頸

者龍クヒ也不斷常住

者不二^ト云事也無別事

又下^ノ功能等^ハ或請雨或

五大虚空藏或法花

光明真言等從便宜

可配之勤行此法一切

法備之云義^ヲ顯^{サムカタメ}

二十オ

二十ウ

二十一オ

少々列之也_云

一人所望舍利真言時

成賢ハ不授之大精進ノ

真言ヲ授ケル也_{ト云}

一駄都次第_{サハ}字_ハ

付法人ニ許ス也自余モ

サリヌヘキ人ニハタマ_ハ

許也親玄仰也

三次第_{アリ}字大次第_ハ

秘藏也次略次第_{ヲハ}随分ノ

秘藏也ホロン次第_ハ

初心ノ人コンハウスルニ許也

親玄仰也

大精進印結_{ヲニ}有三ノ様

一如業障除印

二左右ノ指_ヲ合_テ二頭二空

如前

三作_テ金剛合掌ニ二頭作宝

形二空並ヘ立_ル也_{第三正説也}

二十一ウ

○(松橋舍利法)

就大師十八道次第記之

了一上人云大師ノ御作ノ十八

道ノ次第_{トテ}在之也拍掌ノ

次振鈴_{アリ}似広沢_ニ仍

以広沢十八道為本也_云

印明第一_{智吉祥印}

第二_{宝生}第三_{宝菩薩}

第四_{宝光虚空蔵}第五

大精進_{如意宝珠印也}

奥沙子_シ(平濁)平_{ビヤウ}(平濁)_{了一上人云極楽房意教上人}

定済如是ヨムト_云

聖天花水供事

但除浴油余行法一々

可修之也如常供養

法了一上人説也

(二行空白)

√曼荼羅供時

両部共_ニ何_{ヲモ}行之時先

二十二ウ

大日ノ種子三形ヲ觀ス

兩部ノ中ニ何ニテモ

體ニ隨ヘシ

次ニ此三形ヲ今ノ仏菩薩ノ出羯

磨形也 是秘藏樣也

曼荼羅供ニ用別本

尊時ノ事也

(一 行空白)

勤行諸尊法有二樣

一 先觀大日々々心月輪ニ觀

卍字一々々反シテ 觀成ト宝

珠一々々出當尊也 諸

尊ヲ如折紙教ルハ 為他人也

大阿闍梨自ラ行ニハ 如此一

行也 出ル當尊々々許カハル

也 種子三形ハ皆同也

是ハ次ノ樣也

一 不觀大日一 直ニ以卍字為

種子以宝珠一 為三形一出

二十三才

當尊々々ニ 一是甚秘

樣也 故上人以之為甚

秘為內証ニ 二階堂上

人ニハ 故意教上人以第一

義授之第二義秘藏シテ

不授仍當時モ 無存

知也云

八千枚事

六日ハ 齋食第七日ハ 斷食

故意教上人十二時ニ タキ

ハテヨト云 寅時ニ タキ

初テ 卯時ニ ハテヨト云

了一上人說也 或ハ 其定ニ

タイタリキ但後ニ ヤミ

タリキト云

打從テ 人ノ タクニハ 不爾也

卯ニ 始テ ヒルタキハツル也

イソカスシテ 静ニ タクカ骨ヲ

ヲラサル也 作法ハ 以白表紙一

二十四才 了

為本也_云

二十四ウ

三春ノ初ノ甲子ノ日ニアウチノ

木ノ枝ヲ切テヨク也百八

枝ニ一ツハ入之也八十_{タニモ有レハ}

足ル也百ニ具一枝也皆

雖可為アウチ大事

故其一枝也

道場ニハ本尊許也必_{シモ}

八祖十二天ヲカケス人ノ意

樂ニ為証明一懸之亦得_{タリ}

炉ハ息災ノ口ヲ広クスル也

壇ニ火ヲコホサンタメ也ハシノ

一重ヲ広クスル也概_ヲトリノ

ケテ鳥居ヲ四方ニ立テ_テ引

五色_ヲ一也壇ノ上ノ仏供

等ヲ本尊ノ御前ニトリ置

也壇ニナニヲモ不置_一也

助修ハ四人也二人ハハシニテ

乳木ヲトリクフル也二人ハ

カナスキニテ火ヲカイテ

入水也_云其外ハナ□

人モ助修スル不告八千

枚タク時尅事護摩ノ

結願_{タル}故ニ大旨アシタ也

又タニスル様モアル也

八千枚事

六日ハ齊食第七日ハ斷

食故意教上人十二時ニ

タキハテヨト_云寅時ニタキ

初_テ卯時ニハテヨト_云

了公説也或ハ其定ニ

タイタリキ但打從_テ人ノ

タクニハ不爾卯ニ始_テヒル

タキハツル也イソカスシテ

静ニタクカ骨ヲヲラサル

也作法ハ以白表紙_一為

本_一也_云願上人云

甲枝儀軌ニ不用仍我

二十五ウ

二十五ウ

不用ト^云

了一上人云儀軌本經^三

無事多也先德自

古用之定有本授歟^云

問薄双紙目錄誰人造

之耶答普通目

録ハ自古有之委目錄ハ

極樂房作之其時尊

法少々造嗣之^云

√奥沙子平法事

了一上人云醍醐三宝院

習云奥沙者河沙也^{カシヤ}

不動梵語也子者弟

子門徒義也平者平

安義也行不動法^一龍

智弟子門徒平安也^ト

云義也

勤行樣如何了一上人

云種子^ニ字三形宝

二十六ウ

珠次^ニ出尊形^一時出

不動^一也奥沙子平法

如何^ト問^ハ先答不動法^ト

也不動法^ト通息災調

伏^ニ然^ラ入宝部^ニ調伏^ニ

行也不動真言^ノ末^ハニ

剩宝部^ノ句^一許也地体

不動^ノ真言^ハ調伏^ノ真言

也加宝部^ノ句^一故成宝義^一

也又宝部^{ナラハ}付軍荼

利可行雖爾^一不動五

大尊^ノ惣体故也^云

又十四根本^ノ印^ノサキニ

皆觀宝珠也

先^ハ答^テ不動法^ト委^ハ

教^ル時種子^ニ字三

形宝珠^{トハ}答^ル也

付之以不動次第^一可行耶

了一上人云先^ハ如是可教^一

二十七オ

二十七ウ

実ニハ以駄都次第^一々ニ

委細^ニ行也^一モカ^ニス行^一

之^一也但出^ル尊形^一觀^ヲ

觀^シ副^ル也仍次第^ハ

一向駄都次第^ハ出尊

形^一ハカリ也微細口伝也

真言ノ加句^ト十四根本ノ

印ノサキ^ニ觀宝珠同

也^云

尋云以不動法行^セ入^ヘシ

金剛部^一入宝部^ニ意

如何

(空白)

重書作之時定海

為存日為没後事

案光宝所持厚双

紙ノ奥^ニ云已上秘書等

授元海了後日印

之定海^上已如此奥

二十八才

書^一者定海存日似印

可元海所作厚双紙^一

若^シ爾此書ノ鎮壇之

処云故大僧正云[□]^云

大僧正者定海也白表

紙同以此言在之定海

之條勿論也既云故大僧正

入滅之後作之何可印

可此書耶

答定海存日^ニ義範

範俊勝覺嚴覺

寛信等ノ自抄二百

余卷授元海^ニ了所

授之惣日記定海記

之与元海^ニ了後日

印之者是也今元海

厚双紙^ニ所載多クハ彼

書等也此條勝^賢兼

高野参籠之時ノ日

二十九才

二十八ウ

二十九ウ

記^ニ見^{タリ}爰^ニ元海記^テ

彼定海印可言^一清

書ノ本^ニ載之^一是也^{今光玉ノ本}

草案ノ本^{ニハ}不載之

松橋本然間定海非^ス

見^{ルニ}厚双紙^ヲ但存

日印可之書等書加

此双紙ノ中^ニ故有印

可之言^一副作入滅之後

故云故大僧正^一也^云

親玄僧正見此義可

然之由被仰之間記

之

永仁五年九月二十二日記之

定仙

勝賢高野參籠日記云

凡勝覺定海又嚴覺

寛信等自抄等都

皮子三合所納二百余

卷自□所取持也^上

(一行空白)

醍醐雜抄^{異名ヒケ双紙}

問誰人制作耶答覺雅

法印云弁入道生西对

一海律師^ニ受法^ス其分^ヲ

記之^一無灌頂等大事^一

又無大法秘法ノ口伝^一

通途ノ事也故成賢

僧正取寄^{セテ}大要事^{ニハ}

指計算^ヲ令道教

僧都^一令抄出^一二條

也此二条中^ニ記事

其中肝要也不過之^云

弁入道生西者通憲

入道ノ次男貞憲

右中弁解脱上人父也^{サタノリ}

覺雅云成賢僧正松

橋へ不返醍醐ノ唐東

三十才

三十一才

三十ウ

房ニヒケ双紙^ヲヲカレ

三十一ウ

タリ當時在彼房^ニ

覺雅ノモトニハカキウツ

セル本在之

(二行空白)

台皮子作者事

○(問誰人所設^{モウケ}持耶)

○(答了一上人也)

勝覺皮籠^ニ合^ヲ居^{ヘテ}

台モチアルキ給ヒキ

其時初出来也

覺雅法印云中書本

与清書本^ニ合在之

勝賢^{マデハ}並^{ヘテ}伝之

勝賢以中書ノ本^ニ讓

実繼法印^一実繼ノ聖

教^ハ憲深僧正伝之^一

憲深聖教与実深

僧正^一実深聖教覺

雅伝之然間其ノ中

書ノ^ニ合^ハ在覺雅^力許^ニ

勝賢僧正以清書本^一

讓成賢僧正^一〃〃〃〃

与道教^一〃〃讓親

快法印^ニ親快讓親

快^{マデ}僧都^一仍正本^ハ在

親玄僧都^ニ也

問範俊僧正皮籠^ニ合

与良雅其皮籠与

定海^云爾耶

覺雅云不爾誰^ニ讓^{ルト}云

事無其間^一終失^{セタル}

歟定海^{ニハ}但授大元ノ

法許也其外法不授之^一

尋云灌頂大事授之耶

覺雅云不授之但

大元法許也^云

(空白)

三十二ウ

三十二オ

三十三オ

一交了

三十三ウ

④【十三函一一二三】

〔表紙〕

四卷内

後七日雜日記

付勸修寺日記

抄之

仙芥集

〔表紙裏〕

（空白）

〔本文〕

後七日私記付勸修寺日記抄之

藥種ワシヤウコン黃精根

√蘇蜜為入油器也

√淨衣十五領白色 大阿闍梨一人

伴僧十三人 大行事一人

已上十五人

從納殿ヲサメ下之一從後コ（平濁）院

納メ殿下ロス之一也院ハ國王

後見也故云後院ト也

詮ハ從院ノ納殿下之一也

√所口請一雜香可訓支度内也

息災護摩

白膠香ビツケウ從白檀香一シ

ロシ木也

增益護摩

菉豆ロクツノマメ也

蘇合カク末合藥一蘇合也

小角カク豆裏付云有人云アツキサイノ角也可尋

√右奉為

金輪聖王等闕行スル也

ヲソルハ由也此ラ云平出ヒヤウシユツ（入濁）ト

也三字許ヘタツルヲハ云

一才

闕字ト也

√行^{セム}遲^{侍也} 醍醐ハ執行等スル也

侍ノ中ノム子トノ物也

√宗仁^{ハテト}天トハノ院ノ御名也

送^{コレヒヤウ}之^ラ平^{ヒヤウ} (入) 救^{キウ} (去) 阿闍梨ノ許^{モト}ヘ消^一

息ノ返事、可訓

其時ノ文(平濁)者モノカキ也

√請^{クル}仰^ヲ一^一事、可訓

仰^{ヲル}案内^{スル}一^一事、返々貴申

給^ヒ侍^{ヘリ}可訓

√舍利守^{モリ}一人入伴僧内^一

合十三人也入室ノ弟子

也自^リノ童^入 (入) 体^{タイ}一^一弟子也

我カ許^{ニシテ}出家スル人也

√定額^{キヤク} (入濁) 僧可読入寺僧也

二十人^{アリ} 淨行人也聖

道也房円僧正、上ノ醍醐ノ

釈迦院ノ法印等是也尋

常ノ人モナル也但請定額

一ウ

僧一^一事ハ古ヘノ事也当時ハ

大阿闍梨ノ弟子等也

√伝^ハ付^{クト}之^一 可訓 歟 但無^シ其ノ

謂^{ハレ}一^一 伝字封ノ字歟 封

付^ク之^一 可^キ如^是一^一 歟 地体チヨク

封^{アリ} 其上^ニ 阿闍梨ノ封^ヲ

付也

√皆大日為本尊^一 本^ト道場^ニ

之付^テ 兩界ノ曼陀羅在之^一

仍大日^ヲ 為本尊^一 私云勸修

寺良勝流直^ニ 行兩部

大日^一 也 阿性房說也

√加持香水

醍醐ノ僧都ノ御殿^{コテン}、四条ノ宮、

西^シノ對^{タイ}可読 宮者大宮歟

√灑^ク上^{カン}達^{タチ} (去濁) 部ノ座ノ方^ニ 公卿名也

√早参^{シテ} 整^ウ事^ヲ 可訓

注如^キ 量^ミ 少々運^{コフ}云

√次^ニ 廻^{ラシ}文^ミ 可^シ読^ム一^一

二ウ

√注着平袈裟^一七条^ヲ

キヌニテ白^クヌウ也ヲ[〃]

左ノ手ニカクル也

勸請句

大聖不動等雖然^一本

尊別也

√注同^{シテ}声^一念誦^{ス可訓}

声ヲ出^{シテ}スルヲ云也 同音ニ

スルニハ非也

√同^ク御衣^{キヨイ}、發願、加持、^{可読^一}

√各出宿所^一暫^ク一寢^{ス可読}

次十二三日之間○^{歟^一但一度許}

何レノ日ニテモ 唯一日参^{シテ} 御齋

会ニ 勤咒願^一也 非^{トモ}顯

密兼学ノ人 勤咒願

許^{リテ} 一也 不^ル出仕^セ 一日ハ余

人勤之^一

√又凡僧別当、^{ワケ} 壇飯一度、

被^ル奉^一 送^リ之^ヲ 常^ノ例、^{可訓}

三才

凡僧別当者東寺ニ在^ニ之^一

一ノ長者ノナスモノ也我

弟子内在之^一 東寺ノツカ

サ也 長者ノ代官^{ニテ} 寺中^ヲ

ヲコナウ也 非^ス持^{ツニ}妻^ヲ

淨行人也 長者ノ弟子共也

√但長者、同^ク香水ニ捧^ク牛

王杖^ヲ 乍^ラ立^一 等^{可訓}

√得大靈驗^{リヤウケン^{可読}}

√並五大願加持^ハ 不動咒也^{可読^一}

√一捧^{ヒトサツケ^{可訓}} 一挿^{サハサム} 番僧吏

名一枚^{一可訓}

√所司中綱トテ寺ノサハクリ

スルモノ也

√有^リ例錄^{レイロク^一 例給ハル録也}

√始自八日ノ後夜^一 十四日ノ初夜^ニ

結願、醍醐ハ自初夜^一 始之^一

√珍兼君^{チンケンキミ} 君^ト者無官^{ヲハ}

カヤウニ書也 昔様也

四才

√大行事ハ侍也威儀師^{綱所也}

大行事即威儀師也綱所ハ

威儀師、惣在庁也一向

僧中ノ官途^{ラツカサトル}主從儀

師ハ出門也如ク綱所一物^ヲ

トル也但得分チトサカル也

ナチトサカル禄モチトサカル

也此ノ二人ハ出仕ノ時ハ法

服也アカイケサ也カウノケ

サニシテヘリクロシ横被カケ

タリ律師ノ下、已講ノ上^ニ

付也時ノ法務^ニ從也^{シタカウ}

綱所ツカウモノ二人アリ

カエトリ
鑰取男也綱匠^{カウシヤツハ}

下法師也鑰取^{カキトリ}カヘトリトヨム也

綱匠ハ出仕ノ時ハ法服ニヌノハ

カマニハキタカニクハリヲア

クル也アカイ五条ノ袈

裟^{カヘトリ}着也鑰取ハトモ

四ウ

シリニアリ綱匠ハ前^ニ立テ

サキヲヲウ也

東寺ノ一長者天台座

主興福寺別當、此三人ハ

サキヲオワス興福寺ノ綱

匠^ヲハ中綱^ト云也余処^ニハ云

綱匠^ト一也

三綱ハ三人正也又権ノ三

綱三人アリ已上六人也

醍醐^ニハ権々ノ三綱^ヲヲカレ

タリ已上九人也

正三綱^ハ知行^{スル}本領^ヲ一也

又雜掌^ヲスル也権^ト権々^ハ

有^レハ殘置^一雜掌^ヲモスル也

依^テ便宜^{々々}一有得分^一云

已上了一上人ノ説也

(一行空白)

大政僧正御房仰云惣在

庁ハ在^リ仁和寺^ニ一 台門ハ在^リ

五ウ

白河^ニ天台座主興福寺

別当^ハ講匠^ヲマ子テ其

寺ノ公人^ニ講匠ノシヤウソ

クヲセサセテアカケサト名^テ

前^ニ立也又講匠^ハ時ノ法

務^ニシタカウ也

問カヘチャウ申御物^ハイ

カヤウナル物ニテ御ソヤ

仰云公家^ニ召仕モノ也カヘ

トリハ僧家ノ物也

√綱所ノ名事

或^ハ竹林房ノ從儀師等^ト云也

多^ハ房号ヲ付也或^ハ兵部ノ

從儀師^ト云モアリ威儀師^モ

爾也十二ノ威儀師、カノ威

儀師^ト云也已下^ハ付日記^一

注之^一

伴僧十四人内、大行事^ハ不

出仕^ニトリサハクル仁也地

体^ハ侍^モ淨行ナレハ出仕

スル也

√八日^ノ午^コ（上濁）^上（平濁）^ニ午ノ始也

√所^シ司^ハ中間也職掌^中

間也ヲトコ也已上侍^ニサカル也

√事饗膳ニケ度、事字

損也^{チウ}昼字也対スル上ノ後夜^ニ也

毎日懸盤^{カレバン}足四^シ付テ高^キ也

如^シ文机^{ツクエノ}

√粥漬^{カユツケ}無^ラ酒^一雜飯^一カユ

ツケト云也

√高杯^{カウハイ}

√諸国ノ加供物等、從諸方^一送

之^一也、後七日ハタノシキ

御修法也自諸方^一為祈^一

人供之^一也^云

√結縁灌頂^モ各年也弓場殿^{ユハトノ}

√令所給^{字不審也}依^テ重^{キニ}也

可訓^{五古重^モ也}令^メ玉^ヲ取給^{ハラタマ}

六ウ

六オ

七オ

可訓敷　タマハラシメ給フ義也

此^モ無其謂^一取字持字ナル

ヘシ又取下蔵持字^一歟

√床子本^{トハコシヤウ}踞床^ト云也

内裏^{タイリ}ニテハ綱所^ニ踞床^ニ着

座有ト申也綱所^{ニハ}威儀

師、從儀師ノ^二アリ

√但又然^モ加持^二兩器^一然字

可^シ惣字^一然ハ少^キ難得意^一

一度^ニ加持^二兩器^一事也^{各別也}

隨氣色^一耳者隨^フ時ノ氣

色^ニ也

√而後於袖^一袖下也

√小^{キウナタル}低

√後夜香水加持^{シテ}了上人云

常無之^一不得意^一然^モ点^ヲ

アウ有子細^一注^ニ云於衣^一作

之^一文衣下也

√奉灑御等^一御字下可

省前字^一

√蹲踞坐^{シテ}灑之^一

√湯加持常ノ御湯加持也

御湯之時^ハ御湯加持^{トテ}長者、

若^ハ御持僧ノセラル^ル也又湯

加持^ハ私^{ニモ}作之^一人望時^モ

可如此^一加持^一也了上人説也

√大壇ノ本尊^ヲ行也^{宝生尊也}

√但行法金剛界供養法云

了上人云別行次第也每

度如是^一不用胎界^云

醍醐^{ニハ}晦日唯一日行之^一

必非三日^云存知^ハ次^キ

月ノ一日也前立修之^一

√每日上堂者了上人云入

道場^{一時也}云

√図無別子細^一但私^ニ別紙

記之^一仍略之^一

√金剛界ノ年ハ不動^ヲ為^{シテ}西ノ

七ウ

八才

八ウ

始_ト「降軍大金也」_云

如是_{一可訓}「後」_一「図」ウラニ

在此_一「以其_一為_{シテ}本_ト」如是訓也

√恵丹得業、南都ノユイ

マノ主義_ヲトケヌレハニ云得業_{ト一云}

√真言院図_{別紙記之}

晦御念誦

大阿闍梨_{長者}伴僧二人_{定額}

古_ハノ事也當時_ハ無其義_一

√二千丹乳_{不得意物也}

√震多摩尼中ノ印言

_{中呪也}同印用之_一

√本法_ハ一日料也、正_ハ一日可勤_{一也}

√正念中印言_{中呪同印也}

√七三十八記_文此文名未_タ存知_セ_{一云}

仁_シ(平濁)寿_{シク}(平濁)殿_{侍從殿事用此字}

仁寿殿_{ヲモ}侍從殿_トヨム也

同処也

√香隆寺僧正者寬空也

二代御記者広沢文也

√例律師寬靜_{一其之文}

例字可仰字_一

√而触穢_スケカレタル也

√令供奉_セ「令字可内字_一」

√以円照内供奉_{一仍テ作ス之}

内供奉_ニ今修義也

√聖觀音_ヲ為本尊_{一醍醐ニ}

延喜ノ二間ノ御本尊御_ス如

意輪也八角ノツシニ入_{リ御ス}

七八寸許也梵天帝釈_ハ

六七寸許也四天御_ス同

七寸許也延喜御本尊_ハ

下ノ醍醐ノ三昧堂_ニ御_ス也

三昧堂者為延喜ノ御孝

養_{一造ル之}御タフ(平濁)サヲ、

ヲキマイラセタリ御骨_ハミ

九才

九ウ

十才

サ^ニキニ御ス也帝王ハ無火

葬^一 仍如^{シテ}生^キ御時ノ^一ミサ^ニ

キニ奉置^一也此三昧堂^ニハ

無御骨^一也奉^ル安置二間ノ

観音^一也然^{ルニ}一定律師、

奉^テ移^シ上ノ醍醐ノ念学院^ニ

ヲキマイラセラル夫親^{ヲマノリ}

奉^{タリ}キニ^ミ観^一即如意輪観音也^云

(空白)

大政僧正御房仰云下

醍醐三昧堂^ト云堂^{アリ}

其堂^ニ延喜ノ二間ノ観音御ス

也聖観音^ト承^ル也聖主ノ

拜堂ノ時拜見^ス之^一物ノ中^ニ

記^{シテ}ヲイシトヲホユ見

出タラン時可^ト告^云

問醍醐ハ何ノ王ノ建立耶

仰云延喜朱雀村上

三代ノ御願^ト申也

醍醐ノ塔^ハ延喜天皇

クミ御^ス五重ノ塔也未

供養^{ニシテ}御崩御也朱雀

天皇供養^シ之^一御^ス

問醍醐^ニ塔東房^ト申

房有^{リト}承^ル以何^一名

塔東^一耶仰云五重ノ塔ノ

東^ニアタリテアリ然間

異名^ニ塔東房^ト申

付^{タリ}任賢ノ兄弟^ニ教

賢^ト云物有^{リキ}其^カ造

レル房也已上物語也

√迎請印者召請ノ印也

√移真言院^一当時^ハサト

内裏也^云

√聖^{十一面梵}観音^{如意觀}三体也

√彼ノ四本^{ナルカ}故^ニ宝珠ノ四本也

√有守護ワシタマフ也此^{コトハ}言

不得意^云

十一ウ

十一オ

十ウ

十二オ

√杉^{スギ} 或ハ相^{カク}コノ字^ジ スキトヨム

相本^{カクニ}ハ用此字也

√有^ユハ一山^一 歟宝珠^ニ以山^一

為目^一故法印御房仰云

ヘン一トヨム了上人云サ申

也然而^{トモ}常^ニ字^一トヨム也

√ヤマト国、ク(平濁)ニトニコル也

√成就明 han 字也心上^ニ書

七反者目 han 字也次^ニ段^ニ

ミユル也

√二手印也又手字種字也

√右仰左覆金剛拳菩薩印

也

√含^{カン}(去)句^ケ(平)者カンクソハカト

可誦也

正応五年三月二十二日記之了

定仙^{御判}

裏書ノ抄物

可^シ奉供^シ一者^テヘレハ可訓^ト仰^ト

イウ義也

平六角ノ御堂頂ヒラニ

シテコヲモル義モナシ一向

平也ヨコサマ二尺五六寸

許也六角也カナモノヒ

シトアル也□代ノ御本

尊也延喜^ハ以此^ノ本尊^一

為本^一ウツサレタリ何^レノ

御代ノ御本尊^ト云事

無^シ真実^ニハ伊勢大神宮ノ

御本地也

√依○宣^ニ一可訓^一宣者王ノ

仰^ト云事也

朱付勘収也収字出字

ナルヘシ

末^ハ裏書

蛇法^{シヤ}、辟^{ヒヤク}ノ字、落歟

注 trāh 宝文是種^ハ trāh

三^ハ宝^ト云事也

√理樣理性院樣歟

十三ウ

√支配段

本地ノ支配恒例也国

王ノ御本地也加供トテ諸

郷ノ志ニテ為我祈送ル也

√大阿闍梨ノ御地料文時料也

衛士、後七日ニハ云衛士ト也

内裏ノ火タキ也ハナツミ

等ニ召仕也当ル駈ラ仕ニ也

√六衛士花文花下字落

タリ六人内花ツミアリ

地体ハ八人也左右ノ衛士

具シテ八人也左右ノエシハイ

タウメシツカハレヌ也六衛

士ハ委細ニメシツカハル也

花下ニ可有料字一歟

花ヲ出ス物也

√物請者モノウケトル者歟

√二種ノ粥料者カユツケノ

料也当時ハシトケナキ也

十四才

(一行加筆) 無正体「下行非法也

√注供所シテモノイトナム処也

当ル施所ニ也

√開白等文○如上「也文下行ハ

非如上「支配ハ随分々「如上「

云是ハ加供ノ事也為自

祈「メヘ供也下文被加

供「スカタ也餅百八十五

枚文是ハ何ノ料ト不覺悟「

云了「一上人也

(一行空白)

√司人有永国時「大蔵

省ハ五枚宣旨下ル也

√大蔵省ニ五枚大膳職ニ

二枚、

√造酒司ニ二枚サケノカミ也

√大炊寮ニ一枚

√掃部寮「木工寮一枚

√大蔵下屯ヒトアツメノ義也

十五才

十五ウ

√調布^{テウフ}シロウスルヌノ也

√商布^{シヤウ}アカヌノ也ユカタヒラ

ヌノ也

√大綿布^{コン}二斤不知^一了上人

√練系^{ネリ}一細一兩

昨布^{サク}不知^云

√大一^キ斤^{ハカリ}大ナルハカリ歟

√百兩一分不知

√百兩一分不知

√兩子殊許不知

√藁^{ワラ}十九為^一為者マロカ

シノ義也

√大藏系^{クダス}二十勺二十勺不知

√緑絹^{ミドリ}四丈√細布^ハホソシ

√調布^ハ白シ

√大藏^ハ省^ハ五役ノ宣旨^{クタル}下

自余モ爾也

√大藏下者大藏^ハ下ノ料物

也依宣旨^ニ下^{クダ}ス也

十六オ

大藏省所領^{ヨレリ}余^モ

皆所領アリモノ省ツカ

サトル人^ト云大藏卿^ト也

此^ノツカサトル人此領^ラ知行

スル也大藏下等^ト云事

五ッアリ宣旨^ハ五役ノユフ也

√西寺東寺ノ宣旨^ハ可

請取^一宣旨歟

√帟布^{コフ}不知

√商布^ハヨイヌノヤウナリ

下^タタス宮中宮内ツ^ニアタル也

√塩^{シラ}醬^{ヒシラ}肆斗

フタ^ハヒアリ

√海藻^{サウクワツ}滑^ハコフ(平濁)也

√海藻^{サウ}ハメ也

√胡麻子^ハコマ也√茄子^{カシ}不知^一

√明櫃^{ヒツ}不知^一折櫃^{オリウツ}

√陶坑^{タウフン}大ナルカワラケ也

√陶^{タウキ}為五十口不知

十七オ

十六ウ

√^{ホシ}瓮ホンナへ也

√瓶足召二不知

√明^一十口不知

√汁精シルノミ也

√木^ム工中殿中殿^ト云所アリ

√大角豆サ^一ケ也

(一行空白)

√交名中<sup>交名ハ卷物皆記
之數卷アル也</sup>

神舍利守主師神字不知^云

√羯磨一口可四口^一不審也

√金銅壺四口為何一耶、

可尋了上人無存知^一

√在^リ箱クタリヨミ也

√金銅塔^ハ入^レ舍利^一為

安壇上^二也

仏舍利一壺<sup>在錦
袋</sup>甲乙^ノ

ツホハワタラス塔^ニトリ

分^テ入^レ之^一安壇上^二也

為^ニ入^ルカ^一塔^一ツホニ取分^テ

十七ウ

置^ク也ツホ大^サ二寸許
也錦袋^ニ入^ル也

(空白)

十八ウ

十八才

正応五年三月二十六日畢了
以了上人口伝^一記之^一定済
僧正參後七日^一事三
ケ度^{ナカラ}乍^一三度^一伴僧也
仍委存子細^一御^ス然間
以彼口伝^一記之^一也^云
一度^ハ聖天供勤^之
一度^ハ息災護摩勤^ト之^一^云
(以下空白)

定仙^{滿六十}

十九才

⑤【十三函一——一四】

〔表紙〕

一校了

四卷内

兩日記注文

醍醐

後七日

並師伝

仙芥集

〔表紙裏〕

(空白)

〔本文〕

後七日^{醍醐}付此日記^一注之^一也

此日記^ハ寛空僧正、

对般若寺観賢僧

正^一習^フ日記也

<sup>但初一段許也
末二段興然</sup>

<sup>伝真乗
房也</sup>

√般若寺ノ僧都ノ御共^ニ

醍醐山^ニ参上^ニ寛空

僧正観賢僧正ノ御共^ニ

参也

√奉^ル置^キ始^メ之^一後七日

法事也

√三^三形也^三宝合

室生山、御舍利宝生ノ

三形也

√^{キヤラマ}ga rha gu ca^{クシヤ}ノ歲^{胎年也}

√外薄薄^ハ縛字也

√注若虚空藏、宝光

虚空藏也

√諸尊^ハ兩界ノ^{ナリ}ma ta ra

金界ノ諸尊段^{ニハ}用

胎藏マンタラヲ^一胎藏ノ

諸尊^{ニハ}用金界ノマンタ

ラヲ^一也

√釈解法ノ僧二七人^ハ沙

弥二七人^一^{此マテハ御齊会}

也陳那已下^ハ後七日ノ

法也

√勅^ス依請^一修^ス之^一永^ク為

一才

一ウ

恒例^一

√金剛寂之異名ナリ宝

菩薩ノ異名也

√仏舍利ノ内ニ trāḥ 字ヲ觀シテ

等文 唯仏舍利ヲ trāḥ

字ト觀スルヲ云也

√宝幢仏 阿闍也

√皆宝形ニ可觀之^一三

形事也

正応五年四月五日

記之了 定仙

後七日 師伝付此書^一記之^一

仁濟記也

√注令メ居スヘ直^サ鈴前給ヒ了ヌ

前字誤也 可シ後字ナル

了上人云舍利守、礼般^ニ

ヒサヲツイテ開^テ塔ノ戸^ヲ

取ル舍利^ヲ様ニヲク也

√十二天

二才^一

一間ニ尊ツク也

√注左右手等^文十二天中ニ

難ヲ知^一注也

√四面普通ノ十二天無之^一

東寺ノ十二天ニ有歟

了上人云ソレマテハヲホヘサル

也^{ト云々}

後一面ハ頭上ノ小面^文頂ノ上ニ

チキサキカヲノ有

地天左手持金也鉢^文

私云金ヲ入鉢^一由也

右手胸月ニ如鉢ノ印^ヲ作^レルカ^一文

私云半印也

√藏人一人相具^{シテ}参文私云

御衣ニ相具^{シテ}参スル也

√八足ノ上^ニ居之^一八足ノ机ニ

置也

√注小台難也^文其ノ時ノ事也

寛信勤行ノ時ノ事也非

三才^一

三才^一

長時ノ事^{ニハ}一也

√乍台^ニ立柱ノ下^ニ了、御衣^ヲ

置^テ台^ニイタサル^ハ也

√饗心^{マテ}応^ヲヨウトヨム也

饗^ヲカフ也タカツキ^ニ居^テ

タフ也酒^モアル也ヘイシヲ

トリ出ス也√還^リ了^ヌ可訓

√置^ク四足ノ上^ニ一足四アルタカ

イツクエ也

√以^之一可用意^一歟^文准胎

藏^ニ一可用意^一也

√阿闍梨上壇ノ間^ハ可如胎

藏時^ニ也^文壇^ニマイル間^ト

云事也石^ヲフミニテノホル也

√置居箱^一文三衣箱^ヲ置^テ

居箱^一最初^ニ立也其^ノ次

大阿闍梨参^ス

√注不誦後夜偈^一是先

徳伝也^文了上人云難

四才

得意一定済ハ誦之^一也^{云々}

√注可見御作文^一也^文御

作中^ニ有歟尋可見^一

√不動、以吉祥天^一為眷属^一

故^文不動^ハ地神也^一以吉

祥天^一習地神^一習地天^ト

事有歟可尋

√各闍梨從^{ヘテ}可勤仕之^一也^文

從ノ上^ニ可有随字^一云々

√立出^テ壇上^ニ壇上者非

仏前ノ壇^一省^ル内陣ノ板

敷^ハ云也從伴僧聖^一入

内陣^ヘ一也

√注源喜人名也

√長押^{ナゲシ}承仕奉安置之^一文

ナケシニサシアケテヲク也

当時^ハ東寺^ヘヲクル也

√又打鳴^{ニハ}用磬^一也^文

了上人云當時^ハウチナラ

四ウ

五才

シヲ大阿闍梨ノ役ニテ随

順之^{云々}也

√手替ハ初夜^{ニモ}不発願^一

手替ノ時ハ不発願^一但

誦^{シテ}呪許^ヲ加持^{スル}也

√可令釵法印^一給^一故

位ノアカルヲハ云釵^ト也宮^{ヲハ}

住^ト云也

√モヤミスト者モヤニミス

ヲカケタリ

√当講者講師也^{カウ}

√番問者^{ツカイ}ヨフ問者^ト答

者^{トラ}ヨミ^{ツカイ}アク^一番也

又次ノ問答ノ初^ニ如前^一ヨミ

アク如前^一每番^{ツカイ}ヨミ^一ア

クル也

√大打着^{ウチキ}者勅録也^{ロク}

√付属者ケンタ国シノケサ

也当時^ハ袈裟^{ヲハ}入箱^一持

也長者ノ初許^ニ着^一之也

正応五年四月五日記之了

定仙

(空白)

長者作法

東寺長者人乍水去^{付醒蘭注}

注云大師准漢土風被始

置之^一文了上人云東寺^ハ

青瀧寺^ヲウツサル以青瀧^ヲ

寺図^一造之^{云々}

√遷代ノ尅^文カワル義也壇^{十二面也}

宮僧正者覺源也

√a bu di bu di^{ホテ}覺也

a 覺者誰耶不得意^一

a ca ri フカキタカウル

歟夫^モ誰^レ a ca ri^ト

云事^ヲ不知^一地体難^キ

存知^一言也

√大月^{ニハ}二十八日^{云々}古^ヘノ義也

五ウ

六オ

六ウ

當時ハ晦^リノ日唯一日勤^ム之^一

√注云加へ誦^{スル}真言如^シ真言

院ノ説^ニ如^ト後七日ノ散念

誦^ニ云事也

√違乱可檢之^一文其年ノ失^{シテ}也

√八日欠日也欠日者力

ウ曰ト云事也

√法務ノ例、定賢法務也

√依^テ上臆^{タルニ}一歟時ノ上ラウ也

起次第ハ先護摩師、

次^ニ五大尊供、

次^ニ十二天供、次聖天

供、サキハハテネトモ立^ツ

也次第^{シテ}カヤウニ立也

護摩師、返^テ着^ク本座^ニ一

時、大阿闍梨、打^テ一字

金^ヲ一始後供養^ヲ一也

√na na 糸〇真言也一向不

存知^ト云^{一々}

七才

√臥^フシ^ヲカ^カミ^ミタ^タテ^テマ^マツ^ツル^ル〇
pha ha ri 也^{ナリ}

√普世天壇世天壇名

也普^ク供^ス諸天^ヲ一故^ニ云

普^ト也

√三^ト拜^{スル}他^{カレ}一也

√日没ノ後也、者初夜ノ時也

√伴僧ノ後^ロノ南ノ壁^ヘニ立^之一^文

當時ハ不爾^一也机^ニヨセカク

√事ノ由^ト者事ノ由^ヲ申^{スト}云事也

√後^ロハ切^リ懸^{カケ}也切懸者

クレヲヘキテナワニテカキ

ツケタリキリハリヲタツ

ル也其^ニカキツク

√切懸^ケヲ立^{ツル}也後許^ヲハ切

懸^ヲ立^{ツル}也其外ハ無^之一

ミチノ為^メ也ホソマリトモ也

√寄西^一敷^之一々々者マウ

ケタル義也

八才

八ウ

√○又手水桶等有之^一文ヒサ
シノ内也

√元^{モト}行壇也^文勤行^{スル}事也

√御入堂^ニ会隨身^一給也^文

御舍利^ヲフクロ^ニ入^テ

入^テ三衣箱^ニ舍利^{モリ}二令

持^一也舍利守^リハヒサシノ

土壇マテハトモニアリ土壇^{ニテ}

大阿闍梨シハラク立当^ル

舍利^{モリ}進^テ塔^ニ入^{レテ}舍

利^一返^{タル}時、其時大阿

闍梨入道場^ニ一也行法

ハテ^ハ又舍利守取^テ舍

利^一返^ル也道場^ニハヲカ

サル也

(一行空白)

√取^テ尻切^ヲ不^ス入堂^ノ内^ヘ文

尻切^ハイハムシロヲモテ

ツクリテ皮ニテヘリヲサス也

九才

故定済^ハミクナシ也堂

外^{ニテ}ハ鼻広^ヲハクヒサシノ

土壇^{ニテ}ハ尻切^ヲハク道場^ノ

内^{ニテ}ハハタ(声…平濁)シ也或從房

唯裏無^ヲハクモアリ不入

堂^ニ者從僧^ハ大阿闍梨^ノ

尻切^ヲトリヌレハ我身^ハ

道場^ヘ不入^一也^云

√戌ノ三尅^文三尅^ハ大旨

ヲワリ也

√参^{サム}内^トヨム^ヘシ

√御^{キヨレム}輩^テ手クルマ也内裏^{タイリ}

陣^{クルマ}内^{ナル}故^ニ牛^ニカケスクル

マソイヒク也シラハリ着^{タル}

男也下郎也故定済^ハ

タコシ也中ノ御門^{ニテ}車^ニ

ノリウツル返^リノ時也

√前^ク駈(声…平濁)ヲ八人^文宮^{ミヤ}一ノ人^ハ出

世者、房官^ヲ前駈^ニ

九ウ

十才

用御ス也凡人ハ侍也自

一ノ人^一已下、三家等也

装束^{シヤウソク}鈍色^{ニツライロ}ニサシヌキ

也但出世者ノシルシニハ

念珠^ヲノクヒニマク也

ヒラカサヲキル前駟ノ時ハ

ケサヲカケスフカクツヲ

ハク前^ニ馬^ニノリ列ナル也

下ラウ前也但事

前一人ハ其中ニ尋常ナル

人ウツ也

√可然一人々ノ車七両^文後

車也御トモニ乗^ヲハ車^一

云後車ト乗^ヲハ馬^ニ云後騎^ト

カチナルヲ云後從ノ僧綱ト一

但大阿闍梨ノカチナル時ハカ

チニテトモヲスル也

行列次第

先前駟下ラウ前也次御車

十ウ

次後騎^{侍童}上^上若有^レハ上

童児^一侍ノ前^ニウツ也次後車

後車ハ上^上ラウ前也後

車ハ各具^{スルモ}後騎^ヲ一省^ル也

√馬ノ上ノ童ハ二人也^文是ハ兒

也^有人云^男中童子或大童子^長也其中ノム子トノ物也

√束帶^ニ納^ノ袈裟^文束帶

者法服也

√着^{チヤク}持^ス之^一ケサヲキ念珠

五古ヲ持義也

√上^{カシタチメ}達部^着座スル以後^ニ

上達部者公卿也

公卿着座以後也

√注^ホ香水器^{ニハ}土器用之^文

瓮^ホナヘ^{（声…平濁）}ヨリヒキクチトチ

キサキヤウ也

√藥^ヲ煎^{シテ}入^ルグ也^文上ノ五香

五藥^ヲ煎^{シテ}入^ルグ也

√清涼殿ハ有御出仕^一故

十一ウ

十一オ

十二オ

不置御衣^一也

√東^ニテ作法^{ス文} 無御仕^一故立^ツ也

√東^ニ坐^{シテ}作法^ス有御出仕^一故^ニ坐^{スル}也

清冷^(マ)殿ハ東向ノ殿也内裏^リ取^テハ東向ノ殿也何^レノ

殿^ニテモ物^ニ向^テ作法^{スル}也

故東^ニ立[、]或坐^{云々}

√南殿ハ南向^ニ式^ノ屋^ノ

寢殿故ニアタル也ウルハシ

キ処也志^(マ)宸殿^{トモ}申也

√立膝可歩寄^一也 兩者ハ

ヒサニテアユマス作法^ノ時

許ヒサヲ立^{ツル}也

√從^{ヲリ}コシ^下以^テ兩手^一受

取^之踞^{コシ}支此字也

ユカヨリヲル[〃]也又末^ノ

人トモハシリヲハツメトル

十二ウ

也此即ヲル[〃]義也大阿闍

梨^ハ隨時^一今^ノ記ハヲル[〃]

儀式^ヲ云也又可隨時

形勢^一無其義也余事

等者論義也今^ハ不爾^一

論義ハハテ[〃]布施^ヲヒカ

ル[〃]也

√息災非沙汰^一歟不動^ノ

故也^{常事也}故云爾也

√勘責^{カセキ}ノ体也シカリ得之也

十九僧故也

正応五年三月三十日記之了

定仙

滿六十^{云々}

十三ウ

⑥【十三函一一一五】

〔表紙〕

十三オ

四卷内

後七日私抄

付醍醐勸修寺記之

太元法少々記之初在之

仙芥集

〔表紙裏〕

（空白）

〔本文〕

後七日堂莊嚴ハ如勸

修寺図一横サマ七間奥ハ

四間也母屋ハ五間横マ二

間也母屋ハ板敷也此即

道場也東西ニ兩壇アリ

各年ニ勤行之一勸修寺ハ

兩種護摩イツモ西ノヒサシノ間

也十二天イツモ東ノヒサシ

ノ間也年々同也伴僧ノ

ユカハ当界ノカタヘヨセテ

ヲク也大阿闍梨ハ当

界ナラヌ方ヲ入テ母屋ノ

道場ハ母屋ノ兩壇ノ

中間ニ当テイルクチノホト

二自大師御時一フミテ

トフル石アリ長者ノ外此ヲ

フマス此石ヲフミテトフル

也タノノ人ハ都テフマサル也云

聖天壇モ定マテ北ノ庇ノ

東ノ方ヘヨリテ第二間

也如図一与醍醐一大旨

不違也如常勸修寺有兩界図

五大尊ノ懸様、不動中、

余ハ互ニチカヘテカクル也

五大尊ノ懸カ様ケノ異本ニハ

不動為シテ初ト一面ニ降

軍大金トカク金年胎

一才

一ウ

藏年ハ翻之一此ハ異説也

正応五年二月二十五日記之

定仙

(一行空白)

加持香水作法

長者随職位臈次着之^文

口伝云与興福寺別当

依臈次上下^一長者上^三

下^三ツク也長者臈次

高^{ケレハ}第一ノ床^ニ付也

臈次ヲトレハ着第二床^ニ

也第三已下ハ論匠ノ僧

綱也論匠ノ中^ニ僧綱ナ

ラヌ凡僧ハソトニ付也但

僧綱ノ末座^{ニハ}長者ノ弟子

一人付也為論匠ノ名張

等ヲ読^{ミ上^アケンカ}也三論宗ヲ

タレカシ等何人^{ナシ}天台華

嚴法相等ト読^{ミ上^{ケル}之ヲ}也

二二才

√超長者ノ床^一至香水机ノ

前^{ハニ}一スミヲ引^ハ長者ノ

アユムアシアト也

√左右^ニ床^{アリ}論匠二人ノ

問答ノユカ也

√加持香水ハ内裏^{ハタイリ}ニテ勤之^一

從真言院^一大阿闍梨モ

伴僧モ車^{ニテ}参ル也最

勝王講ノ南都北嶺ノ

論匠等モ或ハ車或コシ

ニテ加持香水ノ所^ヘ参也

別ノ役^{ハヤク}ツトメ子トモ参^テ

付床^一也

間毎度ニ爾耶、初度許ナリヤ

耶答十四日夜許也

了一上人云後七日ハ大内裏^{ハヲウタマリ}ノ

真言院^{ニテ}勤之^{コサイ}五齋

会^モ大内裏ノ官^{クワン}ノ聴^{チヤウ}ニテ

勤之^一国王ノ御聴聞無也

二ウ

三才

南北論匠等、衆会^{シア}論議ス

√道場莊嚴、母屋^{ノメ}前

三間ハマクヲ引也ワキノ

間二間ハ薦^ヲカク マワリハ

シラカヘ也板敷^{ニハ}物^ヲ不^ス

敷^一護摩壇^{ニモ}物^ヲ不^ス

敷^一ツチ壇也了上人説也

√太元法勤行処

官^ノ庁^ノ後長^キ屋^{アリ}名^ヲ

内裏^{タイリ}一國王其^ヘ先^ツ入^リ

御^{シテ}次獅子ノ床ノ有^ル処^ヘ

入御^ス獅子ノ床ノ有^ル処^ヲ

名^ク官^ノ庁^ト一初^メ入^リ御^ス

長^キ屋^{ニテ}太元^ノ法^ヲ行^ハ也

伴僧二十人

後加持^ハ毎夜^ニ在^之

道場^{ニテ}勤^之

後七日^モ其^ノ定^也

太元法^ノ阿伽水^{ニハ}大和^ノ

国^ノ秋篠寺^カ阿伽水^ヲ

凡^テ用^ル也太元^ノ法^ノ末

寺也太元^ノ法時^ハ其^ノ寺^{ヨリ}

取^テ闕伽水^一進也此^ノ阿伽

井ハヨクルスノ常曉^ノ入

唐以前^ニ取阿伽水^一時^ニ

太元明王現^ス井^ノ中^ニ

天魔カトテ恐^之也渡^テ

唐^ニ習此法^一時、見太元

明王ノ像^一大和ノ国ノ阿伽

井ノ中^ニ現^{セシ}像也此^ノ阿

伽井ノ水^ヲ後加持^{ニモ}阿伽

水^{ニモ}用也

√後七日阿伽水ノ事

小行事ノサタトシテ取神泉

苑ノ水^一以此水^一為加持

香水ノ水^ト一後七日ノ法^ノ

阿伽水^{ニモ}初^メ用此水^一

也後^{ニハ}別ノ水^ヲ用也

三ウ

四オ

四ウ

小行事歎白^ニ取之^一一小
行事者東寺^{チウカウ}ノ中綱也

(以下空白)

√真言院^{ニテ}行スル^{法ノ}事

後七日 晦日ノ御念誦、

十八日ノ觀音供ハ内裏^ニ

間^{ニテ}勤之^一也晦日ノ御念

誦^ト十八日ノ觀音供^トハ其

年ノ後七日ノ大阿闍梨

勤之^一也^云

√勸請發願事

日中、初夜^ハ勸請也

声明也後夜^{ニハ}用発

願^一チトノヘテスル也如顯

教^一四弘^{マテ}作ス^云

後加持^{ニハ}音^ヲキリウテ

ツクリ音ノヤウニスル也アト[〃]

二陀羅尼ノ地^ヲツクル也

庵^{ヲムカ}ト唱也未^ヘ無^ニ

五才

四弘^ミ満^テ陀羅尼^ヲ一ツ[〃]クル也

後加持事

五壇ノ法ノ壇所^{ニハ}一々^ニ被^ル

置御衣^ヲ一也五壇ノ法ノ

壇等^{ニハ}有^リ御出仕^一ムカヒ

マイラセテ後加持ノ作法^ヲ

スル也每壇^一雖有御衣^一

有御出仕^一故^ニ五壇ノ

大阿闍梨、カワル[〃]〃[〃]一々^ニ参^テ

師前^ニ一為^ス後加持ノ作法^一

也ハルカノ時剋也仏眼

金輪吉祥天等如^{シテ}是^一

二三十壇アル時^モアリ一々^ニ

被^ル置御衣^ヲ一其^ハ壇所^{ニテ}

大阿闍梨与伴僧^一満陀

羅尼^一ミチノ物^{ニハ}非^ス

五壇ノ々所ノ御加持^{ニハ}陀

羅尼^ハミテ物満也与伴

僧^一不同坐^一也

六才

√官ノ庁ニハ獅子コマイヌ

アリ立獅子床一家一アリ

御齋会モコノニテ行也

四方ニ門アリ東ヨリ王ハ

入リ給也真言院ヨリ四

五丁許アリ

(二行空白)

真言院事

√行後七日一屋アリ阿闍

梨房在之伴僧ノ居ル

屋アリ厨ノ様ナル物アリ

図別在之

十四日夜与御齋会与

後七日一從官庁一内

裏へ引移事

官ノ庁ニテ行ナウ御齋会ヲ

第七日ニ与後七日一同時ニ

行之一但講師ハ答論議一

許也無別儀式一七日

六ウ

間也至十四日夜ニ引キ

移ス内裏へ一或清冷殿

或獅子殿ニテ勤之一隨時也

十四日夜興福寺別

当在之一顯密兼学ノ

人ハ行後七日一時、從真

言院一參テ官ノ庁へ

勤第一ノ問一也ヒシキ也

聖宝僧正例也但人

不多一自昔一少々也

寛信道宝定濟

日記ニハ此等許也

十四日ハ御齋会ヲ内裏ニ

引移シテ内裏リ有論議一

此時ハ結講也論議等

在之一此論終リテ加持

香水在之一唯一夜也

加持香水畢テ大阿闍

梨ハ返ル真言院へ一也次ノ朝

七ウ

七オ

八オ

道具^ラシタ^ハメテ返東

寺^ヘ也

√道具事

十二天 五大尊 八供養具

足^{兩壇故八供養也} カナマ

リ等^{ニ極マテ}在^ニ唐櫃^ニ

入^ニ朱^ノ唐櫃也^{ニ合}

アリ上^{ヘラ}ニシキニテツ^ハム也

大師^ノ五銚袈裟念珠

等在^ニ

√道具^{ラハ}三繩カエイニカ^ハ

セテサキヲハスカエイ

者アカキ物キタル男也

√東寺^ノ長者、天台

座主、三井寺^ノ長吏^リ

此三人^ハ門^ニツナヲハルフト

キシメヲ引也ハテヌレハ

トキテカタ^ハヘ付^テサテ

ヲク也為^メ名門^一也勸修

八ウ

寺在^ニ醍醐^{ニハ}三宝

院、金剛王院^{ニ在}

√五大尊此^ハ付醍醐次第^一記^ニ

到五尊前^一誦普礼真言^一

礼^ニ文^一礼^ニ者唯問訊^{モシム}

許也

聖天供

行法如常^一文浴油行^ニ

供物等^ハ別^ニ承仕此^ヲサハ

クル也

十二天供

如五大尊供^一至十二天前^一

各結誦印明^一問訊^{スル}許也

諸神供如常神供

(以下空白)

√三日九時加持香水

此^ハ真言院^{ニテ}勤^ニ也十四日^{ニハ}

此^ノ加持香水^ヲ引移^{シテ}内裏^{リニテ}

結願^{スル}也^{但三日九時ハ真言院^{ニテ}結願別勤^ノ也}

九才

九ウ

十二日ノ未明^{ミケウ}ニ等^ニ文^ニ小行事ノ
用意也机^{ヨセ}辺倚立ッ楊

枝^{エタ}ノ枝^ヲ一 口伝云ヤナキノ枝^ヲ

ツクエニヨセカケテヨク也

又敷同枝於板敷<sup>置折敷上
伴僧料</sup>

口伝云ヤナキノ枝^ヲヲシキニ

置^テ机^ヲソハニ置也

先大阿闍梨到香水机下^一

取楊枝^{ヤナキノ}ノ枝^ヲ取楊^{シテ}枝^ヲ持^{シテ}

立也伴僧降床^一持枝^一

列立^ス面々^ニ取枝^一ムヲカリ

立也必^{シモ}無次第^一也

発願真言院^{ニテハ}般若音^{ニテ}

スル也内裏ノ発願^{ニハ}不立音^一也

次以枝^一誦不動慈救呪^一加

持二十一遍、口伝云大阿闍

梨、伴僧、俱乍誦慈救

呪^一枝^ヲスコシキフル也乍立^一

勤之^一其後返本処^一也

十才

一後七日ノ後加持^ハ向御衣^一作
之^一也御身固^{カタ}也

了上人云平人ノ身固^{ニモ}略^{シテ}発

願^一作後加持作法^一也^云

一三日九時加持香水灑水

御ノ衣^ニ耶了上人云無其義^一

後加持作法、向御衣^一作之^一也

三日九時ノ加持香水ハ結願

後ハ主上、入御湯^一令浴^一給

也、十五日ノ日マイル御力^{ユニ}

モ入之^一也何事^{ニモ}用此水^一也

別^ニ有^テ奉行^一此香水^{ヲハ}サタ

シテ進上スル也

一十四日ノ三時ノ加持香水残^一

時^一参^{シテ}内裏^リニ勤結願時^ノ

耶、了上人云三日九時ハ皆

真言院^{ニテ}結願也内裏ノ加

持香水^ハ此ノ外ノ作法也

一御衣^{ヲハ}七日結願後、進^ス内裏^ヘ

十ウ

十一才

耶、了上人云以藏人「為御使」
御衣ハ被召^一也

一御衣ハ以奉^ル置此御衣^ヲ「戴御出
仕^ニ也七日之間、不易^ヘ唯^一衣也

一御衣ハ從内裏「以御使」給之「耶

了上人云以藏人「為御使」送^リ

給^{ヘル}也何^レ法^モ爾也後加

持^ハ皆向御衣「作之」也

一加持香水ノ々ハ神苑ノ水也

上^ニ記之

(二行空白)

√真言院ハ王ノ御念誦ノ御持仏
堂也号^ス御念誦堂「貴人」

御所々々ニハクルマヤトリノ傍^ニ

ツクリツ^ハケテ御念誦堂^トテ

アル也院ノ御所^ニハ御念誦堂ノ

外^ニ亦有御持仏堂「内裏^ニハ

御念誦堂ノ外^ニ別^ニ無^シ御持

仏堂^一

十一ウ

√勸修寺日記云從母屋西

第二間「傍北壁代」有

一揅手半ノ孔雀明王像^{仏融像}

院御居仏供^ニ二杯^一文了上人

云後七日^ニハスヘテイロイ給ハス

唯備仏供「許也」云孔雀

明王、兩界ハ御念誦堂ノ

本尊也

(一行空白)

結願

十四日運^ト明日ノ後夜日中ノ

時^ヲ「結願」卷数ヲハ付^テ楮^{スハヘ}「立

曼荼羅ノ左辺^ニ「案文置

伴僧奏横^ヲ挿^ス立曼荼

羅左辺「者真言院ノ兩

界ノ曼荼羅也後七日

法ハ真言院^ニテ結願^{シテ}加持

香水許内裏^ニテ勤^ニ也

案文^ヲ置^ト脇ノ上^ニ者脇下可

十二オ

有机字「脱敷

伴僧奏横挿卷数栞者

文字脱敷伴僧ノ交名、八

宗ノ奏、横^ニ挿^ト卷数栞^一

可書^一也卷物也紙^{マキモノ}一二

枚也水原也綱所ノ役^{ニテ}

計書^ス也八宗ノ奏^ト者

八宗ノ僧名帳也

(二行空白)

√起^{コト}座^ヲ「経^テ問答^ヲ」乞^{カウ}子ノ間^{ヨリ}

到^テ机^ヘ前^ニ可訓

答ノ字ノ下^ニ可有後文字^一

経問答「後^ト云事也論議^ノ

後也乞子間者十二天カ

ケタルカタハ皆カウ云也南

殿作法立勤之^一文南殿^ハ

立壇也故立修之^ヲ也御

物イミノ御時^ハ南殿^{ニテ}被

勤之^一也清冷殿^ハ常^ノ

十二ウ

御所也板敷也仍ヒサヲツ
ク也内裏^{ニテハ}不具伴僧^一

唯長者一人許至机前也

√此間五鉗^{ヲサム}納^ム袍^{ハウ}胸^ノ「袍者^{ハネ}

法服也

√次以散杖入水唱加持各

二十一遍^文唱者慈救咒也

唱ノ下^ニ秘^{シテ}略之^一各者二

器故也

√灑^{コト}御前^一三度、二^ノヒサヲツ

ク也次灑公卿等^{一時ハ}

カタヒサヲ立也秘藏^ノ

口伝也

√藏^{シテ}五鉗^ヲ於袖^ノ中^ニ捧^{ササ}持^{シテ}

両手^ニ低^レ頭^ヲ閉^テ目^一可訓

口伝云法服^{フク}袖^ヲウチチカヘ

テカサヌル也其下^{ニテ}

五鉗^ヲ両手^ニサ^ハケテモ

ツ也サテ作^ス観法^一也

十三ウ

√如每朝護身法「者

後夜念誦也

√次經本路「復座一本」

スチヲ返ル也

√次讀八宗奏「

√次論議 八宗僧勤ム論

議「々々七也」渡ヲ諸宗「

√次賜ハル禄ヲ「公卿等取御

布施「也座ニ引之「面々ニ

自身肩ニカケテ出ル也

長者ヲハ讀八宗奏「新

任僧綱、取テ之「カタニカケ

テ出テ「從僧ニタフ也

八宗奏者八宗ノ僧ノ交名也

新任ノ僧綱ノ浅老^(マ)役也

或加持香水以前讀之者

或説也 醍醐ノ定濟僧正ノ

時ハ加持香水以前也

(三行空白)

十四才

道場広爰^(ママ)

西ノ廂^{ヒサシ}ノ南ヨリ第三ノ間可訓

注加ヘテ角ノ間「計之「文

南ノ角ヨリ計ト之「云事也

√北向^{キタム}キニ立ツ息災ノ護摩

壇「可訓

同第四ノ間東シム向^ムキニ立

増益壇「可訓

(四行空白)

勸修寺後七日

後加持段云次誦不動言

三百反許也 段末綺念珠

如常

√加持香水段注云件香水

主上入御湯令浴給云

入御湯「為メト浴シ御サム「見タリ

√先灑水、後ニ讀ム奏ヲ「説可訓

√又云大阿闍梨御衣加持之

後、立香水ノ桶ノ前ニ捧^{サグ}ク

十四ウ

十五ウ

十五才

牛玉杖^一等^文後加持者

御衣加持^{ト見タリ}

√入室弟子、乘車後^一文

口伝云同車^{スル}也

√^{サイ}濟高律師寬意僧正

仁和寺法師

会理貞宗醍醐法師也

貞宗ハ般若寺弟子也

√仁王經五方曼荼羅事

五仏五菩薩五大尊五大

力等東方ノ具足^{ヲハ}皆東

方ノ一具^ニ図会、乃至北

方具足^{ヲハ}皆北方^ニ図

会^ス之^一仁王經ノ曼荼

羅ノ外懸之^一如後七

日ノ五大尊^一可尋^之

(一行空白)

東寺無天曼陀羅事

尋云高野本堂ノ両壇ノ

上在天蓋^一又有梵字^一

如^ク天台流^ノ一東寺^{ニモ}有天

曼荼羅^一耶、有人云

了^二上人唯天蓋^ニ図梵^一仍

唯天蓋也非如^{ニハ}天台^ノ

流ノ天曼陀羅^ノ一也^云

付勸修寺真言院図^一記之^一

坪^{ツホ}(平瀨)坪内五間也マワリハヘイ也

√^ヒ檜皮葺^{ハタフキ}シケル^ハ檜^ヒ皮^{ハタ}(平瀨)ト

可訓^一√^{サカサウ}雜倉等也

√^{ミツ}御厨子所^{シコロ}√^{コトシ}此歲

此ノ御堂破壊仍裏^{ウラ}ニ古^キ

図写^一之^一

付裏^{ウラ}ノ護摩堂図^一

庇^{ヒサシ}ノ遣戸^{ヤリト}壁^カ巽^{ヘタツミ}ノ床^{トコ}

部^{シトミ}母屋^{ハリチヤウツ}ノ張長日

長^{ナカ}床^{トコ}

付壇場莊嚴図^一

√^{ケン}言海^一√^{サンシ}参仕^一√^セ令^ム持^セ舍利^{モリ}守^ニ一

十六才

十六ウ

十七才

伴僧ノ中ニ入室ノ弟子也 √集(平)会(平)

√從僧(サフライ也) √褰(カ)縵(マン)

威儀等ハ家ノ者也ソレハツトメス

公達ノ役也 √上リ着ツ昼ニ

十七ウ

√大聖不動威怒王 ミセケ(平濁) シ

也 文字ヲ分明ニイワスタ

カスカニイウ也 勸修寺ノ別

日記云略本尊句一也

√七種真言中ニ仏眼許ハ

時々出ス音一余ハ但内々

念誦スル也

√初夜日中ハ勸請後夜ハ

指声也似顯宗ノ発願

四弘ニ伴僧チ(平濁)ウヲトル也

√各起座一行之兩護摩

師、聞着ク座ニ音ヲ阿

十八オ

闍梨打金一也

√南ノ坪ヲ為ス神供所ト

√心略ニ加庵ヲ 胎藏時也而モ

後供養ノ時也

√金剛界年文 心略ノサハク

リ無也其ハ如常ノ無クシテ

庵ノ字一誦之也然間勿

論ニシテサタモ無也

√綱所ハ侍也威儀師

從儀師也与三綱一同也

然トモ 官カワル三綱者上座

寺主、都維那也

十八ウ

√朝拝者年ノ始メ参スル也

√依顛(平)倒(平濁)ニマロヒテウスル也

√威從威儀師從儀師也

從儀師ハチト劣也 同侍ナレトモ

チト下也威儀師ハ多キ也

綱所ノ主領ハ公門惣在

庁也

√令ム打幄ヲ 幄者カリヤ也

阿克ノヤ也

√事了テ令ム参会堂ニ

会堂者御齋会ノ道場也

√朝拝ノ綱所、参スル朝拝ニ綱所也

√朝座ニ令ム勤メ問者ヲ一顯

密兼学ノ人ハ從真言院一

ワタテ会堂ニテ勤仕スル問

者ヲ一朝座ノ第一問也

大阿闍梨自勤之一也

√威儀僧有数十人トモ者共也

√令ム叙セ法印ニ法印ニナル也

√還着スル一ノ長者ニ並ヒナル

長者ニ也

√頭ノ弁藏人ノ頭也 朝隆^{リウ}

手力キノ朝隆也 弁官也

珍也^{チンヤ}ナノリノ下ノ字ニカンナ

ノ一アルヲナノル一門也^{宿曜師也}

勘解由^{カケユ}勘解由也

然而^{トモ}カケイトヨム也

次官者^{シクワン}勸修寺氏ノ初メニ

十九才

ナル官也

威儀師從儀師事

威儀師ハ袈裟ハ九条赤也

着法服御齋会等ニ僧ノ

着座ノサハクリヲスル者也

一切ノ御願法会ニ奉行也

法務^ムトモニ共奉也

威儀師ハ御室ノ侍也

從儀師ハ法勝寺ノ公門也

√参仕ス近衛殿ニ近來

小路ニ内裏ノアリケル歟

(以下空白)

二十才

二十ウ

十九ウ

⑦【十三函一一一六】

〔表紙〕

ken a

五秘密

仙芥集勸修寺
五之内

〔表紙裏〕

五秘密法私抄

〔本文〕

五秘密

十七卷抄中出流々道場

觀^ハ一印相^ハ今次第ノ前段

許也無後段印相一次五

秘密三摩耶印言可^ト結

誦之^ニ云^テ不出之^一五秘密

法復四卷抄無之^一忍濟

三卷口伝抄無之^一本四

卷抄雖在之^一道場觀

無之^一印相等^モ不委^一石函

中在之^一印相委細也

以之^一明^{メテ}之^一記也但道場

觀無之^一五十卷抄道場

觀無之^一印相委細也但不^ル

明^{ラメ}一^一事在之^一十卷抄

道場觀無之^一印相委細

也此^モ不明^メ事在之^一今

勸修寺諸尊法中ノ次第

道場觀在之^一印相不審

也以石函并五十卷抄

明^{メテ}之^一記也

五秘密法

先四菩薩持物欲菩薩持弓箭^{赤色}

觸菩薩抱^{イタ}金剛サタ^{白色}一今道

場觀^{イタ}一抱^{イタ}三昧耶之体^一者其

義也愛菩薩持摩竭幢^{青色}

行法之中ノ印^モ此菩薩印^ハ

結摩竭魚ノ首^ヲ一也慢菩薩^{黄色}

二拳当^ア胯^モニ恵什阿闍梨

十卷鈔中ニハ不二拳^一当^{ツル}

一才

一ウ

左右^モ膀^ニ也 醍醐薄双

紙道場觀中^{ニハ} 此菩薩持^二

金剛拳^一 文五十卷抄ノ中^ニ

此菩薩以^二拳^一 当胸^ノ

同薄双紙^ニ 此但下^二出印^一

処^{ニハ} 当膀^一 兩様也^云 此四菩薩

印兩段也 乍兩段^一 慢菩薩

印当膀^モ^ニ 也 然^ルニ 五十卷抄ノ

尊形ノ図^ト 薄双紙^ト 当^{ツル}

胸^一 定依本説 歟 未檢之^一

√付坐位^一 勸修寺ノ道場觀^ハ

自前^一 始之^一 前右後左也

欲^ラ為^シ一^ト 慢^ラ為^ス終^{ツト} 一

kha 慢

su on ma 石函^{ニハ} 同此坐位^一 也

hā 觸

√十卷鈔図サタノ右ノヒサノモト

ヨリ始之^一 欲菩薩ノ右ノカタヨリ

ウシロヘスコシメクテ第二菩薩^{アリ}

二ウ

始之^{欲菩薩} 右ノカタ 觸菩薩^{左ノ}

ウシロニ愛菩薩アリ左ノヒサノ

モトニ慢菩薩アリ前^{ニハ} 無

菩薩^一 √五十卷抄図欲菩薩^ハ

左ノ後^ニ 在之^一 觸菩薩^ハ 右ノ

後^ニ 在之^一 愛菩薩^ハ 左ノヒサ

ノモトニ在之^一 慢菩薩^ハ 右ノヒサ

ノモトニ在之^一 是^ハ 四菩薩忽^ニ

ウチ^ハ カヘタル也 此^モ 前^ニ 無

菩薩

√計里計羅^{ケリキ} 可読^ト 付印

相^一 有兩段^一 前段五種印^ハ

無別子細^一 次結^テ 右ノ金剛

サタ大智印^一 誦^{シテ} 根本ノ真

言^一 曰^ク 可謂

右者指上ノ図ノ中台、若^ハ

道場觀ノ金剛サタ也 為^{タル} 行

者ノ右^一 故也 此印^ハ 金剛界

羯磨会ノ金剛サタノ印也 但

三才

金剛界^{ニハ}左拳安腰側^一今^ハ

置於^一膀^文腰側^{リト}膀^ト

異也^云真言^ハ似大樂不

空身真言^一非全同^一也

又非羯磨会金剛サタ

真言^一別真言也^云

次欲金剛印金界ノ愛

菩薩^{羯磨会}印也真言^ハ別也

次計里計羅ノ印、准前

印^一者金剛拳義也

金界ノ王菩薩^{羯磨会}印也但王菩薩

印進力鈎次^マ詔^文

今^ハ無其義^一此異也真

言^ハ全異也

次愛菩薩印准前者金

剛拳義也同金剛ノ羯

磨会ノ幢菩薩印也真言

全異也次慢菩薩印

同金界羯磨会ノ嬉菩薩

印^一真言全異也

已上羯磨印者印許羯磨

会印也

後段五種印

即結金剛薩埵三昧耶印^文

薄双紙注云極喜三

昧耶印也^云真言^モ爾也

但金剛界^{ニハ}三摩耶斛

蘇羅多薩但鑲^文

今無三摩耶斛ノ言^一許也

如独股金剛杵^一者私云

二少^マ指合^{シテ}立^{ルト}二大指

合^{シテ}立^{ルト}是^ハ独股ノ左右

頭也ヲシノケテ如^クトコノ形^一

可結之^一スクニタツヘカラス^云

計里計羅^キ三昧耶印

准前印^一者会^ニ結前印^一

二大指^ヲチカウル許也三昧

耶会^ニ無此印^一又真言^モ無

四才^一

四ウ^一

之一定本軌中可在之引可

愛金剛印准前印者

以次キ前キノ印一作此印故

也、進力互ニ相掘忍願ラ

可訓五十卷抄、十卷抄、

用此点一也相握忍願者

十卷抄中ニ掘ト握ト二ツノ

異本在之一今マ勸修

寺ノ次第ハ握字也握ノ

字尤モ可然一也相ヒ握ニキルト忍

願ラ可キ読ヨム也

石函中ニ此印二引合テ大樂

軌ラ結之一也彼軌云前

印以二頭指一互ニ鉤フト中指ラ

イヘリ二中指ラサシヒロケ

テ以二頭指一ウチカラミテ

二中指ノ頭ラ前ヘ左右ヘ

サシイタス也石函住云私云

二中指ノハシヲ二頭ヨリ指

五才

出セ是マカン首ノ印ナリ二頭

端シ彼ノ魚二目也文進力

並ヘ合テ如眼勢一文進力ノ二

字伝写ノ誤也五十卷抄

注付ニ禪智歟文十卷抄ニモ

爾也禪智並合如眼勢一

可シ如ナル是一並合如眼勢一者

以二大指ノ端一指シ合スル二頭

指ノ端ハシニ如シト眼勢一イヘリ如是一

可キ結一也

但大樂軌ニハ並大指押ト頭

指側リヲイヘリ以二大指一押ス

二頭指ノ上ヘヲ如ト眼勢一不ス云ハ

彼軌ハ以二大指一可押ス二頭

指ノ上一也少キ異也見合テ

諸ノ書釈等ヲ如是一決之一

從古一此印、難決一十卷

抄注云此印可シ見合テ

普賢軌作ル之一文五十卷

六才

抄ノ注^モ爾也難決一故

云爾^一也五十卷抄注云

表摩竭相^一也^文尊像^ノ

図^{ニモ}此菩薩^ハ持摩竭魚ノ頭^ヲ也^一

石函抄ノ裏^ヲ引軌文^一列

此菩薩印^一次引合^{タル}大衆

軌^ヲ也彼云大衆軌云前印

以二頭指^ヲ互^ニ鉤シテ中指^ニ並

大指^一押頭指ノ側^リ如耳^一舒

二無名指^一相合^ス私云^ニ中指^ヲ

指出^モ是マカン首^印已上注石函ノ中^ニ在之

如耳^一者並^{タル}大指^一且^ク如^ト耳ノ云也

非^ス云^ニハ標^{スト}耳^ヲ私云開^テ二頭指^一

付ル左右ノ頭指ノ本^ト歟指^{シテ}其^ヲ

云耳^ト歟此義不爾^一並^ト大

指^ヲイヘリ開^{タル}非^ス雖^モ並^{タリト}

大指^一且^ク似^{タル}耳^ニ云也非標

標摩竭ノ耳^一忍願指ノ前^ヘ

左右ハサシイタス^ハ標^{スル}摩

六ウ

竭ノ目^ヲ云

諸尊法ノ外^ニ理明房、記五秘

密次第^一其中^ニ列愛菩薩

印^一云准前印^一進力互^ニ相^ヒ

握^{ニキ}テ忍願^ヲ進力立合^{セテ}如眼

勢^一文進力並合^者大衆

軌^ニ得意^一合^{アワス}進力並

者以二頭指^一忍願^ヲウチ

カラミテ並タルヲ云也合^{スト}

者二大指端^ニ指^シ合^{セタル}云也

大衆ノ軌^ニ准^テ如^ク是^一可得意^一

松尾次第^ニ如理明房記^一下注之

也此上者無別子細^一也^云

付印相^一有兩段^一初段^ヲハ

名羯磨印^一次段^ヲハ名三

昧印^一是本軌中^ニ如^ク是^一

名^{タル}歟理明房ノ諸尊法

中次第、如^ハ一分^{テル}也^云

薄双紙云愛金剛印

七ウ

如以前ノ計里計羅印^一但

二小指^二無名指直立合^テ

二大指並立^テ二頭指、握ル中

節^一又握上節^一指ノ端相柱^(マツ)テ

二大指ノ端ト与二頭指端^一

相合^文今ノ次第ノ印相トタ

カヘリ^云流々習也^{ト云}

(以下空白)

桧尾五秘密次第云准前

印^一進力交^テ相握忍願^一

進力並合^テ如眼勢豎戒

方^一相合^ス檀惠亦然^文

理明房次第依此歟

桧尾次第内題注云金

剛極略^文如此注^一者依

金剛界次第^一被^{ルト}記^リ之見^{タリ}

次第中成身会了羯磨

会了三昧耶会了

供養会了^文本軌中

說此四会^一歟^云然間

今次第中^二羯磨会^三

昧等者金界ノ諸会ノ

義也^云

(以下空白)

八才

八ウ

⑧【十三函一一一七】

〔表紙〕

ken a

大元明王

諸尊法

□七卷抄記之

□□□勅修等
五之内

九才

〔表紙裏〕

九ウ

太元明王勸修寺付諸尊法并十七卷抄記之

〔本文〕

太元法付勸修寺諸尊法 太タ（平濁） 太タイ（平）

太子ト云時ハタイトヨム也

太元怒使印

以左右手一急作拳内ニ

怒イカ三度ハ齒ヲ叩カミ齧イ下

唇一以ニ手一捲ク捲ヘ着ク二

□□ニ 此大將身印タリ

□□可訓クエン 捲クエン 借音字也

□捲字ナル 借此字音也

□□此等ノ字サカクハウニ不可説一

□□□□□□□□石□ノ

□捲捺着□□□□□□亦□也

□印□□私云可用上訓

此次第中ニハ以此二印一為根本

□□十七卷抄中ニハ八ヶ印

□印五ヶ印、以此等一為

一才

根本印一其中怒使印ハ

五ヶ印中ニ第一印也

八ヶ印六ヶ印中ニハ無之一仍

此次第中ニハ以五ヶ印中一

第一印一為根本印一也

醍醐次第中ニハ根本印外ニ

二十八部、降伏スル惡鬼一印ニ

用之一也根本印ニハ用八ヶ

印一其中ニハ無此印一別シテ

二十八部、降伏惡鬼一印ニ用也

降伏惡鬼一印ノ故ニ別ノ用ニモ用ヒ

之一根本印ニモ可用之一仍

五ヶ印中ノ第一ニ別之一然

間此次第中ニ用根本印一也云

大元法付十七卷抄記之

□□寺諸尊法内次第

□勤行作法道宝次

第 a i bha ku□

□次第雖有根本次第今

一ウ

□□□□略□之文 仍略

二才

□□□□□□□□臂四臂ハ□

道場觀^{二ハ}觀明王像四面八臂
像也^{已上}

√□□十七卷抄中^二三十臂像左右^二

□□像八臂像、三尊^{之懸}

其外十二天壇聖天壇在

之√醍醐白表紙十五卷

雖列次第^一無道場觀^一

^{勸修寺}石函^{二七}無道場觀^一

勸修寺十七卷抄十二卷

委略作次第^一也道場^{細殿}

觀有二一觀金剛界大日^一

二^{二ハ}四面八臂像、或四臂

或三十臂^{隨時利末亦衆生^一記之}

^{第一^ハ宣經記之}壇^{二ハ}四面^{第二^ハ賢覺記}

八臂三十臂四臂已上^三体^ヲ

奉懸也是一樣也

其外六面八臂、三十六臂二

臂、此^{三ヲハ}不懸^一也下^二

□出懸^ル此三面^一

本尊加持^{二ハ}智拳印^二明

王^ノ小心呪用之^一次^{二ハ}八ヶ

□□金剛合掌為始^一預

□□□印□□次六ヶ

□□□□次□□用□□

□□也√種子^α三形

大刀智拳印常曉伝

□子^{van}三形大刀智拳

□^{定海伝}種子^α

三形大刀智拳印本呪

良雅伝同常曉^一已上

明王^ノ道場觀^二付^テ用^ト之^一

種子^{van}三形塔智拳

印^二ハサヲタト^{van}次明王^ノ

本呪、是^ハ金剛^ノ大日^ノ道

場觀^二付^テ用^ト之^一見^{タリ}

√正月八日後夜始之^一十四日

三才

二ウ

三ウ

酉時結願、非如常^{ニハ}常^一

初夜^ニ始^一之^一第八日ノ中^ニ結願^ス

之^一√神供^ハ常^{ニハ}初中後也

是^ハ七日間、毎日^一勤^之

常曉、從唐^一向日本^一投幡^一

アキシノッアカカ井ノ傍^ラニヲツ、

仍アキシノニテモ七日間神

供勤^之

□摩二壇息災^{ニハ}大日^ヲ

為本尊^ト、^一vari輪部主

不動調伏^{ニハ}不動^ヲ為本

□^ニ釵部主降三世、

□□□東方□□□□□

□□□調伏□□□□□

□益^一也息災ノコマ壇^ハ

向北^一調伏コマ壇^ハ向南^一

□アチコチチカウ也

□□次第

金剛サタ龍猛龍智

四才

不空^{已上天竺}惠果惠応

文璿^{已上大唐}常曉寵寿

元如^{マヤ}命藏舒隆元忠

泰舜泰幽円照誉好

妙鑑加中仁聚泉樹

法円信源源慶仙慶

定慶^{已上本朝}

加仲阿闍梨

誉好阿闍梨権大僧都元杲

僧正仁海

依道宝僧正抄記之

源慶闍梨淨秀入寺

信源闍梨進恩闍梨仁海

僧正仁海成尊範俊良雅定海

義範僧俊慶雅

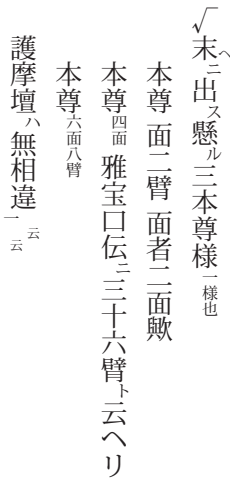
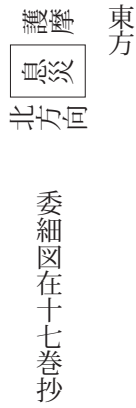
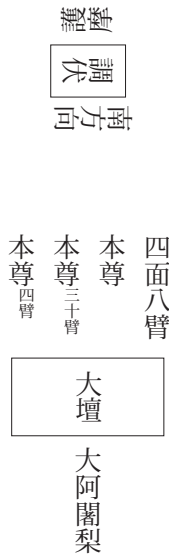
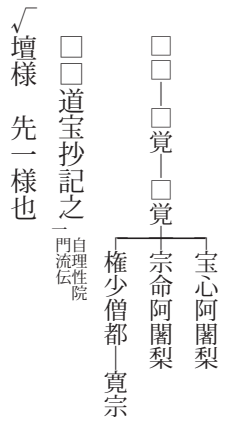
權僧正覺源定賢勝覺賢覺宝雅

宗命

□□抄記之

五才

四ウ



勸修寺道宝次第中壇
 向東「中壇左右ニコマ壇アリ」
 本□

□vam 三形釵輪 此時忿怒像
 ナルヘシ

種 vam 三形大刀 此亦忿怒像

□vam 三形塔 此時ハ大日尊
 ナルヘシ

□□□□□
 六才^一

□□□□□
 種 ad 三形大刀

有此異「私云依三形」用ト

道場観「見タリ」

□□hūm 字^一

十七卷抄引宗秘抄云今此
 法ハ古賢雖習「不極源底」
 或知種三「不知印言」或知
 内「不知外」雖然「悉有先
 哲」誉至印相以伝八印^一

八印

左右拳置腰左右^一一定惠拳

三合打之^二左拳仰右拳伏合之^三

右拳仰左拳伏合之^四

以左右拳置乳上^五

左右水火内叉、地風空各

端柱、立作^テ三角^ニ揮彼方^一^六

金剛合掌^七預立釵輪印^八

右作釵印^一左手舒^フ八方^ニ從南^一

始之^一 在図

本□加持八印用之^一金剛

合掌為始預立釵輪為終^一

□□釵輪^{始此書之}

□□八印在三ヶ口伝

□□□□印□□鑑字

□□□□□□□□□□

□□□□

□□伝者八ヶ五ヶ六ヶ也^云

宗命 蔵有^{イッ}太元別当 琳經^{上醍醐別当}宰相僧都

六ウ

□□□□^{別当} 公然 定仙

(一行空白)

預立釵輪印相伝事

自理性院宗命次第下也

如次上血脈

口伝云第七第八印肝心印也

内縛立二頭指、二大指、二小

指^一而サキヲ三角^ニツクル調

伏^一故向彼方振之者、振字^ハ

召字ナルヘシ秘^{シテ}作振字^ニ以

二大指^一三度召之^一也怨

家在此印^{ノ中ニ}觀之^一也

依此印言^ノ力^一必来印中^一也

真言^ハ此書^ノウラニカムナ付^{タリ}

可用之^一也ソハカノ上^ニ怨家^{ノ性}^ト

名^ト加^テ此^ヲ唱^{ヘテ}其^ノ次^ニ誦

ソハカヲ^一也三度召^テ之^一ヤカ

□□二大指^一覆之^一也此書

□クト者白表紙^ノウラ也

七ウ

□ニ書キ出ス之^一

□□ノ印ヲトイテヤカテ左^{ラハ}

□□□□□□□□□□アヲケ□□

□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□左右

□□作此印^一也預立者立^{ツル}

□ノ釵印^一名也釵者即右、

□印也輪者左ノ印也左、

□□ニ在^{リト}怨家^一觀シテコノ

マ□□ヲ鎮シマワス也怨家^ヲ

ニカサヌ義也非^ス殺^ス此^一義ニ釵

印ノサキヲ怨家ニアテサル

也父^カヲサナキ子^ヲシハル心地

ニテマウリテ鎮シメクラス也

住^{シテ}大慈大悲^ニ調伏彼惡心^一也

此法調伏ノ法^ノ故^ニ向南^一也

私云十七卷鈔ニハ
向東云也

仍自南^一始^一

打^ト之^一云也自中指^ニ打^一之^一

誦一打^ス八反誦之^一八反打

八才

之^一此後結一切印^一皆怨

家在^{リト}之^一觀之^ヲスヘキ也

左ノ八幅ノ輪ノ上^ニ置^テ怨家^一

以右釵印^一鎮^シ之^一メクラス也

安祥寺僧正兼惠ナク^ハ

此印ノ事ヲ口伝^{シテ}云輪^モ智

也□^モ智也此空智ノ上^ニ置^テ

□家ノ惡心^一鎮伏^{スル}之^一義也^ト

□怨家ハ為^ニ朝家^一毎年^ニ

行^{セハ}之^一指何^一耶、答○^二云^一惣^{シテ}指^ス

□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□

□□□□取分可指□□□□

此法^ハ唯第七第八ノ印、秘印□

秘口伝也^上預立釵輪

□□難存知^一大政僧正^{觀玄}

立^タ□釵^ヲ与^ハ輪^ニ可訓^ハ音

同預^ニ也故用預字事^{アリ}

泰舜ノ門流用与字也立

九才

釵^ハ右印也^一与輪^ハ左印也

^{已上被仰也}私云与義如何

師云不知^一私云置^{テノ}義也

以釵^一立^{タテ}置^ク輪^ニ義也^云

私義也^一可^ヘ尋^ヌ

私云預者律^{ニハ}アラカシメトヨム

也サキタツト云義也サキタチ

テ立^タ廻^{テメク}釵^ヲ怨^ラニカサ^一（平濁）レ

輪^ノ印^ト云事也私義也

可^一尋^{或人云与ヘ立ツ釵ヲ輪ニ}

可^訓与者触義也太元惣

印也余^ハ非惣印^ニ

理性院宝心抄裏書云

□□之^一与立^ハ釵輪ノ下^ニ置

□家ノ姓名^ヲ与立^ノ意是也

□□^ハ將門降伏之時□

□□等、皆立^ツ与^ハ謂^ク

□□置□□□□□

□□□□□十□□□□□

九ウ」

□定仙云千輻輪印言者

□□卷抄六箇印中第□

□也以右大母指^一捻中元

□□ノ中節ノ背ノ上^ヲ一状如跋

折羅印形^{一文}

又云已上六種法契用小心

呪^文仍此印^ニ用此明王^ノ

小呪^一也指此印言^一千輻

印言^ト云也已上

白表紙裏書云

南無^{ナムホ}多律^{リツ}、多勃^ホ（上濁）律^{リツ}

婆羅勃^ホ（上濁）律^{リツ}柘頡迷^{シヤキンメイ}、

柘頡迷^ホ、但羅散淡^{サンタン}、

鳴塩毘^{ヲエンヒ}（上濁）、莎訶^{リ性院日記ハ云四天王小心呪ト}

亦云結護呪

学者尋云預立釵輪印、

從南^一始^テ指^{セト}之^一イヘリ如

十七卷抄^一中壇^ハ向東^{イヘリ}

如何私云可向東^一但印^{ヲハ}

十ウ」

□□サキラムネニヨコサマニシテ

□□ハ向南^一也仍自南^一始^テ

□□スヘキ也醍醐次第^{ニハ}

□□何^レ方^ニ不^ル云^一也別^ニ堂

□□ノ日記可^一也

□□□□背^ハ□□□□

□□□□災^ノ□□□□

□□アリ向北^一即向中壇^一也

□□コマ壇^ハ中壇^ノ左^ニアリ

□^一南^一即向中壇^一也十二天

壇聖天壇^ハ調伏^ノコマ壇^ノ

次^ニアリ如中壇^一向東也

取意

付勸請句^一有子細^一

本尊大聖^{トテ}ウメキテサ

テトムル也分明^ニ不唱^一タ^ハ

ウメキワタイテ本尊^ノ名^ヲ

秘^{スル}也五大尊^ヲタ^ハトナ

ウル也雖爾^一得心^ハ人^ハ其^モ

十一オ

分明^ニ声明^ニセスマシテ余

秘法等^ハウメキワタス許也

分明^ニ声^ニ名^ニセサル也^{了上人説也}

四天王結護^ト云大事^{アリ}其^ハ

自^ライカリテミハヲタ^ハキヒサ

ヲ打等也承仕^ニミセサル也

願上人説也

□地事

□七卷抄云本地^ハ様々也

□□觀音^ト習也百

□□界^ニ百億^ノ太元イマ

□□□□□□□□

□□□□本^ハ様□□

□上十七卷抄

□常曉許^リ從^リ唐^一相

□^{スト}習伝^ル処^ト種子^ハvaia

□□千輻智拳印言

結護神呪

已上大師御請来秘説^文

十二オ

所ハ詮一常曉ハ委伝之^一歟

太元法事

太政僧正云白河院尋諸

方^一御^ス預立釵輪印

事也勝覺^モ不知^ト答^之

範俊不知之^一答^云

又申云良雅^ニ悉授之^一

了、良雅授定海^一々々

授元海^一如此^一次第^{シテ}下ル也

台皮籠中具書極

多^キ也^云同人云源運

宗命行之^一後相伝之^一歟

□勝覺^一也彼流人会云

□立釵輪法^ト

□□□^一仍不知^一答、サル

□□□□□□□□□後^ノ

□□□^{ニハ}不[□]之^一□□□

□□太元阿闍梨、即別

□也東寺ノ長者^ヲ繫

十二ウ

□人ハ不勤太元別当^一又

非大師将来法^ニ^{云上}

私云大師又伝此法^ヲ御^ス

種子三昧耶有之^一唯不

委細^一御事也又義範

覺源ノ自兩方^一勝覺伝之

勝覺^{ヨリ}賢覺伝之^ヲ^一

大政僧正云定海理性房^ヲセメ

テ云付太元法^一勝覺

不習之^一仍我^モ受良雅^一

汝習^{タリト}太元法^一名称^ス習

何人^一耶理性房答云習^{タリト}

ツシノ少^コ入寺^ト云者^ノ^ニ^云

淨秀入寺^{トテ}在^リ醍醐^ニ^一次^ノ

モノ也此人所望^ル太元別

□^ヲ不叶^一仍後、三井寺法

□ニナル也龍ノヒホ(平濁)シト云モノ

□置^テ太元壇^ニ一行之^一淨

□伝之^其在^リ三井寺^ニ

十三ウ

□□□□別^{ヲク}□□□□

十四才

□□□□院□□□□

□□藏有^ハ理性院宗命

□□子也相承^{シテ}承久時^ハ別

□□也依勅令^ニ調伏ス關東^一

雖爾^一身許^ハ陳^シ開テタス

カル然而^{トモ}別当^ヲメサル^ハ□

其後^ハ寛海法印、兼

惠僧正、相承^ス兼惠他界

後、寛伊法印當時相承^{シテ}

之^一勤之^也^云

√定海雖伝良雅^一不勤太

元別当^一勤仕後七日^一開

故也勤東寺長者^一人^ハ

不望大元別当^一也然間

定海雖伝此法^一不勤^{ツトメ}別

当^一仍賢覺法眼勤之^也^上

大元明王者毘沙門天下^ニ在

八大將軍^一其隨^一也アタハク

將軍也石山ノ七集ノ胎藏

□卷ノ毘沙門天下記之^一給也

□元事委細也引可見^一也

(一行空白)

□□□^{タル}心^一人^ハ高野ノ金堂

□□□□□□□□

□□堂ノ時□□□□

□慶賀門^ヲトヲラス

□トラノ角ノ門也長者

□堂ノ時トヲル門也太元

□当^モ繋^ル長者^ニ心人不

勤之^也^云

(以下空白)

十五才

十四ウ

十五ウ

⑨【十三函一一八】

〔表紙〕

ken a

求聞持法口伝

仙芥集_{勸修寺五之内}

〔表紙裏〕

（空白）

〔本文〕

求聞持口伝

儀軌云屈其頭指_一与大母

指_一相捻状如捻香_{一文}

注右手結護身印者捻空

風_一余三_マ旨_マニキル也_{儀軌云此是虚空}

_{藏菩薩、如意宝珠成并一切事印云云}√即作手

印_一掌承淨水_一者是_ハ左

手也捻空風_一申余三指_一

也是云手印_一也

阿伽桶二桶_ニ取水_一一桶_ハ為

仏用_一一桶_ハ為手水洗面_一

也是為人用_一今以人用

水_一如是_一スル也但付之_一有

口伝_一掌中_ニ移明皇天子

影_一飲之_一也コノタメニ東

ハレタル処_{ニテ}行也入道

場如是_一スル也明者皆虛

空藏真言也

√行尊前_一至心_一礼_{シテ}三尊_ノ所_一

取去覆面_{一文}

御作云次往詣像前_一至

心_一拜礼_{シテ}面本尊_一半跏而

坐、举去覆面_文

今三尊者准御作次第_一

可本字_一三字損歟一義

云呼三宝_一云三尊_一歟

又所字得心_一ニクキ也

儀軌云次応_シ往詣像所_一

至心_一礼拜_ス面_一向菩薩_{一文}

一才

一ウ

今三尊所者儀軌ノ像

所ノ所字歟 若爾礼三

尊所^一 可訓歟 但三字

損歟御作菩薩ノ儀軌本尊ト

云故也

√ 灑淨散丈^(ママ) 勸修寺本^{ニハ}可^ハ

^一尺六寸サキラハ作宝形^ニ三^ニ

僧ハ集^云今本^{ニハ}不爾^一必^ニ

不可用柳^一歟勸修寺^モ

蘇^ニ用葉^也

√ 灑諸供物并壇及近壇

之并^ニ自身^ニ文^{キン}近壇^一

者壇ノ辺也 第二第三亦

如是者如是 是^ニ三度^{スル}也

云 儀軌云灑^{ヘシ}塗香等^ハ諸^一

供養物、并^ニ壇及近壇

之地^ニ文^一今脱地字^一

√ 木壇者下云別^{シテ}一方^ノ木

曼荼羅^ニ下至^一一吋等^文

口伝云方ノ板^ヲ大壇ノ中心^ニ

ヲク也 香木^{ニテ}作也当

二才

時ハカヘノ木^{ニテ}作也 唐土ノ

カヘト者日本ノムロノ木也

是^モカウハシキ故也 此木壇^{ヲハ}

^モ地^ト習也 或^ハ本尊^{トモ}習

仍阿伽器等^{ヲハ}木壇ノ上^{ニハ}

不^ル置^一也 (図①壇図)

√ 注次淨三業明次普礼

明文 此作法^ハ以一印一明^一

勤行^{スル}故雖不可受此印

明^一此^ニ二印明^ハ五悔ノ具足^{ナル}

故不苦^一也

√ 本尊三形事

或宝珠或釵形、世間云

福德^{ニハ}宝珠、智恵^{ニハ}釵

口伝云俱宝珠也宝珠

通一切^一故也

√ 道場観^{御作云形像真}

作護身印当心^一開目^一庇

想^一文 開字以余ノ常喜院

二ウ

三才

本^一交^{ルニ}同爾、仍地体常

喜院本此字損歟

勸修寺本閉目^文仍可

閉字^{一 此言無儀軌}

道場觀專依儀軌^一但儀

軌^{ニハ}不出種子三形^一此道

場觀^{ニハ}出^シ加^{タリ}種子三形^一

入唐以前^{ニハ}種子宝珠^一

入唐以後^{ニハ}字^ハ宝釧也

宝釧者釧通^{遍是釧}名也今^ハ

依入唐以前^一也護身法^ハ

我身ノ莊也道場觀^ハ

為^{メニ}奉^カ請^シ淨土諸仏^一堂

莊嚴スル也為請彼仏^一彼

仏ノ本誓^一種子羯磨等^ヲ

莊嚴シヨク也次正^ク奉請

淨土仏^一引入莊嚴土^ハ也

一切^{諸歟}尊法等如是^一可得意^一

ヤカテ以道場觀^一為生身

三ウ

仏^一人^{アリ}誤也

誦明二十五返已^文口伝云

頂在二十五仏^一可三十五反^一

三字点脱歟

雖爾^一常用二十五反^一也

√注^一說闍伽花座之次等

口伝云不可用之^一天竺^{ニハ}

ハタシニテアルク礼也仍客

人^{ニハ}先令洗足也密教

以此礼^一先洗諸仏御足^一也

√左作手印^一者捻空風^一余

三指申之^一也

√次右同^{シテ}左印^ニ合^{シテ}捧^ク可訓

想^{チヤウ}楨^{（平）}上^ノ蓮花以之^一為座^一文

楨字玉篇云固^キ木也冬

葉不落又云カケフタ也

又短^{ミナキ}板也日本相伝云カツ

ラノ木也或云日本^{ニハ}此字^ヲ

ハリカタトヨム也√カツラノ木

四オ

四ウ

者儀軌云若欲如法^ニ持^テ

此多羅尼求聞持者、当

於絹素白氎^一或淨板

上^ニ先^ツ画^テ滿月於中^ニ画

虛空藏菩薩像^一其量下

至不減一肘^一或復過此^一文

此中淨板者以^{カッ}槓^フノ木^一

ミソ木^{トシテ}カツラノ板^ニカク歟

√一義云槓者ハリカタ也多分

本尊^ハ用^ハ繪像^一故^ニ繪像^ハ

ハリカタニテカクユヘニ今^ハ雖

無^ト帳^マ形^一云槓^ト歟木像^モ

マシマスト云ヘトモ且付多分^一

云爾^一也山門三井東寺

皆以此義^一為^一吉^一

一義云槓字クキトヨム也

茎^{ヅキ}ノ上^ノ蓮花^ト云事也(図②槓の図)

勤サウ僧正奉授大師^一

本尊^ハ蓮花下^ニクキヲ

五才

カク也彼御本尊^ハ興福

寺ノ聖院^ニ現今在^{マシ}也

世^{コソ}拳^テ云悉地成就ノ本

尊^ト也^一繪師西金房筆

也

此義秘藏義也

最上秘藏義云槓字^ハ

印也ヲシテノ義也ヒト

ヲシテフタニヲシテト云事也

其故^ハ智証大師、自^リ唐

土^一持^テ来^リ御^ス御日記^ニ云

不動像一槓、觀音像

一槓^ト云也^一是ハヒトヲシテ

ノ義也^一仏^ヲ昔奉^ル摺^一其^ノ

義^{ニテ}ヒトヲシテト云也然間

槓字印ノ義也

儀軌云槓上蓮花以之^一為

座^一復相菩薩来至此花^一

付之^一義云此護身印^ハ宝

五ウ

六才

珠也非花坐^一以此印^一為座^一

者唯設^{クル}宝珠^ヲ許也無^一

坐義^一仍宝珠印ノ上^ニ觀

蓮花^一也指此蓮花^ニ云楨

上蓮花^ト也以此蓮花^一為^{スト}

御坐^ト云事也

是^ハ理性院賢覺法眼

義也已上ノ義中以此

義^一為最上義^一云

然作塗壇之勢^一文口伝云

以此^一木壇^ヲ本尊^ト得意^一也

塗香^ハ可奉塗本尊^一故也

塗香者和水^一塗本尊御

身^一也仍如法經ノ十種供養

中^ニ塗香者和水^一子ハ(平濁)シ抹

香者唯末^{セル}許也燒香

者正^ク火^ニタク也

運心供養注或普供養

明任意^文口伝云必不用

六ウ

此印明^一唯用護身印明

許也^一本尊加持注^ニ云

右拳風空作宝^一口伝云

此印殊勝印也故雖一印^一

必此法成就^{スル}也此印者

無所不至印ノカタマタ也

三指^ヲカ^リ印云ヘトモ三弁

宝珠印ノカタマタナル故^ニ殊

勝ノ印^{ニテ}此法成就^{スル}也

高野正覺房七度雖勤

行^一不成就^一高野ノ湯屋^{ニテ}

人ノ中^{ニテ}歎^テ云儀軌中三相

若無法不成就^一復応更

從初首^一而作^{コト}乃至七遍

縱有五逆等極重罪障

亦皆銷滅本法定成就^文

本文如此^一我不成就^一

理性院賢覺法眼聞云

不聞秘印^一如不行^一云仍次

七オ

七ウ

至彼宿坊ヒサマテアユ

ミテアマタリニハイツイテ

居^{タリ}尋聞^ニ皆承也法^ヲ為

奉受也

仍隨喜^{シテ}授之^一即無所不至

印也印中穴三弁室

珠也左右ノ穴上^ミノ穴三ツ

ノ宝珠也明^ハ如常^一虛

空藏明也是理性院大

事也

五大虛空藏法^{ニハ}結五古印^一

皆作宝珠形^一明^ハ誦^ハ五

智明^一是秘印也此法^{ニハ}不爾^一

私云行海流求聞持結塔

印^一誦五智五^ニ

正念誦

一日^ニ誦一万反^一百日^ニ百滿^{マヤ}反也

此法^{ニハ}正念誦^ニ滿百万反

也正念誦間字輪觀、本

八才

尊^ト我^{トニ}一^一反觀^シシタ^クメテ

誦真言^一反^一此時念誦^{マヤ}

タマ一コス也如是一日滿一万

反也

散念誦

口伝云散心念誦也不入觀

法^一不入百万反数^一勸修寺

次第^{ニハ}供養花投木壇^一

也^云以後無別事

每日時事

儀軌云或^ハ一日^ニ一上或^ハ一日^ニ

兩上、從始^一至終^一每如初

日^一遍數多小亦如初上^一

不得增減前後通計^{シテ}滿

百万反^文口伝云一上者

一度也兩上者兩ト也

雖爾^一意樂巧^{ニテ}三時^ニ

勤^{ムル}也不得增減者一日^ニ滿

一万反^一不增減^一云事也

八ウ

九才

又三時中、互^ニハコヒ（平濁）テ

スル事無也

牛蘇加持事

口伝云以蘇散^{（マ）}文^{（マ）}一加持之^一也

クワノ木也東^{（マ）}指^{タル}枝^ノ

亦南^{（マ）}指^{タル}一切^ニ切也

東^{（マ）}増益^ノ義、南^{（マ）}宝

部^ノ義也長一尺、フトサ

小指^ノホト也カワヲムカス

サキヲハ作宝珠形^一或

作釵形^一常^ニ人云祈福

德^一作宝形^一祈智恵^一

作釵形^一此義不爾^一俱可

作宝珠^一々々施一切德故也

√當日月蝕日等^一文^一口伝云

日月蝕日、満百日^ニ様^ニ始^{ムル}

也仍始^{ムル}日^ハ不嫌善日

惡日^一也可^キ蝕日満^ス百日^一

様^ニカソヘテ始^之也

九ウ

√本尊木壇等移露地高

顕淨処^一等文

口伝云結願時^ヲコナウ時、

満^ルニ一万反^一今少^キ残^{シテ}不滿

一万反^一下^テ礼盤^一此壇^ヲスコ

シモ不動^一人アマタ多^{シテ}カイ

テ移^之也至^ニ心念誦不限

数反^一者至正念誦^一残^{リヲ}

誦^シハテ^ハ其後^ハ不限反

数^一待蝕現^一也蝕顯現

時、イソイテ置正念誦念

珠^一取散念誦念^{（マ）}誦^一早

々^ニ誦^シ了^テ留^一一字呪^一也

為蘇加持^一也

一説云結願時^ハ皆道場^ニツト

メ了^ル也至^{マテ}散念誦^ニ

悉^ク勤^メ之^ヲ了^ル至廻向皆

終也其後移壇^一為蘇

加持^一別^{シテ}一時勤行之^一至散

十才

念誦「待蝕」也蝕現^{セハ}留

正念誦「早々散念誦^{シテ}留

一字「加持蘇^ハ也蘇^ハ置

木壇上「木壇^ヲ為^ス蘇^ハ加持^一

前^ハ引ヨセテヲク也 此法^{ニハ}

無振鈴^一仍前^ハ無鈴^一故^ニ

加持^シヨク木壇^ヲ引ヨスル也

天台^{ニハ}有振鈴^一

木壇ノ上^ニ行法ノ始^{ヨリ}乳ヲヲク也

難クハ尋^一後^{ニモ}置^一之也 (圖③蘇器の圖)

儀軌云復取牛蘇一兩^一盛^モ

貯^ヨ熟銅ノ器ノ中^ニ并取有乳^一

樹葉七枚及枝一条置在^ス

壇ノ辺^ニ花香等物加^{ヘテ}常ノ

数^ニ倍^{セヨ} 供養之法一々^ニ同

前^一供養畢已^テ取前ノ樹

葉^一重^テ布壇中^ニ復於葉上^ニ

安置蘇器^一還作手印^一

誦陀羅尼^一三遍護持此

十ウ

蘇^一又以樹枝^一攪^{イテ}蘇^一勿

停^ヤムルコト 其ノ手^一目觀日月^一兼

亦着蘇^ヲ誦陀羅尼無

限遍數^一已上

儀軌云當於空閑寂靜

之處^一或在淨室塔廟山

頂樹下^一隨^テ在一處^一安置

其像^一面正向西^一或容向北^一

淨物覆之^一別作^一方ノ木

曼荼羅^一下至一肘^一過此^一

亦佳^ヨ仕^{セヨ}力^一其壇下安四足^一

或以編^ア附^{ケヨ}上^ヘ面去^{コト}地^一

恰^{ハカラ}イテ須^シ四指^一文

(圖④四足の圖)

四足編附者移壇時

為^ニ不^カ動^一大壇^ニアミ

ツケヨト云事

(圖⑤アミタル木壇の圖)

一義云四足ノ木壇^ニ非^スハアミ

十一ウ

タル木壇ヲヲケト云事

也

√或師説云金銅器淺広等文

口伝云金銅者アカノ子ノ器ニ又

キンヌレルヲ云也

十二才

√没日事此日記ニハ除之

口伝云不可除之可依次義

也云

√下座別蘇ヲ四方文注知識

者如何口伝云有智行徳

人也師匠外ニ為外護請之云

√私云此常喜院次第中ニ

攪^カ蘇一作法、不見如何

答私披勸修寺次第云

次左手取念珠右手取

乳樹木誦本尊明^カ右^キ攪

廻^{ラシテ}蘇^カ兼見蝕^{セル}日月兼

見蘇無限遍数^ニ等文

取軌意如是作次第^ニ歟

十二ウ

口伝云蘇加持在軌^云然而トモ

作法不委^ニ仍披勸修寺

次第^云

√今常喜院次第問云問攪

蘇之間行者見蝕耶若

軌意如何^文口伝云無相

違^ニ也^ニ經不成者專意^ヲ

繫日月心散乱故、今軌見

之者專攪蘇誦陀羅尼

少見日月故也^云口伝云

或説^{ニハ}置^テ鏡^ニ移蝕影^ニ見

之^ニ等^云

拜明星事

口伝云三十五反明星種子 van

字也

√用蘇服之事如何口伝云

以乳^ニ喻法食^ニ也問牛^ハ

愚癡也以此乳^ニ祈智恵^ニ

如何口伝云愚癡^ハ似無

十三才

分別(ヤ)一智一故也私云本煩

惱不可得故、当体法性也

云問当ル月ノ光一義如何

答月破壊ハ喻煩惱二円

満ハ喻仏果円満一又当テ

仏果円満ノ光二一転愚癡

病一成醍醐一也又一夜間

却退円満ス喻早速二仏

果ノ円満スルニ一也云

√壇図無此本一勸修寺本

在之一如護摩壇一

(一行空白)

正応二年十二月比於願行上人

奉受之畢 定仙

(一行空白)

私云本勸修寺醍醐西院

雖受之此上人行此法

事五度也薰習貴

故付常喜院次第重

奉受之也云

勸修寺在兩本

兩本俱在後四卷鈔中

其中在図本肝要鈔

中在之一概五色鳥居等

如護摩壇又其兩本

外在別本在行供壇一

付七葉一在二様一一二七葉

中二ハ本ト同常喜院二三ハ

七葉重之一本ハ本尊ノ方一

一方二重也

又兩本中一本ハ有振鈴一如常

又一本二ハ有淨与口伝一

肝要鈔本ノ末二ハ有槓上蓮

花事一用茎クキノ義也

自余口伝等在之

正応二年十二月十八日記之

定仙

(一行空白)

十四才

十四ウ

中納言法印云広沢^{ニハ}用

常喜院次第

武蔵阿闍梨御房云醍醐^{ニモ}

常^{ニハ}用常喜院次第

故実賢僧正以常喜院

次第為本私注加次第

別在之^云

√尋本師御作次第中納言

法印大貳法印スキノ

谷ノ大輔律師、此三人

辺^ニ無^之

楨上蓮花事

了一上人云故意教上人ハ

クキノ上ノ蓮花ノ義ヲ

用御^{シキト云}又云醍醐

辺^{ニハ}ハリカタノ義ヲ常^ニ

用也尋云承仕等可用耶

了一上人云醍醐辺^{ニハ}如四

度加行二期^ニ一度ハ必勤

十五才

行之一或五十日或百日也

其^ニ都不用承仕^一也

阿性上人弟子^{治部云云}故

上人ハ求聞持道場^ハ子ス

ミヲ不^ル入^一也^{ト云}又闕^{タル}六

根^一人、貧報人等ヲ不入^一也

真言^ハ專^{スル}事法^一故如是^一

等コレヲイム也^{ト云}又仏供

等^ヲイヌカラス^ニ不令食^{一云}

又何^レノ法^{ニモ}承仕之外輒^ク

不入^一人^一也

願上人云内道場^{ニハ}不用

承仕^一戸^{ニテハ}少々ノ事^{ニハ}

召仕也

阿伽水^{ヲハ}チサク取也二桶

取也一桶^ハ為人用一桶^ハ

為仏用也取水時心経

三卷読之^一又小^キ誦

水神真言ミチニテハ

十五ウ

十六才

誦軍荼利真言一為部障歟

魔也

又云道場外テハツト誦軍陀

利真言也為魔障一也

又乳ヲカク時ニハ有ニハ魔障一誦

軍陀利真言一カク也惣シテ

難時ニモ付此法一有魔

障一誦軍陀利真言一也

宝部ニツカサトル法一故也云

又云行ニハ此法一輒タヤスク

不令知人一云

(以下空白)

金剛夜叉 烏芻沙摩

正觀音 七星如意輪

不空羅索 白衣

二臂如意輪 耶輸多羅

准胝

仙芥集勅修寺
五之内

十六ウ」
〔表紙裏〕

(空白)

十七オ」
〔本文〕

金剛夜叉法

√卿阿闍梨常物語云此尊ハ

五大尊中ニハ秘法也ト云

√付道場觀一五眼布ヒケリト忿

怒ラ者五眼イカレリト云事

也私義

√三首ニシテ馬王ノ髪アリ珠寶遍ク

⑩【十三函一一九】

〔表紙〕

ken a

嚴飾ス可訓

私云三面ニシテヨキ馬ノカミアリ

珠ト諸宝ト遍クカサルト云

事也云

進力、及禪智、由ナラ如シ笑眼セウノ

可訓料簡云如笑眼一者進

力ト禪智トノ端ヲ各サシツクル也

禪智ノ間ヲモマロニナシ二頭指ノ

間ヲモマロニスル也云

付字輪觀一 hūn 字除

一切惡鬼者此字德也

ya 字不可得諸業者業

字誤歟 乘不可得字也

不可得諸乘ト可注歟

不可得ニシテ而運載サイノ義アリ也

此運載而不可得ナルヘシ

一義云畢竟不可得ヲ而諸業

アリ此諸業而不可得也

此即運載ノ義也 ya 字ノ德

一才

ナルヘシ云 ksa 字不可得漏尽シヤ

尽不可得字也 不可得ニシテ一切

漏尽也 此義也云

仁齊三卷抄二ハ以 van 字一為

種子一以牙一為三形一此

牙為此尊一四仏四ハラ密マヤ

十六大菩薩各在羯磨輪

中月輪一等文 此二十五輪也

羯磨ノ中ト四方トニ各在五大月

輪一此大月輪中各在五少

月輪一五々二十五也 中央ノ van

字ノ四方ニハ在四 on 字ヲム四波

羅密マヤ菩薩也 四仏種子

皆 hūn 字也 十六大菩薩

皆眷属トシテ 各在月輪中一

瑜祇經ノ序品ノ三十七尊ノ中ノ

二十五尊也 八供等ハ輪外在

之一此二十五尊全大日如来ナリト

習之一其秘口伝也

一才

西院二十五輪ノ口伝ニハ羯磨ノ下ニ

在大月輪一此大日ノ三形、

羯磨ハ不空成就ノ三形也、

此八大日ノ初後不二ノ徳ヲ顯ハス

儀式也此初後不二ノ徳成

此明王ト云此甚深習也云

石函抄中ニハ諸尊段中觀

二十五輪一供之一炉中觀之一

地体此尊ヲ習大日一甚秘

也故諸尊段ニモ觀二十五尊一

以牙印一為秘一此尊無シト

過クル之秘印一云但有口伝深

秘々々云私云卿阿闍梨

云牙印ハ此尊吞食トスル一切

惡業共共ヲ義ヲ結也ト云

此口伝歟付此尊一有

種子三形一雅宝口伝云

種子 hūm 或 vau 三形釵大谷

棒大谷平教 五古小野
牙小野

二ウ

印合ニ拳屈檀惠進力

禪智立如微咲置口也別卷

雅宝口伝云種子 hūm 三羯

磨種子 haḡ 在理趣經三

牙已上秘伝也理趣

又云種 hūm 三釵本尊

牙菩薩印内縛二頭指

二小指開立テハ小鉤秘印也

又云種 vau 三牙印内

縛シテ二小二大如牙二頭端

合如眼云以印一拭右ト左トノ

肩目眉間トヲ以印一散頂云

又云種子 vau 三摩羯首

印内縛シテ二小指如鉤一二頭

二大如笑眼一端ヲ合也取

義書ク之非如本文一

又云此尊ハ序品中金剛

藏菩薩也以手中摩羯首一

擲虚空一等文又云此尊

三ウ

具五眼^一五部也^云五仏也^云

六卷口伝抄^{石函抄}

種子 ^{van} ^{或 han} 三形牙

摩羯首^{ハナハタ}太古^{ハナハタ}伝也

靈巖伝也 勸修寺^{ニハ}以牙^一

為秘^{一云}

√雅宝口伝云 ^{hum} 字反成

或^{五古}鈎々反成金剛夜叉^云

又云此菩薩成所作智所反

不空成就仏所現金剛

牙菩薩所反像也想一切仏

法擁護別羯磨部教令

輪降伏鬼魔^一故云夜叉^一

意取

√雅宝口伝云口伝^{小野}

不動大威徳付胎藏行之

降三世金剛夜叉金剛界

行之軍荼利付蘇悉地

行之^{一云}√又云若欲^ハ得^エ仙

四才

葉^ヲ及^ヒ往^ク極樂界知足天

王宮^一随^テ所^ロ意^{ヲモ}便得^云

(一行空白)

烏鴛沙摩

髮髻^ニ遶^{クル}白蛇^一可訓義云

カミノ上^ニ蛇メクレリカミハカ

ミニテ其外^ニ蛇メクリニ

ワタカマル也学者料簡

√左^ノ定執^ル縹索^一私云左

即定也√左^ノ理宝数

珠^{ナリ}定^ト者^ス对^ス下恵^ニ

理^ト者^ス对^ス下ノ智^ニ左ノ二手^ヲ

名^ク定理^ト右ノ二手^ヲ名^ク恵

智^ト√右ノ恵、執^ル三鈎^ニ√右^ノ

智、満願印^{ナリ}恵智^{右ノ}

二手ノ名也三鈎者醍醐

薄双紙^ニ三古鈎^トイヘリ

雅宝口伝引威儀形色

経^一右恵執^三鈎^一文鈎字

五才

損歟[√]以恵方願^一屈^{シテ}智

力直^{クシテ}加^マ哺^ク此^ハ左^{ヒタリ}自^ノ小指^一

始^{メテ}壇戒忍進禪^ト呼^ヨ也

從^レ右小指恵方願力智^ト

呼^レ也付此義^ニ此道場

觀^ハ印^ラサハクレリ此^一一樣也

自^ハ右小紙^一始^{メテ}呼^フ壇戒

忍^マ信^マ禪^マ此^ハ常^ニ行海^ノ流^ニ用

此^一一樣今^ハ付前樣也

智力直加^マ哺^マ者師御義如

前抄^一但雅宝口伝引威

儀形色經髮髻邊白^一地

已下彼經文也彼云以恵方

願^一屈^{シテ}智力直^{クシテ}如^ツ角^一文

今加^マ哺^マ者字損也私云大

指、頭指、サシ開^テ立歟如^シ

牛角^一云^ハ蟠^ハ絞^フ

左^{ヒタリ}ノ肩^ツ兩^ツ赤^{アリ}地^文今^ハ注^ノ

異本吉歟

五ウ

令^ム瞻^ラ一^ニ本尊ノ面^ラ一^ニ其色青

白^{ニシテ}亦四臂^{ナリ}兩膊^ニ有一^ニ蛇^一

邊^一之^一本經云令瞻本尊

面赤^ラ四臂^{ナリ}兩膊^ニ有一^ニ

蛇^一邊^一之^一其色其青白^{ニシテ}

住宝池蓮上^ニ文^一私云赤^ノ

字誤^{レリ}亦^ノ字也下^モ其

色其青白^文上^ニ面赤^ト所

可^一云^一面字^ハ上^ヘヨミツクヘキ歟

本經^ニ其色其青白^文下

其^ノ字、甚^ノ字也誤歟^云

普焰契内^ニ亦^{ヘテ}其^ノ二羽^一

開^テ掌^一諸度舒^ノ文^ト

私云内縛^{シテ}覆^{セテ}下^ニ開^ク也合

壇恵成峯^一者合^テ二小指

端^一サシノフルヲ云也微屈^ト禪

智ノ節^一者私云合^テ禪智端^ラ

ツヨク以^テ禪智^ヲ一^ニ押^シ付^{クレ}ハ信力^一

傍^ニ屈^{スル}二節^一ナル也マカル

六ウ

故互捻進力側^一者云付^ル進

力^ニ也近甲^ヲ者禪智ノツメ

ノハシヲ指合^ヲ云也後四卷

抄引大原記十二云根本

印二手内縛^{シテ}開^テ掌^ヲ向^ヨ

下^ニ小^ニ二大端^シ相拄^テ合^セ

甲^マ余^{ヘヨ}六指ハ掌中^{ニテ}互^ニ

申^テ着^ヨ掌^ニ二大拄^{タル}端^ヲハ

向心ノ前^ニ二小ノ端^ハ向外^ニ如

独古ノ両ノ頭^{シノ}此印即如独

古ノ^云私云此記^ハ以^ニ二大^一

向^テ心前^一不^ル付^ニ二頭指^ニ也^云

東寺天台異^{ナリ}也^云雅宝口

伝云言烏瑟沙摩^一者、不

動明王也或言^ク受触金^云

即是不淨金剛也又名火

頭金剛^一又云穢迹金剛^一皆

一名也^{已上}又云產所^ニ修此

法^一故^ハ行^テ產所^ニ行者ノ口^ニ有

七才^一

塗血^一之鬼^一為^ニ除^一之^一產

所^ニ修此法^一^云秘說^{ニハ}令遲

留^一之產生速^ニ成就^{スル}也^{已上}

集經九云等^文忍濟三

卷抄曰又印以二小指^一相

鉤掌中^一^{私云交ニ小指之内ヘヲフス}

二無名指、二中指、二食指、

直豎^テ相搏^{ヒロケヨ}二大指、

反^{シテ}掌ノ中ノ二小指ノ上^ニ合^{セヨ}腕^ヲ

文合腕者二手^ヲモテアケテ

小^キヨスル也忍濟口伝^{ニハ}出漢

字言^一梵字無^云彼書云

此印言產穢ノトキ用之^一

左右ノ頭中名^ハ六根也二小^ハ

不淨也二大指^ヲモテ覆

之^ト觀也^云直豎相

搏者二無名指、二中指

二頭指、アイヲアケテ三古^ノ

コトクスル也私料簡也

八才^一

次第中^{ニハツケ}傳^{ヨト}ヨム也ユヒヲ

サシ付^ル云歟何^{レモ}可爾

歟觀音部^ノ死^コ戸^コ人死

家也^ノ婦人^ノ産家^{可訓}

正觀音付字輪觀 lo^ロ

三有不可得文^二石山道場觀

ro 字也三有^ノ塵不可得也

今字^{シヤ}sva sa 字^ハva 字^ヲ

ツク也sa 字^ハ本性寂不可

得也故云自性不可得也

lg ^ヲ清淨離垢染文

石山道場觀云^{rg}今

字損^云

七星如意輪

付道場觀左^ノ掌、摩尼珠、

惠^ハ舒^テ施願印^ニ雅宝口

伝云七星如意輪法 安祥

寺口如意輪^ハ二臂像、如

熾盛光法説^一七星如北斗

八ウ

ma da ra 呵利帝母^ハ只

懷^一字^一右手取吉祥

菓^一文^一又云七星如意輪

ma da ra 如意輪像者十

二臂像也如何^云可尋之

七星如意輪法天地和合

法也自天七星下自地

出訶利帝^云

卿阿闍梨私次第[□]以六臂

如意輪^一行之^云

私云何^モ不苦^一歟

不空羅索

付道場觀^一其^ノ山^ノ腰^象須^云

弥山^ノ腰^ニ山顛^ニ九髻^{アリ}可訓

散念誦同自在王呪者

自在王呪經呪也

不空大集怒王者此觀音人

不動三摩地^一也其呪在余

次第^一

九ウ

√付字輪觀 *no* 石山道場

觀云 *mu* 自他不可得 *ma* 字

吾我不可得字也 故云自

他不可得 *pha* 義諦不可

得文 *pha* 不豎不可得字

不動豎同義也不動豎

古可通一切 然而今^ハ取

第一義諦不動豎古^一故云

義諦不可得也不動豎

古^ハ有為ノ法^{ニモ}分^{ニハ}可有^一其

時^{ニモ}可用此字^一然而^{トモ}今^ハ

第一義諦ノ不動豎古也以

※本生不可得文 石山道

場觀^{ニモ} 本生不可得文

此本性寂不可得義也生

字自古^一誤也

√殊為藤原氏人修 忍濟

一条口伝抄云藤原氏用此

法事 アタラ□山諸草

十才

木葉皆似藤葉^云 故藤

葉相類故用之^云

三十卷經說^云 然者余

觀音皆可用之何^ニ不空^一

力キルヤ不空羅索^ハ蓮

花部悉地之菩薩故用此

尊^一也 已上本師御說也

已上彼抄意私云有人云

興福寺南面堂藤原氏

造之^一故為彼祈^一用此尊^一

也^云 此說可爾^一歟

√安祥寺 *a mo gha* 羅索^{クモハシヤク}

法^{クモハ} 四ノ字ノ頭也糸^{シヤク}ノ字ノ

下也

√青頸忍願六度^文 忍

願等ノ六度也√印^ス心、及

額、喉、与^ト頂^一 可訓

√如意輪

付礼仏 一髻^{未檢之}

十ウ

十一才

√毘俱胝法 殊珠鬘シュシュマン

義云タツ子ノスヲ云鬘ト也

別鬘ニ作ニ非ル也

白衣 下如□印者

内縛シテ立風空也カタクカヒニ参差ニ

相押ス右ヲ上ニスル也

九曜曆者フミノ名也若本

命、五星ノ中ニ鬪戦ニ失ハクノ度ヲ

可訓本命宮ノ中ニ在日月

時人ニ在リ難一五星本命

宮中ニ在時人ニ在難一此ハ

拳ニ也上ハ所宿ノ本命

宮出ス能宿ハ日月也下ハ

能宿ノ五星ヲ出ス所宿ハ本

命宮也以雅宝口伝一

料簡ス之彼云若日月在テ人

本命宮中ニ及五星、在

本命宮ニ鬪戦失フ度一

等ニ彼引シヤフサイ禳災決ヲ也

十一ウ

√髮旦上ニ結フ文カミニムスヒ挙ルル歟

√天衣タリ為黒ク口色歟

√此真言ハ出タル禳災決ニ真言

也又九曜曆真言云

√伴僧復加持共用九曜

曆真言一文出ル九曜曆一

言ト云事也雅宝口伝

云此白衣觀音ハ非白衣

大白衣等或云道行觀

音也文私云白衣大白衣

中ノ非ト大白衣一云事也非ス

白衣一云ニハ非云其故者次

下云大白衣ハ非白衣觀音云

二臂如意輪 無別子細

右掌摩尼珠者私云如ッッ地

藏菩薩ノ宝珠ノ手ノスクニマヘ

ノヘタル歟ヨコサマニ心サキニ

ソヘタルニハ非歟若爾ハ当アツト

心ニ可云也恵ハ舒ヘテ施願印ナリ

十二ウ

私云如宝生尊印^一亦云与

願印^一卿阿闍梨云施願者

施無畏印者誤也

√空並^ヘ立^テ地交^シ上^ノ節^ヲ可訓

多羅菩薩

石函引大日經疏云如本

中^一有五百多羅尊皆

從觀音眼中生^{タリ}是阿弥陀

姊妹三昧也^文

√不同記^ニ云〇已開初合^文披

不同記^一云已開却合^文

金法抄引不同記云已開

却合^文仍今本初字損

也已^ニ開^テ却^テ合^ト訓私云

已開^テ復^ニカ^ヘ□少^キツホ

ム也^云

耶輸多羅法

√私云与上多羅菩薩^一別也

不可乱^一

十三才

√注此云名聲^一別^ニ有^ル經云

是捷捷婆^文

私捷捷婆菩薩^ト云事歟

青軌者青龍軌也撰大

軌^{無畏誤}筆文^{一行}広大軌^{無畏誤}

宮法寺軌^{法全所伝}

青龍寺軌^{玄法寺軌ヲ}法全於青龍寺^ニ

治定セル今青龍寺軌也^{本也}

√七集者石山淳祐律師作也

√長^{ナカキタシクヨキ也}条^茂好^{可訓}諸尊法^ニ点^{シテ}

云長^キ条^{エタモ}好^{ヨキ}也^モ茂^ト云

訓不得意^一也^云図スルニハ肉色^{ナリ}可訓

准胝

西院口伝云此尊真言^ニ無^シハト(平濁)

マ句^一勸請発願中、無蓮

花言^一仍属仏部^{已上}

√金剛王院^ニ属仏部^一√仁海

記六観音^一進御堂開白^一

其中有准胝^一号天人丈

十四才

夫觀音^一以是^一為証^一屬
觀音部^一 三寶院口伝

√醍醐雜抄云蘇婆呼童子

經分別諸部品^{下卷}云蓮花

部処云我為利益貧窮

之衆生^一說七俱胝曼荼羅、

及真言^一等^文私云若是

准胝歟仍是准胝^ハ觀

音也^ト云証文也蓮花部

内^ニ有^{コト}此文^一云^フ故也^云已上

√形像醍醐雜抄云二臂十

臂十二臂四十二臂十八臂

内第五云等口^文

√辟除^{スル}一切天魔惡鬼神

等^ラ契、私云烏芻沙

摩^ノ契^一也

先以右手^ノ中指、無名指、

小指及大指^一握左手^ノ中

指以下^ノ三指^一者私云以右、

十四ウ

中無小三指^一握^ル左手

中無小^ヲ以右大指^一押^ス左^ノ

中無小三指^ヲ甲^一

次以左大指^一握左^ノ中指以下^ノ

三指^ノ甲^ノ上^ヲ者左^ノ中無少^ハ

三指^ヲカ^ハメテ以左大指^一押

中無小三指^ヲ甲也^一√兩合

拳^一者如是結畢^{ヌレハ}

即合拳也^一以二頭指^一頭

指着者以左右^ノ二頭^一サシ

合也此即烏芻沙摩印也

石函云右大指押^ス中指

以下^ノ三指^ノ甲^ノ上^一左亦如右^一

為合拳^一私云此^ハ唯

左右^ノ手^ヲ別々^ニ作^テサシ

並ヘタリ為合拳者左

右^ノ手^ヲサシ合セタルヲ云也

拳字損^ス可奉字

√第五手把^{ニキルヒ}微^一去濁^一若^{シヤ}平濁^一布^ホ平^一羅^ラ平^一

十五ウ

十五オ

迦キヤ（上）菓ヲ一醍醐ノ薄双紙

如是声ヲサス也

其像ノ周圍ニ光明小焰アリ

白（入濁）螺ヲ為釧ト一薄双紙ノ

訓也第五微若○菓

者裏書云不空軌云俱

綠菓ロク文醍醐雜抄曰

十八臂内第五手ニハ微若

布羅迦文漢ニハ言フ子滿

果ト一無シ此国一有西国云

三密房云此私栢也画

図形ハ似苴一也比私云三

密房說不爾一既無此

国一以和漢物一不可配当一

孔雀明王四臂也右第二

手持具綠菓一左第一

手当心一掌ニ持吉祥菓文

松殿法印云具綠菓モ〃

也吉祥菓シヤク口也

十六才

觀修寺孔雀經次第云

第二手持俱綠菓狀似木一苴一

記口伝云俱綠菓長身氣増

カ上ハ淥字也下綠字也

綠字損歟今尊裏

書ニ引不空軌俱淥菓文

綠字可為本一俱イト篇

三水、小異也仍孔雀明

王所菓、即准提所持

菓歟松殿法印ハモ〃ト

口伝ス本拠難知一雜抄

漢々子滿果一此国無文

此モ以何一為拠一耶可待

分明証云孔雀明王画

像壇軌云第二手持俱

綠菓其菓狀似木苴一已上明知

淥字損也有人云准

提種子 bu 字也此字ハ

八葉中台觀音種子

十七才

也 仍此尊可觀音部^{一云}

第四手把数珠^{一文}醍醐

薄双紙爾也 第九手

把宝蔓^{一文}裏書云

念珠、私云兩手持念珠^一

不可爾^一

醍醐薄双紙云、第九

把宝鬘^{一文}無^シ裏書^一

仍タ^クノ鬘歟可尋^ヌ分明說^一

√第六手把鉞^文薄双紙

云第六把鉞^文斧^文

本尊印軌云^{金剛智}

私云付此軌^一有二印^一

第一印易得意^一第二

印向外相刃者外縛^ト

云事也裏書云不空

軌云等○私云付此軌^一有

二印^一同^ス金剛智軌^二印^ニ

但付第一印^一二大指側^{ソハメツク}附^ク

十七ウ

二頭指ノ根ノ下^ニ可訓歟

側字ハホトリト訓也此訓^{ニテハ}

此字剩^{サヘ}仍私^ニソハメ付^ト訓

也側字ヲソハムト訓歟^ト存

シテ如是訓可尋字書^一

石函云根本印^ニ二地二水

交^テ入掌^ニ屈二風^一着火ノ背^ニ

二空着^ク風側^ニ文不標^セ

何^レ軌^ト印ノ說^キ文ハ似不

空軌^一真言漢字^ハ似金

剛智軌^一然而^{トモ}此印ノ說^キ

文^ハ二空着風側^一文以^テ

此文^一裏書ノ文^ヲ得^ル意^一

二大指ノ下ノ側字不審也^云

石山道場觀^{ニハ}如石函文

字輪觀

言漢字^ハ似金剛智軌然而^{トモ}

此印ノ說^キ文^ニ二空着風

側^一文以^テ此文^一裏書ノ文^ヲ得^ル

十八ウ

意^一二大指ノ下ノ側字不

審也^云石山道場觀^二八如

石函文 字輪觀^ス無等

無文見^文有人云文見字覺

也 石山道場觀云無等

無見^文私云等字^二アリ

下ノ等ノ字注^二無ノ字也下ノ見

字損歟可覺字^一分明難決^一

nd 無取無捨^文

石山道場觀云無取無捨^文

捨字見字也 而注^二作誓

字^一分明難決√本尊印

軌云金剛智准提仏母○

根本契其契相以^二手

向外相刃^文向外者外

縛也^云

(以下空白)

(裏表紙無し)

⑪【十三函一—二〇】

〔表紙〕

四卷抄

勸修寺

後七日記 付此筆者

宝慶記之

十九才

仙芥集

〔表紙裏〕

(空白)

〔本文〕

後七日私抄<sup>付法務御房初度
記抄之</sup>

注藏人ノ次官、五位ノ藏人

三人、被ル量^{ラカ}一是^ラ名職

事^ト一藏人ハ職、次官ハ

十九ウ

官也 次官者勘解カケ

由ユ次官也 勸修寺等ノ

家ノ人々ノ一番ニナルツカサ也

對シテ勘解由ユ長官ニ云

次官ト也

位者六位 五位 四位 三位

二位 從一位等也

官者中將マヤ小將 大納言

中納言等也

職者職事 藏人 大将也

位者坐セキ也 如僧受戒一

次第ニノホル也

官者其ノ上ニ名ヲヨハルハ也

位ハスヘテノカスノホル許

也 官ハ次第ニ辞スル也

先官ニテ住也 前官

者先ノ宰相、前ノ大納

言等トヨフ也

職者檢非違使別当

非違別如シ僧中ノ処々ノ別当一

無官一時ハ二位殿等トヨフ也

四位ハ殿上人也 三位ヨリ公卿也

三位マテハ宰相ノカケツカサ也

カケツカサト者其位ニ
アタレル官ヲ云也

二位マテハ中納言 大納言

乃至大臣マテナル也

從一位ハ大臣ノ兼官也

官ヲ一兼タルヲハ云兼官ト

也 譬ハ東宮ノ丈夫等也

大納言中納言ナル也

已上了上人談也

俗官途別記之

二位 正二位ニテ 大納言 中納

言ナルモアリ從二位ニテ

大納言 中納言ナルモアリ

中納言 正二位ナレハ

大納言ハ皆正二位也

中納言ノカミナル故也

一ウ

一オ

二オ

ナルモアリ
正宮一人権宮

六人也大納言八人ナレハ

宰相八人八宰相トテ八人也

七弁八宰相トテマツリ
コトニ入也

職事三人是モ宣旨等ニ
イロウ也

左右大臣内大臣大政大臣(ママ)

職事ヨリ弁ニナル弁ヨリ

宰相ニナル次ニ中納言大

納言ニナル其後大臣ニナル也

五位ノ蔵人職事也蔵人

頭二人五位藏人三人

是云職事卜一也

三位、宰相也。正三位

從三位_{トテ}有二_{一云}

知記之

薦スムハ盃ハ盤ハヲシ
一キヤウ也ハ盃ハ酒也ハ盤ハ二

√注勸盃権寺主

寛盛セイ文
勸盃者サケ

スラムル人也出仕^{シテ}対揚

シテスル也ハイセンハ中

間ノ役也

√近(去) 曾
チカコロト云申也サイト
コロトモ云也コトハ不知

√依_テ為_ルニ散位_一位許也法印

ニテ
未成僧正
一 又法印

許^{ニテ}大僧都^モ力ネサル也

法橋 法眼 法印已上位也

律師僧都僧正已上官也

法務ノ顯職也顯要ノ官

也出仕等、別物ニテ非

常例二 故云顯職卜 如

大將一也成ヌレハ律師二前二不トモ

成^{ナラ}法橋^ニ一
持^ツ法橋^ヲ一也

二
ウ

三才」

三ウ」

物ニ書ニハ一權律師法橋

上人位ト書ク也

成ヌレハ法橋ニ云法橋上人位ト一也成ナリ

法眼一ヌレハ云法眼和尚位ト一成リ

法印一ヌレハ云大和尚位ト一成リ

僧都一ヌレハ云法眼和尚位ト一

成リ僧正ニ一成ヌレハ云法印大

和尚位ト一也說法ノ時僧号、

施主ナルニハ護持大法主、僧正

法印大和尚位ト云也若僧

都ナレハ云權大僧都法眼和

尚位ト一若ハ云權小僧都

法眼和尚位ト一也

已上雖非ニ当用一為存知一記之

承保元年等文カミニツツキ

テカクヘシヒキヘタツル不ト存知云

√触申大僧正一者誰僧正耶、

了上人云定海也時ノ一長者ニ

東寺ノ寺官トモ從也末ヘノ

四才

長者ノ被ル行ニ後七日一時ハ一ノ

長者ヘ申也

√宗明道文祈主ニハ此ノ字ヲハ

アキラトヨム也タリノ人ニハア

キトヨム也

√慶賀事、ヨロコビ也

√可シ令ム運ハ真言院ニ一者文

者字ヤスメ字也

√又以二郎丸一文大童子也中

童子ヨリ下也中童ノ年

ヨレル也俗家ノ雜式也

√亭亭者イエ也

√西ノ対(平)タイノ屋也西ノ対

東ノ対等ノ所也

√左府ノ已講文左大臣ノ已講也

√饌スト者モノクウ義也

√騎馬ノ童二人文上童也児也

√尾從トモノ義也

√注聞山階興福寺也一門ノ

五才

人歟一門ノ人ハ雖他流トモスル也

√眩^{テコソ}昏^ニ一脱黄ノ字一歟

√仕人等^文人ノ字ハ打ノ字ナルヘキ

歟仕(平濁)打(平)也歩ノヤウ

ナル物也アカキ物キタル物也

√注後ニ移ス鈴杵ノ前^{サキ}ニ子

細在下^文一鈴杵ノ前^{サキ}者鈴杵ノ

キワヲサキト云也鈴杵ヲ仏ノ

方ヘムカヘテサキト云也

√花安、花瓶、次ニ並フ輪^ニ文

了上人云文字脱歟損歟

難得意^云一私云花安^{シテ}花

瓶^ニ一次ニ並フ輪^ニ一^{可訓}花瓶者

中瓶也中瓶ヲ並^{ヘテ}輪^ニ置

也花ハ仏ノカタ也輪ハ行者ノカタ也^云

√前々道ノ僧綱者南都ニハ勤タルヲハ

三会ノ講師云フ道ノ僧綱ト

不^ルヲハ^ヘ經^ヒ非道^{ミチ}ノ僧綱ト云也

√注譜代者重代ト云事也

譜代奉出ト物ニ事也

√仏供器十六坏^文似^{タリ}普通ノ

打鳴^ニ一唯深^キ打鳴シ也在十

六座^モ安座^{セス}カタフィタル物也

√可^キ複旧観^ニ一也^文大ニモル也

√各供金銅闕伽器^ニ一^文常ノア

力器也但極^テ大ナル也

√所持^テ来^一也故成就院ノ造也

√下知^{シテ}諸国^ニ一俗ノ行事也

√其名ヲ曰膳^{カシハテト}一カシハテ(平濁)ト云也

ヲトコ也夫(平濁)ヲカシハテト云也

√聖天壇仏供^ハ東寺ノカネ

ツキカ役也^{ヤク}

√小行事奉^ル供^シ一^文奉供一者

ソレカサハクリト云事也

√所課^{ツク}ト者所役ト云也

√濟物也^{セツ}運上ノ物也

√左右京職^{キヤウ}左京ノ丈夫右京ノ

丈夫也

六才

六ウ

√令^ム宛^{アテ}徭^{エウ}役^ニ一 文 徭^{エウ}ハウコキ

ツカハル^ハ義也

√注供所者供具イトナム処也

√政所者阿闍梨^リ居処也

√参^{サン}仕^シマイリテツカワル^ハ義也

√看^カ督^ト長^ヲ付^{タル}別^ニ当^ニ物也

赤物キタリ檢非違使^リ共^ニ

アリ冠^ニ赤^キ狩衣^ヲキテ弓

箭モツ也又檢非違使^リ

別^ニ当^ニ火^ト長^ト云物ツカハル^立

焉^エ帽^シ子^ニウス赤^キ狩衣^ヲキテ

弓箭モテリ又放^ハへ^{平濁}ント云

モノアリタテエホシニカリキヌ

ヲキテサイノホコヲモツ也

已上三人檢非違使^リ別^ニ当^ニ從^ニ也

√候^{コウ}ス^テ兩^ニ門^ニ一 候者御義也

人居^サ相^カ僻^テ者^一相^ヒトヲキ義也

√酒^イ盃^ハタ^ハサケノ義也

√仕人等^文人ノ字^ハ可^ハ打^ハ字^一

七才

仕^シ打^{チャ}也 書誤歟

√瀧^タ口^キハ^ハサフラヒ也

√又^ハ給^キ盃^ハ酌^ヲ一 サケノ義也

盃^ハサカツキノ義也酌^ハクムトヨム也

√注白馬者七ノ日内裏^リ白^ニ馬^キヲ

引^ク事アリト云

√着^ス壇^ノ前^ノ座^ニ一 文 壇^ノ前^ヘニ

タ^ハミヲ一条ヨコサマニシイテ

ヲケリ其^ニ坐^{スル}也

√舍利守行舍利二瓶^文

行字可持字^一

√注入^ル錦^ノ袋^一条^ニ一 二瓶^ヲ入^ル

袋^一也

並^ヒ居^テ箱^一持^之一 文 雖入袋^ニ有

二瓶^一故^ニ云並^ト一也

居箱持^之一者、居箱^ニ袈

裟^ヲヲシノケテ置^ク一也

√注^ス非^ス所^ニ一 分明^ニ無^キ安^ニ所^一歟

√五^段文 五筋ニアタル段字損歟

七ウ

√醍醐僧正者ハ只入居宮一安

之^一文故定済ハ如前説一每

時一持^{シテ}返也

√仍移^テ塔^ヲ於鈴杵之前^{サキニ}一安

舍利^ヲ一^一文前者鈴ノキワ也

√每度鑊^サ之^ス一^一音ハサ^ハ訓ニハサスト

ヨム也

√後供養^{護摩了後}護摩師

着座^{スルハ}ヤカ□□二字ノ金^ヲ

被^ル打^一也又後^{（ミヤ）}摩師ノ返^{ルニハ}

ヒクワウノ音ノキコウル也

√三百反許歟^文アマリ多^シ

當時ハ百反許也

√臨末ニ^一滓^{スル}念珠^一

注作印^一者結印^一也

√天曙^テ修^之一^一文大旨當時ハ

ヨアケテ修^之一也

√増^{カサ}氷珠^ヲ一^一コヲリハケシキ也

√執柄^ハ時ノ天下、大殿ハコニ

八才

ユツリテスリノイテヲ^ハトノ

トイワル^ハ也

√被^ル賀^シ仰^セ一^一カ（平濁）シヲ^ハセラルト

イハ悦^ヒ仰^{ラル}也

√慶賀ノ事、宗^{トモシヒ}燭^{ナリ}行句

落^{タリ}此許^{ニシテ}不^ス可^カ当^カ也

√盃雀^ハ雀^ノ字アテ字^ニカク

可酌字^一酌ハサケヲクム義也

√注景陵此字不審

√精悽々タリ可情字^一悽々ハ

スサマシキ義也情^{ココロ}スサマシ

キ義也

√道ノ便^ニ字損歟遣^{ツカフ}ス使^{ヒラ}

可^シ此字^一

√遣^{ツカフ}ス存問ノ使^{ヒラ}一^一可訓トウタル

使^ヲハ云フ存問^ト也

√右將軍右大將也

√被^ル慰^キ問^{フン}（平濁）セ^一參仕^シス会堂^ニ一^一文

々々者御済会ノ官ノ庁^{チヤウ}

八ウ

九才

道場也

√仁榮晴湛^{セイタン}セイタンハ人ノ名也^{ト云}

私セイ義可^{可尋}

√注聴衆者問者也講師ハ

一人也問者ハ其数アル也

√為^{タリ}威儀僧一^一大阿闍梨ノト

モヲスルヲ云也助紀道一也

非ス常ノ威儀僧一

√道^{ミチ}僧侶為^{タル}長者一事、

道僧侶者經^ル三會講匠一

人也不^ルヲハ經^ヒ非道^{ミチ}僧侶ト

云也為長者一事者一ノ長

者也後七日ノ阿闍梨ニシテ勤ム

御齋会、一ノ問殊勝ノ事也

√愚人者卑下ノ言也

延徹^{シヨウ}尊師ノ御弟子也

醍醐第六代ノ座主也

定昭^モ醍醐法師也

自謙^{ケン}ノ句、卑下ノ句也

九ウ

√天延之古跡者天延年中ノ事也

√永治ノ祈恩者其ノ年也

√梅林者梅旦林^{タン}ト云事也

讚諸僧一也

蘿洞ノ枯株者我身也卑

下ノ句也我身^{ラクヒセニ}

√曩昔^{ノウセキ}ノ御修法ムカシト云事也

√可^キ尋^{キン}近例^{レイ}一也^一當時^モ爾也

√近代所^ロ宛^一微少^{ナリ}ノ行事、

内々犯用^{スル}歟行事者

官仕也諸丈夫^{アリ}チトサカル也

√各^{キヨウ}ノ許容^云伴僧^{メン}面々^{ツツ}ニ説也

√成^ス誤語^ヲ一誤字話字歟

√遊僧^{イウソウ}サルカウ也

√逸興^{イツケウ}之人^{ナリ}アソヒコノミノ人也

了上人云真言院、大凡、互^ニ

ヒルハヨリアヒテ日中^{ニハ}

キチチャウ打也

√伴僧昵近弟子者近習

十オ

十ウ

奉公人也

√注小安殿不^{スト}存知^{一云}

√送布施^一講師ノサタニテ

送布施^{一云}

√不似末代ノ作法^一末代ハ布

施^ラ貪^{シテ}ヲクラサル也

√着^ス束帶^一法服也

√付属御袈裟^{ケンタ穀子、袈裟也}

√着用^トヨムヘシ文(平濁)ヨミ也

√諷諫サトシイサマル義也

√注但大僧正定海也当時ハ

大旨^シ初度許着也

定済云東寺法師ノ一期ノ

本意、一度着大師ノ御袈裟^ラ

一期ノ思出也一ト可着之^一

√定持^{セシメテ}尊海君^ニ一定字令字歟

√佇立^{チヨ}スル之間タタスム義也

√権大納言^イ伊通^{イトウ}也

√里第^{リテイ}サト内裏^{タニリミチ}也

√草敦^{サウトン}者了上人云○(タカサ)一尺四五

寸許^{広サ}一尺四五寸許^{ニシテ}

マロシ井中ノモノハ喬麦ノワラ

ニテツクラト云モノヲユウテ

キルソアヤウ也クサニテユウ

テマロシカラシ許^{ニハ}皮^ラキセ

タリニツ論匠ノ前^{ヘニ}一ツヲケリ

五獅子ノ如意^ラカンカ為^メ也先ッ

初^メ答者ノ前^{ヘニ}ヲク後^ニ次ノ

答者ノ前^{ヘニ}ヲク互^ニ成問答^ラ

故也

√覺拳興福寺別当也

√注宗輔^{ソウフ}伊通高野ノ

相觀房ノ祖父也宗輔ノ

子息^{マコ}太政^{テイシヤウ}法印ノ子也

√注成通^{セイツウ}マリ足也

√公教^{キョウ}了上人ノヒヲハチ也

三条ノ内大臣也閑院也

√公行^{キンユキ}同閑院也

十一ウ

十一オ

三条^ハ閑院ノ嫡男也西恩^(ママ)

寺^ハ次男也徳大寺^ハ三男也

√法印覺拳番^{ツカイ}ト者番^ラサタ

スル人^ト云事也興福寺別當、

自^ラヨミアクル也

成曉已講問禪智已講問

問者二人也一人ツク出^テ並^{ヒテ}

講師^ニ坐^{シテ}殘問者^ラ一也第一^ノ

番^ハ講師^ハ答許也返^テ不成

問者^ト一也二番已下^ハ互^ニ

チカヘテ勤問者講師^ラ一也

雖有職僧綱^{シキ}ソレヲハヨマス

唯俊宗大^{オクイ}法師答、玄

嚴大法師問^トヨム也一々^ニ

別々^ニヨム也一度^ニヨミアクル事

ハセヌ也

√注湯飯、カユツケ也恒例^ノ

コワイコシウ也無汁^一無酒^一

√懸盤了上人云ツクヘ也ホソ

十二オ

ナカニシテ足四アルツクヘ也

其^ニ飯^ラヲク也飯^ハ高モリ

テヲヒヲスル也スヘタレハミ

アクル也クウコトモセヌ也

√從料^{レツ}從者ノ料也

√賦竿書誤歟字不審也

√民部卿寬信ノ親類歟

√膳^{カシハテヲトコハ}男^者後七日ノ下部也

官人也

√三^{サン}(去) 岐^{キツ}(入) 杖^{チヤウ}(平) ミツアシニユウテ

此ニヲイテ進^スヘイシノ台^ノ

ヤウナル者也

√奉^ル謁^{エツ} 対面ノ義也

正応五年四月二十二日奉対

了上人^一記之^一也

定仙滿六十

御済会并内裏^リノ十四日ノ夜^ノ

論匠事

先講^{シテ}經論^ニ次^ニ問者トモアマ

十三オ

十二ウ

タ中テ至^{ヲハ}問^ニ云講^ト一也不^{シテ}
講經^一問者、答者ノタメニエン
サ(平濁)ヲヲキテ問者答者、出
テ^ハ坐^{シテ}其上^一成^{ヲハ}問答^ニ云
論匠^ト一也内裏^ノ十四日ノ夜、
作法^ハ論匠ノ儀式也加持
香水ノ後也從真言院^一イ
ヌノ初メニ出立參也興福寺ノ
別当^モ參^{スル}也方々ノ僧等、參^ス
仍亥ノ時^{ニハ}衆会、子ノ時^ニ香
水加持ハシマル其後論議也
諸方^{ヨリノ}見聞ノ大衆、雖夜^一
參内裏^ヘ一也是^ハ皆可勤
論匠^{一人也}其外ノタ^ハ人^ハイ
タウ不見^一歟曉了ル也
御齊会^{ニハ}講師^{一人也}七日間
唯一人也朝座^ニ論議^ニ一夕
座^{ニハ}七日^{ニハ}四七二十八ノ論
議也唯一人^{シテ}答^之一先講

十三ウ

最勝王經^一也問者^ハアマタ
アル也内裏^ニ參^{シテハ}御齊
会ノ講師^ハ一番ノ答者也
問者^{ヲハ}不勤^一也第二番ノ
ツカイヨリハ御齊会ノ問者
トモ互^ニ成問答^一也
近代^ハ御齊会ノ講師^ハ唯
東大寺興福寺許、勤^之
山三井寺^ハ不勤^之一唯問
者許也東寺^ハ東大寺ノ
末寺タル故^ニ爾也但古^{ヘハ}
山僧^モ勤^之一
奈良^{ニハ}云^ニ三會講師^一也
先維摩會、次藥師寺
最勝會、次御齊会也
山^{ニハ}云^ニ二會^ト一法勝寺ノ大乗
會、エイ山ノ六月會也、
御齊会ノ講師^{ヲハ}不勤^之一
東寺^ハ東大寺ノ末寺也

十四オ

故講師ヲハ唯ナラニ勤之

十四ウ

古ハ不爾「内裏ノ論匠

御齊会ノ結願ノ由歟

最勝王講ト申ハ五月ニ在之

其ニ証義者在之「御齊

会ニハ無証義也官ノ庁ニテモ

内裏ニテモ無証義也

同二十四日以了上人説記之了

定仙御判

(以下空白)

十五才

